

一般社団法人 The 31st Annual Meeting for
the Japan Society of Developmental Psychology

日本発達心理学会

第31回大会プログラム

JSDP
2020
Kansai



今、改めて、発達を考える

■会 期：2020年3月2日(月)～4日(水)

■会 場：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

■担 当：関西地区懇話会

■大会委員長：南 徹弘



一般社団法人
日本発達心理学会
第31回大会プログラム

The 31st Annual Meeting
for the Japan Society of Developmental Psychology

2020.3.2-4

大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

主催

一般社団法人日本発達心理学会

第31回大会委員会・関西地区懇話会

一般社団法人日本発達心理学会

第 31 回大会開催にあたってのごあいさつ

日本発達心理学会の会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日本発達心理学会は大会が始まって以来 30 回を数え、今回の第 31 回大会は 2020 年 3 月 2 日（月）から 3 月 4 日（水）の 3 日間、大阪中之島の大阪国際会議場（グランキューブ大阪）で開催することとなりました。

1989 年 12 月 1 日、神田一ツ橋の学士会館の 2 階ホールには、初代の理事長に就任した東洋先生始め、そうそうたる発達心理学者が集まり、日本発達心理学会の設立総会が開催され、翌年の 1990 年 3 月 28 日、29 日の 2 日間、白百合女子大学で第 1 回大会が開催されました。発足時会員数は 408 名、7 月 5 日時点では 830 名であったと記録されています。第 1 回大会のプログラムはわら半紙に手作りであったかと記憶しています。第 2 回からは、プログラムの内容も外見も変わり、その後年々発展の一途を辿り、第 2 回大会以後、はたして学会として発展していけるかという当初の懸念は杞憂に終わりました。

この 30 年の間に、発達心理学は、少子高齢化、子育てや虐待といった家庭、家族、親子や友人間の問題、引きこもり、不登校などの問題、さらに iPS との関連性、IT 化、ロボット工学など他分野との結びつきなど多岐にわたるかわり、また日常生活においては経済学などとの結びつきなど、発達心理学と他の研究分野との新しい結びつきが広く深く変化し、それによる方法論の問題も新しく浮上してきました。言葉を変えるならば、発達心理学の日常化の深化と拡大、ということになるでしょうか。このような中で、発達心理学会の会員数の増加や研究領域の多様性に注目して本大会のテーマは、「今、改めて、発達を考える」としました。

発達心理学会の会員数の増加に大会を開催することの出来る地域が限られてきました。今後は、理事会等の協力を得て多くの地域で大会を開催し、出来るだけ多くの会員が参加し、研究発表や情報の交流を行い各地域の偏りのない発達心理学の発展に資することが必要となってきました。そのため、今回の第 31 回大会は日本発達心理学会理事会とも一緒に、関西地区懇話会が担当して大会を実施いたします。事情をお汲み取りいただき、会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

関西の 3 月初旬の朝夕はまだ寒さの残る頃ですが、新しい時代を見据えてアカデミック・プログラムをいっそう充実させ、多くの会員の皆様のご参加を大会委員一同お待ちしております。

日本発達心理学会第 31 回大会委員長
南 徹弘（関西地区懇話会会長・大阪大学名誉教授）

目 次

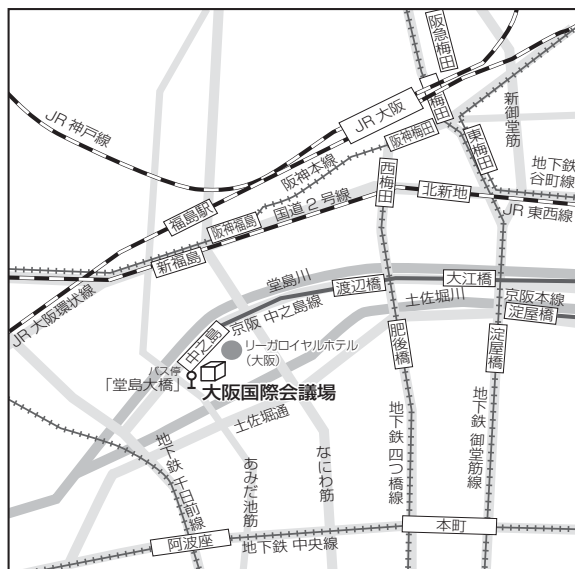
大会会場	大会会場へのアクセス……………	(3)
	大会会場マップ……………	(4-6)
大会スケジュール	概要……………	(7)
	3月2日、3日、4日……………	(8-10)
大会参加者へのご案内		
1. 受付……………		(11)
2. クローク……………		(11)
3. シンポジウム、ラウンドテーブル等打ち合わせ室……………		(11)
4. 休憩室……………		(11)
5. 会務報告会……………		(12)
6. 学会賞、国際奨励賞授賞式・懇親会……………		(12)
7. 書籍展示と販売・企業（機器）展示……………		(12)
8. 託児室……………		(12)
9. 研究方法論ワークショップ（新企画）について……………		(12)
10. その他……………		(13)
11. お問い合わせ……………		(13)
会員企画・ポスター発表の発表者へのご案内……………		(14-15)
臨床発達心理士資格関連	資格のご案内……………	(16)
	資格更新研修会のお知らせ……………	(17)
基調講演・展開講演（KL）……………		(19)
招待講演（IL）……………		(19)
大会委員会企画シンポジウム（AS）……………		(19)
学会企画シンポジウム（BS）……………		(21)
学会賞（論文賞）受賞者小講演（SL）……………		(22)
他学会等共催シンポジウム・ワークショップ（CS）……………		(22)
関連団体企画シンポジウム（DS）……………		(24)
会員企画	自主シンポジウム（SS）……………	(26)
大会委員会企画・会員企画	ラウンドテーブル（RT）……………	(32)
ポスター発表……………		(50)
人名索引……………		(101)

会場へのアクセス

■会場：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

最寄駅：京阪電車中之島線 「中之島駅」から徒歩1分

<https://www.gco.co.jp/access/around/>



■交通アクセス

- JR「大阪駅」・阪急「梅田駅」より、地下鉄御堂筋線で「淀屋橋駅」下車後、京阪電車中之島線「大江戸橋駅」にて乗り換え、京阪電車中之島線「中之島（大阪国際会議場）駅」から徒歩約1分
- JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪市バス【53系統 船津橋行】または【55系統 鶴町四丁目行】で約15分「堂島大橋」バス停下車すぐ
詳しくは下記URLよりWEBページをご覧ください。
<https://bus.osakametro.co.jp/>
- シャトルバスが、大阪国際会議場となりの「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」桜橋口の間で運行されており、ご利用いただけます(定員28名)。
詳しくは下記URLよりWEBページをご覧ください。
https://www.rihga.co.jp/osaka/access/free_bus/
- JR 大阪環状線「福島駅」から徒歩 約10分
- JR 東西線「新福島駅」から徒歩 約10分
- 阪神電鉄「福島駅」から徒歩 約10分

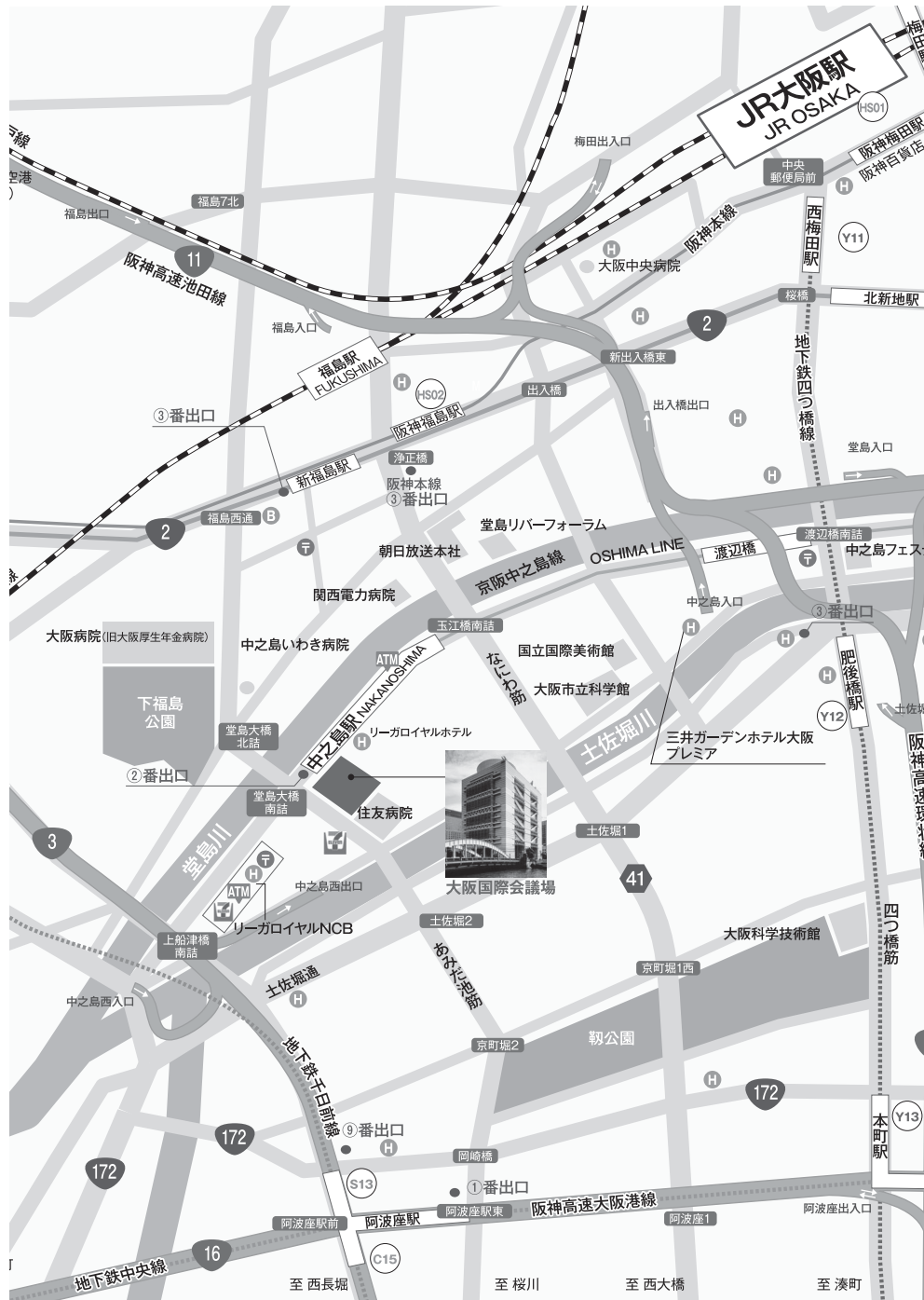
関西国際空港から JR 大阪駅まで

- JR 関空特急（はるか）で JR「大阪駅」まで 約55分
- 空港リムジンバスで JR「大阪駅」まで 約60分

大阪空港（伊丹）から JR 大阪駅・淀屋橋駅まで

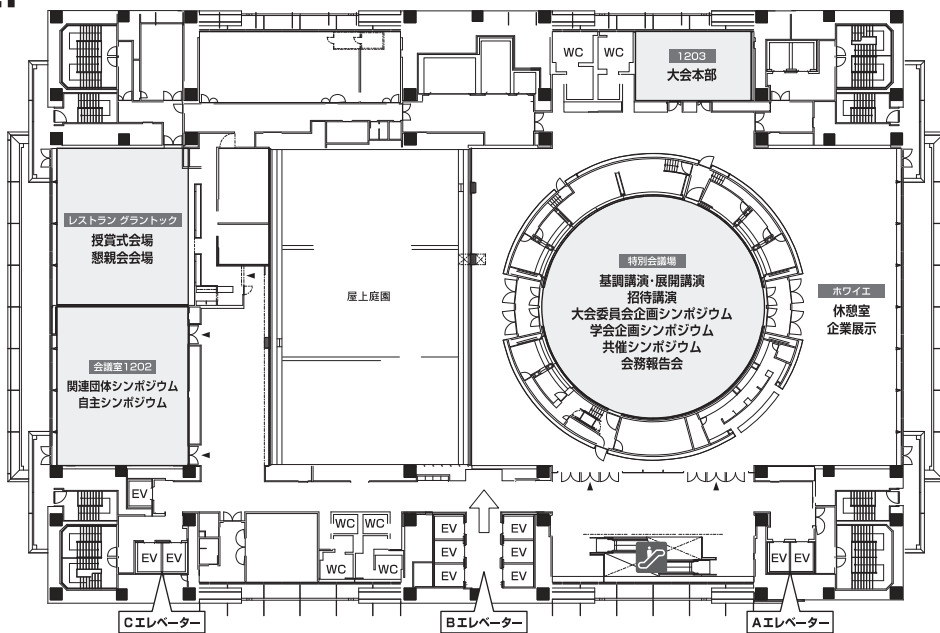
- 空港リムジンバスで JR「大阪駅」まで 約30分
- 大阪モノレールより「千里中央駅」にて大阪市営地下鉄御堂筋線に乗り換え、「淀屋橋駅」まで 約45分

会場マップ



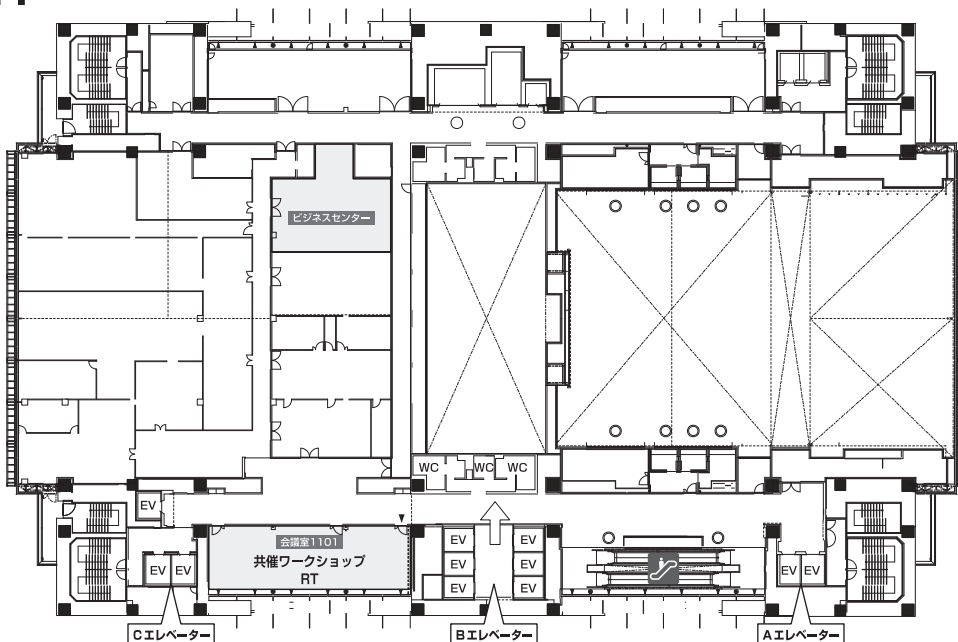
会場マップ 12F

12F



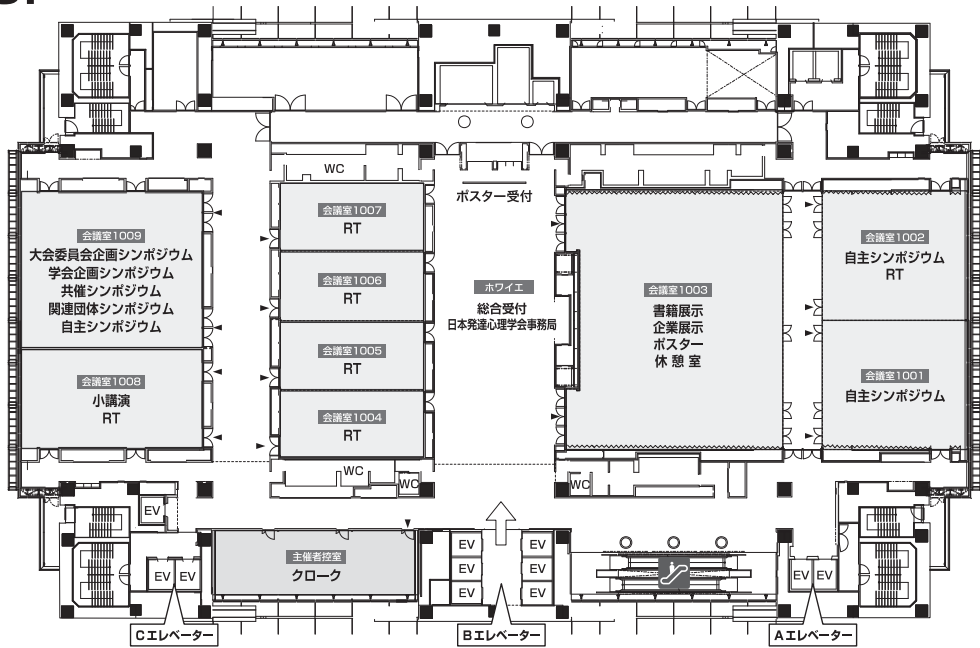
会場マップ 11F

11F



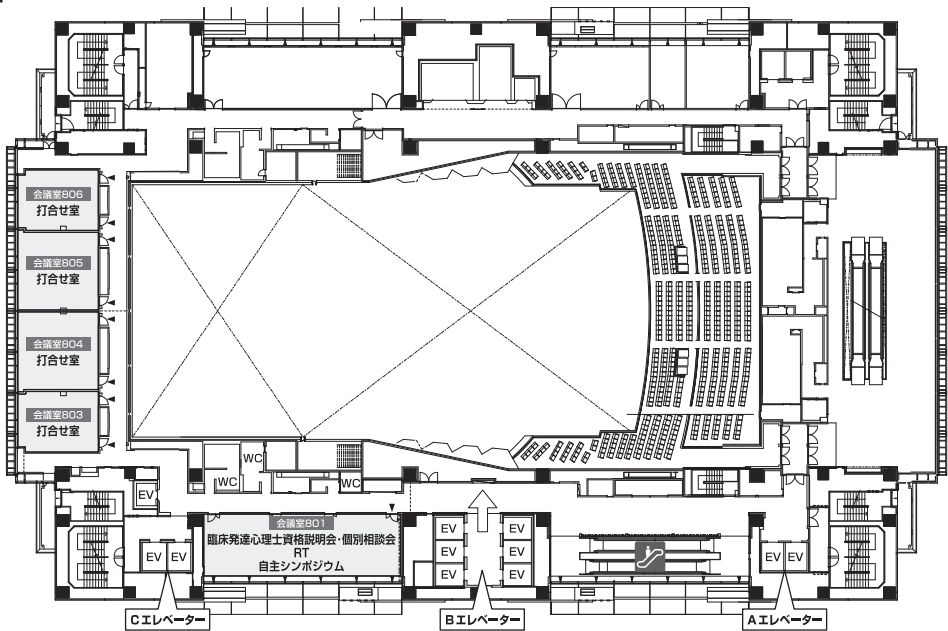
会場マップ 10F

10F



会場マップ 8F

8F



大会スケジュール (概要)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	
大会1日目 3月2日 (月)	受付												
	クローク												
				11:45	12:15								
	KL: 今、改めて、 発達を考える		臨床発達 心理士資 格説明会	BS1: 「10年後」の発達心理 学の話をしよう—情報技術、持 続可能性、多文化の視点から—	CS1: 感情発達の基礎と実践 —感情心理学と発達心理学の コラボレーション—	BS2: 親性の統合的理解 を目指して							
自主シンポジウム SS1-2			自主シンポジウム SS3		自主シンポジウム SS7				DS2: 発達支援におけ るインフォーマル・ アセスメントの役割				
ラウンドテーブル RT1-6			AS1: 個体発達に生態学環境が 与える影響—日本の子どもたちを 取り巻く環境を再検討する—		自主シンポジウム SS6				DS1: フィールド研究 における日誌法の意義				
ポスター発表 PS1			自主シンポジウム SS4		自主シンポジウム SS8-9				自主シンポジウム SS10				
			ラウンドテーブル RT7-11		ラウンドテーブル RT12-16				ラウンドテーブル RT17-21				
			ポスター発表 PS2		CS3: 研究方法論ワークショップ				ポスター発表 PS4				
大会2日目 3月3日 (火)	受付												
	クローク												
										17:30	18:00		
	AS2: アニミズム再考: Developmental Cybernetics の視点から			AS3: 公認心理師養成に おける発達心理学の教育		IL: 家族生活とメンタライジングの 結合: 部分の総和以上か? (Associations Between Family Life and Mentalizing: More than the Sum of Their Parts?)				会務 報告会			
DS3: もう一つのジェンダー —父親の役割を検討する—			DS4: 自然災害発生後 における心理支援の初動 とその課題について		DS5: 発達支援において臨 床実践と基礎研究を繋げる 「臨床実践者と基礎研究者 が協働してできること」					18:15	授賞式	懇親会	
CS2: 人は社会や教育の環境にいかに対応 するの—マイクロからマクロの視点までの検討 (How do we adapt to social and educational environments? From micro to macro)			BS3: ジェンダー化を解明 する—シリーズ: 人の多様性 を理解し、研究につなげる—		自主シンポジウム SS5								
ラウンドテーブル RT47			自主シンポジウム SS11		自主シンポジウム SS16-18								
自主シンポジウム SS12-13			自主シンポジウム SS14-15		ラウンドテーブル RT34-39								
ラウンドテーブル RT22-27			ラウンドテーブル RT28-33		ポスター発表 PS7								
ポスター発表 PS5			ポスター発表 PS6										
大会3日目 3月4日 (水)	受付												
	クローク												
	SL1: 小講演			AS4: 「所有からシェア」 の時代における「所有」 を考える		SL2: 小講演							
自主シンポジウム SS19-21			DS6: 身体性(embodiment) から見たジェスチャー、 手話、言語										
			12:15 臨床発達心理士 個別相談会 (13:30まで)		自主シンポジウム SS22-23								
ラウンドテーブル RT40-45			自主シンポジウム SS22-23		ラウンドテーブル RT46・48-52								
ポスター発表 PS8			ラウンドテーブル RT46・48-52		ポスター発表 PS9								

大会スケジュール1日目 3月2日(月)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
12F 特別会議場		KL：今、改めて、 発達を考える			BS1：「10年後」の発達 心理学の話をしよう—情報 技術、持続可能性、多 文化の視点から—		CS1：感情発達の基 礎と実践—感情心理 学と発達心理学のコ ラボレーション—			BS2：親性の統合 的理解を目指して		
1202					SS3：発達障害児の社 会性と言語コミュニ ケーション発達のアセ シメントを考える		SS7：高校におけ る発達障害へのス ティグマ改善プロ グラムの開発			DS2：発達支援に おけるインフォー マル・アセスメン トの役割		
1101							CS3：研究方法論ワークショップ					
1009					AS1：個体発達に生態学 環境が与える影響—日本 の子どもたちを取り巻く 環境を再検討する—		SS6：発達行動遺 伝学の展開			DS1：フィールド 研究における日誌 法の意義		
1008		RT1：Eテレ幼児 番組を視聴し放送 と心理学の連携に ついて語り合う			RT7：自閉症のある子ど もの子育てに「家族の流 儀」はどのように影響 するのか(6)		RT12：子どもの 笑いの測定と評価			RT17：感情コント ールがうまくない発達障 害児の療育・保育・教育 と子育て支援について		
1007		RT5：クローゼット の中の研究協力 拒否者			RT11：「絵本の読 み合い遊び」と自 立活動		RT16：地域に根 差した子育て支援 及び多世代交流			RT21：他者との 関係性を記述する 自己エスノグラ フィの可能性		
1006		RT4：わらべうた と発達心理学の新 たな出会い			RT10：妊娠期からの歌唱に よる母子間愛着形成支援につ いて—「ららばいプロジェ クト」からみえてきたもの—		RT15：保育に写真 記録を取り入れる ことで見えてくる こと変わる2			RT20：療育演劇 (Therapy Drama) の実践		
1005		RT3：発達検査課 題における言語反 応の分析			RT9：象徴機能の 発達における「ゆ らぎ」とその意義		RT14：教師や保 育者に対する訪問 型の支援研修の必 要性に関する検討			RT19：多様なア プローチによる読 み書き発達過程の 統合的理解		
1004		RT2：「学校」を 生きる人々の ナラティブ			RT8：対人・社会 関係における「ず れ」に何をみるこ とができるのか		RT13：外傷的 出来事を経験して いる子どもの攻撃 性への対応(2)			RT18：ライブイ ベントの「入り口」 に向けられる ジェンダーをめぐる アンコンシャス・ バイアス		
1003		PS1： ポスター発表			PS2： ポスター発表		PS3： ポスター発表			PS4： ポスター発表		
1002		SS2：教職志望大 学生による学校支 援ボランティアの 実際			SS4：障害のある 人にとっての死・ 死別		SS9：「アイデン ティティ」の魅力 を再考する(その 6)					
1001		SS1：学校現場へ の介入研究から学 ぶ					SS8：小学生に対 するアンガーマネ ジメント・プログ ラム			SS10：フォー ラム森の幼稚園(2)		
801		RT6：自閉症スペ クトラム児のキャ リア発達支援										

臨床発達心理士
資格説明会

大会スケジュール2日目 3月3日(火)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
12F 特別会議場		AS2：アニミズム再考：Developmental Cyberneticsの視点から			AS3：公認心理師養成における発達心理学の教育			II：家族生活とメンタライジングの結合：部分の総和以上か？(Associations Between Family Life and Mentalizing: More than the Sum of Their Parts?)		会務報告会		
1202		DS3：もう一つのジェンダー—父親の役割を検討する—			DS4：自然災害発生後における心理支援の初動とその課題について			DS5：発達支援において臨床実践と基礎研究を繋げる—臨床実践者と基礎研究者が協働してできること—				
1101		RT27：発達心理学と保育実践の交差点に潜む「発達」をめぐる問い			RT33：相互行為論による発達理論と発達支援方法論の構築			RT39：ASD児同士のコミュニケーション				
1009		CS2：人は社会や教育の環境にいかに対応するのか—マイクロからマクロの視点までの検討 (How do we adapt to social and educational environments? From micro to macro)			BS3：ジェンダー化を解明する—シリーズ：人の多様性を理解し、研究につなげる—			SS16：生涯発達における発達の最適化と Well-being				
1008		RT22：「生涯現役」社会構築の生涯発達の条件の分析（その1）			RT28：社会性の発達に困難を抱える子どもの早期発見と発達支援			RT34：「地区懇話会・分科会」活動のこれまでとこれから—経常的研究交流活動の活性化の効用と課題—				
1007		RT26：子育ての正解は一つじゃない			RT32：福祉施設における子育て支援と課題			RT38：Social-Emotional Development 研究と支援の今とこれから				
1006		RT25：子どもと教師の関係性について考える			RT31：成人期女性の語りにおけるアイデンティティと時間的展望			RT37：音・音楽の分析的聴取から育まれる資質・能力				
1005		RT24：保育者と心理職の協働は保育現場に何をもたらすのか			RT30：離婚後の親子関係を考える			RT36：認知発達研究における脳活動計測の有効性とその懸念点				
1004		RT23：多様性を心理学から議論する（1）			RT29：シームレスな対人支援に基づく人間科学の創成			RT35：人格発達と世代間交流				
1003		PS5：ポスター発表			PS6：ポスター発表			PS7：ポスター発表				
1002		SS13：学びの文脈に即して他者とのかわりを支える			SS15：魔術的思考の発達から伝統的発達観を問い直す			SS18：保育者の深い学びを支える園内研修				
1001		SS12：幼児教育と小学校教育の接続期を生きる子どもと保護者（2）			SS14：発達障害を抱える成人の心理療法を通じた「私」の発達			SS17：他者と「共に生きるかたち」をいかに記述し語るのか				
801		RT47：物と人の身体が出会う生活行為から発達過程を跡づける			SS11：現代青年期のパートナーシップ			SS5：小中一貫教育に関する発達心理学的視点からの検討				
レストラン グラントック (12F)										18:15	授賞式	20:30 懇親会

大会スケジュール3日目 3月4日(水)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
12F 特別会議場					AS4：「所有からシェア」の時代における「所有」を考える							
1202		SS20：人の発達を支えるための連携と協働			SS22：発達支援領域における多職種連携協働と大学の役割							
1101		RT45：思春期以降の高機能自閉スペクトラム症者の内的不適応感の問題について考える			RT52：改善・軽減すべきASD児の発達特性とは							
1009		SS19：社会性の発達の多様性			DS6：身体性(embodiment)から見たジェスチャー、手話、言語							
1008		SL1：高齢者は渋滞時に攻撃性が高まる			SL2：乳児の歩き出しの生態学的検討							
1007		RT44：情動的コンピテンスの発達			RT51：乳幼児期の社会情動的能力の発達と保育・家庭環境							
1006		RT43：写経(宗教的実践)の心理的効果について考える			RT50：震災後の福島での子育てと子育て							
1005		RT42：過去展望から捉える青年の時間的展望			RT49：保育カンファレンスにおける保育者の感情							
1004		RT41：ヴィゴツキーの思春期理論			RT48：ブルーナー文化心理学との対話							
1003		PS8：ポスター発表			PS9：ポスター発表							
1002		RT40：個人、家族、地域における調節過程とライフコース			RT46：道徳性とは何か？：道徳性再考(2)							
1001		SS21：現代社会において大人になるということ			SS23：非行少年の生物・心理・社会的特徴と具体的支援							
801					臨床発達心理士個別相談会							

大会参加者へのご案内

※大会期間中は、参加証をおつけください。

1. 総合受付

場所：大阪国際会議場 10F ホワイエ

時間：大会第1日目（3月2日・月）9：00-19：30

大会第2日目（3月3日・火）9：00-17：00

大会第3日目（3月4日・水）9：00-15：00

予約参加の方のお手続き

参加証をご持参ください。受付の手続きは不要です。

※参加証をお忘れの方は、受付の「予約参加」窓口へおいでください。

当日参加の方のお手続き

1) 記入コーナーで「参加申込書」に必要事項を記入

2) 受付の「当日参加」窓口へ提出

3) 当日参加費をお支払い

4) 参加証を受取

※当日参加費は、一般会員 13,000 円、学生会員 10,000 円、非会員（一般、大学院生）15,000 円、学部生 1,000 円です。

※学生（大学院生含む）として参加する場合、学生証をご提示ください。

※ただし、学部生の参加費には大会プログラムの費用のみが含まれています。

※臨床発達心理士個別相談会（p16）並びに臨床発達心理士資格更新研修会（p17）はいずれも、それらのみに参加する場合であっても、大会参加手続きを行い、大会参加費をお支払いください。

2. クローク

場所：大阪国際会議場 10F 主催者控室

時間：大会第1日目（3月2日・月）9：00-20：00

大会第2日目（3月3日・火）9：00-18：15

大会第3日目（3月4日・水）9：00-15：00

※ご注意1：クロークチケットをお受け取りいただき、必ずお持ちください。

※ご注意2：貴重品や危険物を預けることはご遠慮ください。

3. シンポジウム、ラウンドテーブル等打ち合わせ室

場所：大阪国際会議場 8F 会議室 803、804、805、806

時間：9：00～行事終了時間

事前予約などは承っておりません。空いているときはご自由にお使いください。

一部、委員会等で使用できない場合もあります。

4. 休憩室

場所：大阪国際会議場 10F 会議室 1003・12F ホワイエ

時間：9：00～行事終了時間

5. 会務報告会

日時：大会 2 日目（3 月 3 日・火）17：30-18：00

会場：大阪国際会議場 12F（最上階）特別会議場

多くの会員の出席をお願いいたします。

6. 学会賞、国際奨励賞授賞式・懇親会

日時：大会 2 日目（3 月 3 日・火）18：15-20：30

会場：大阪国際会議場 12F（最上階）レストラン グラントック

※当日参加も受け付けます。

ただし、定員に達しました場合、当日参加を受け付けできない場合がございます。

7. 書籍展示と販売・企業（機器）展示

会場：大阪国際会議場 10F 会議室 1003・12F ホワイエ

日時：大会 1 日目は 10：00-20：00、大会 2 日目は 10：00-18：00、大会 3 日目は 10：00-14：00

※ただし、都合により変更する場合があります。

8. 託児室

大会期間中、託児業者に委託して下記の要項で託児室を開設いたします。

ご利用を希望される方は、大会 Web サイトの案内をご覧ください。

<http://www.jsdp.jp/jsdp2020/takuzi.html>

託児時間：

	午前	午後①	午後②	午後③
1 日目（3 月 2 日・月）	9：00-12：00	12：00-15：00	15：00-18：00	18：00-20：00
2 日目（3 月 3 日・火）	9：00-12：00	12：00-15：00	15：00-18：00	
3 日目（3 月 4 日・水）	9：00-12：00	12：00-15：00		

託児対象児の年齢：生後 6 か月～小学校児童まで

費用：午前、午後①、午後②、午後③の各利用時間枠、1 枠あたり 1 人につき 1,000 円（保険代込）

託児人数：1 枠につき 15 名程度（先着順）

委託業者：株式会社ラヴィ 担当：井上 e-mail：h-osaka@laviel.jp TEL：06-6922-951

申し込み方法・お問い合わせ先：大会 Web サイトをご覧ください。

9. 研究方法論ワークショップ（新企画）について

「CS3：研究方法論ワークショップ」は、日本発達心理学会国際研究交流委員会と英国心理学会発達部門による共同企画であり、新しい試みになります。

3 月 2 日（月）15：00-19：30 の時間帯に会議室 1101 において行います。

ただし本ワークショップは、事前申し込み制ですのでご注意ください。登録された方のみご参加いただけます。

内容に関しては、学会 web サイトのワークショップ・シンポジウムのページ中「国際研究交流委員会からのお知らせ」に示されています。ご参照ください。

<http://www.jsdp.jp/contents/workshop-symposium>

10. その他

インターネット

全館に Wi-Fi アクセスポイントを設置しています。館内で自由にインターネットをご利用頂けます。SSID：FREE-OICC パスワード：grandcube

昼食

大会期間中のお弁当の取り扱いはしていません。周辺の飲食店をご利用ください。総合受付にて、グルメマップをご用意しております。

掲示板

受付付近に、会員連絡用掲示板を設置します。総合受付にご一報の後、ご自由にお使いください。

喫煙について

指定場所を除いて全館禁煙となっております。喫煙は 1F プラザの喫煙コーナーでお願い致します。

ビジネスセンター（11F）について

8：30-19：00 の間、コピー、ファックスの送受信が可能です。（有料）

コピー	白 黒	カラー
A4/A3 サイズ	1 枚 20 円	1 枚 60 円
ファックス	送信	受信
	110 円	66 円

11. お問い合わせ

会場や大会全般に関すること

- ➔ 第 31 回大会総合窓口へ
meeting2020@jsdp.jp

参加・発表申込みや費用納入に関すること

- ➔ 日本発達心理学会会員管理事務局・大会サポートデスクへ
g032jsdp-support@ml.gakkai.ne.jp

大会期間中

会場や大会全般に関すること、参加・発表申し込みや費用納入に関すること

- ➔大会本部へ

大阪国際会議場 12F 会議室 1203

入会案内、年会費、住所・所属変更などに関するご質問・手続き等

- ➔または日本発達心理学会事務局窓口へ
大阪国際会議場 10F ホワイエ総合受付前

会員企画・ポスター発表の発表者へのご案内

1. 自主シンポジウム

・場所：大阪国際会議場 12F 1202・10F 1001、1002、1009・8F 801

いずれも、110名以上は収容可能な部屋です。

・会場係：各部屋に1名

・設備：

マイク、液晶プロジェクター、映像ケーブル（D-sub15ピン-アナログVGAおよびHDMI-標準：タイプA）、音声ケーブル（ステレオ mini プラグ）とスクリーンを用意します。

パソコンは用意していません。企画者が責任を持って用意してください。

音声の出力をされる場合、mini プラグからの出力となります。

HDMI ケーブル使用の場合も、mini プラグからの出力となりますので、設定を行ったパソコンをご用意ください。

機器の調整は必ず事前をお願いします。

※コピー機使用およびスタッフによるコピー代行はできません。

企画者側でビジネスセンター（11F）でのコピー（有料）は可能です。

※資料、お水等が必要な場合には、企画者側で事前にご用意ください。

※機器接続・調整、照明のオン・オフ、マイク係、時間管理等、原則として全て企画者側でお願いいたします。

2. ラウンドテーブル

・場所：大阪国際会議場 11F 1101・10F 1004、1005、1006、1007、1008・8F 801

いずれも、100名程度収容可能な部屋です。

・会場係：各部屋に1名

・設備：

マイク、液晶プロジェクター、映像ケーブル（D-sub15ピン-アナログVGAおよびHDMI-標準：タイプA）、音声ケーブル（ステレオ mini プラグ）とスクリーンを用意します。

パソコンは用意していません。企画者が責任を持って用意してください。

音声の出力をされる場合、mini プラグからの出力となります。

HDMI ケーブル使用の場合も、mini プラグからの出力となりますので、設定を行ったパソコンをご用意ください。

機器の調整は必ず事前をお願いします。

※コピー機使用およびスタッフによるコピー代行はできません。

企画者側でビジネスセンター（11F）でのコピー（有料）は可能です。

※資料、お水等が必要な場合には、企画者側で事前にご用意ください。

※機器接続・調整、照明のオン・オフ、マイク係、時間管理等、原則として全て企画者側でお願いいたします。

3. ポスター発表

※割り当てられた時間中にポスターを掲示し、かつ在席責任時間の間、質疑に応じることで、正式発表とみなされます。在席責任時間中に出欠確認を行います。

・場所：大阪国際会議場 10F 1003

発表受付

会場内にポスター発表受付がございます。そちらで手続きを行ってください。発表者用リボンをお渡しします。

ポスター掲示要領

- ・ボードの大きさは、横 90 cm×縦 210 cm です。
- ・セッション 15 分前までに、ポスターを自分の発表番号が付いたボードに掲示してください。
- ・ポスターの最上部には、題目、氏名、所属を明示してください。
- ・文字の大きさは特に指定しませんが、ポスターから離れた位置（約 2 m）でも読める大きさを目安にしてください。

在席責任時間

- ・奇数番号 前半 1 時間のうち、はじめの 50 分
- ・偶数番号 後半 1 時間のうち、はじめの 50 分

発表後

- ・発表者用リボンを受付にお返しください。
- ・ポスターはセッション終了後直ちに撤去してください。セッション終了後 15 分を過ぎても撤去されない場合には大会委員会スタッフが撤去し、廃棄することがあります。

論文集情報の検索（新規）

※従来のアプリに代わり、web 検索サイトを作成しました。期間限定（2020 年 3 月 4 日まで）で、大会論文集情報を検索できる web サイトを会員を対象に公開いたします。発表者、演題、会場等、様々な検索機能もありますので、是非ご活用ください。今大会の web ページよりリンクされております以下の URL になります。なおアクセスには ID とパスワードが必要となります。ID とパスワードは、日本発達心理学会研究情報ニュース 2020 年 2 月 15 日号もしくは臨時号にてお知らせします。大会会場内にも掲示いたします。

<http://www.jsdp.jp/jsdp2020/search/>

臨床発達心理士資格関連のご案内

日本発達心理学会第31回大会にて下記のように資格説明会・相談会を開催いたします。関係各位の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 大学院教職員を対象とした臨床発達心理士資格説明会

対象：大学院教職員

日時：2020年3月2日（月）11：45～12：15

会場：大阪国際会議場 8F 801

内容：大学院生のための臨床実習の持ち方、大学院シラバス指定科目単位認定、資格に必要な講義科目、スーパーバイザーの役割など

*資格説明会のみにご参加の方は、大会参加費は不要です。大会受付の必要はありません。
そのまま説明会会場にお入りください。

2. 臨床発達心理士資格取得希望者のための個別相談会

臨床発達心理士の資格等に関する質問を受け付けます。

日時：2020年3月4日（水）12：15～13：30

会場：大阪国際会議場 8F 801

*発達心理学会大会参加費を支払い、大会受付を済ませてから会場に来てください。

連絡先：

資格説明会・相談会に関する問い合わせ：一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構

〒160-0023 新宿区西新宿 6-20-12 山口ビル 8F

FAX：03-6304-5705

e-mail：shikaku@jocdp.jp ホームページ：http://www.jocdp.jp/

お問い合わせはファックスまたはe-mailで受け付けます。

・臨床発達心理士の資格取得を目指される方へ

「臨床発達心理士資格申請ガイド2019年度版」にて詳細をご覧ください。

HP (<http://www.jocdp.jp/>) からダウンロードできます。

2020年度版の認定申請ガイドの発行・販売は2020年2月頃を予定しています。

2017年度より、資格申請制度が新しくなりました。詳しくは、ホームページをご覧ください。

2019年度から、「公認心理師」資格を取得され、「臨床発達心理専門講習会」を受講された方の資格申請が可能になっております。

・臨床発達心理士資格についてもっと知りたい方へ

大会期間中に大学院指導担当者向けの説明会を開催します。個人的な相談ができる相談会も設けています。プログラムで御確認下さい。その他にもHPや「臨床発達心理士 わかりやすい資格案内 [第4版] (金子書房)」でもこの資格について理解を深めることができます。

*大会時の資格説明会・個別相談会に関する問い合わせは、大会主催側には行なわないで下さい。

臨床発達心理士資格更新研修会のお知らせ

(日本発達心理学会第31回大会時研修会)

研修内容一覧に記されたプログラムが、資格更新ポイントの対象となります。これらの研修会参加の事前予約は不要です。当日、日本発達心理学会第31回大会会場へ直接おいいただき、発達心理学会大会参加費を支払い、大会参加受付を済ませてから、研修会の各会場へお入りください。

1. 大会参加受付：第31回大会参加受付
2. 研修会会場受付：研修会場（12F 1202）にて受付します。研修受付にてIDカードを提示し、用紙をもらいます。用紙に記名し、シンポ終了後に提出してください。

*ポイントの発行は、該当の研修会終了後は発行しません。

*会場に入りきれない時は研修を受けられないことがあります。

以下は更新ポイントの対象にはなりませんのでご注意ください。

1. IDカードを持参しない場合
2. 受付時間帯に受付をしない場合（遅刻、早退、受付のし忘れなど）

★大会時の資格更新ポイントに関する問い合わせは、大会主催側には行なわないでください。

研修内容一覧

タイトル	主催	開催日	時間	ポイント	場所
発達支援におけるインフォーマル・アセスメントの役割	臨床発達心理士認定運営機構	3月2日(月)	17:30~19:30	0.5	12F 1202
もう一つのジェンダー—父親の役割を検討する—	日本発達心理学会・臨床発達心理士認定運営機構	3月3日(火)	9:30~11:30	0.5	12F 1202
自然災害発生後における心理支援の初動とその課題について	日本臨床発達心理士会	3月3日(火)	12:30~14:30	0.5	12F 1202
発達支援において臨床実践と基礎研究を繋げる	日本臨床発達心理士会	3月3日(火)	15:00~17:00	0.5	12F 1202

臨床発達心理士認定運営機構・日本臨床発達心理士会主催シンポジウムに関する問い合わせ：

臨床発達心理士認定運営機構・日本臨床発達心理士会

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-20-12 山口ビル 8F FAX：03-6304-5705

e-mail：shikaku@jocdp.jp ホームページ <http://www.jocdp.jp/>

お問い合わせはファックスまたはe-mailで受け付けます。

講演・シンポジウム等

目次

基調講演・展開講演 (KL)	(19)
招待講演 (IL)	(19)
大会委員会企画シンポジウム (AS)	(19)
学会企画シンポジウム (BS)	(21)
学会賞 (論文賞) 受賞者小講演 (SL)	(22)
他学会等共催シンポジウム・ワークショップ (CS)	(22)
関連団体企画シンポジウム (DS)	(24)
会員企画 自主シンポジウム (SS)	(26)
大会委員会企画・会員企画 ラウンドテーブル (RT)	(32)

※氏名の後の#は、会員でない方を示します。

基調講演・展開講演

KL 3月2日(月) 9:30~11:30 特別会議場

今、改めて、発達を考える

基調講演者：南 徹弘（大阪大学：関西地区懇話会）

展開講演者：日野林 俊彦（藍野大学）

司会者：内山 伊知郎（同志社大学）

招待講演

IL 3月3日(火) 15:00~17:00 特別会議場

家族生活とメンタライジングの結合：部分の総和以上か？ (Associations Between Family Life and Mentalizing: More than the Sum of Their Parts?)

企画者：日本発達心理学会国際研究交流委員会

講演者：Claire Hughes # (University of Cambridge)

司会者：林 創（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）

通訳者：辻 弘美（大阪樟蔭女子大学）

大会委員会企画シンポジウム

AS1 3月2日(月) 12:30~14:30 1009

個体発達に生態学環境が与える影響 —日本の子どもたちを取り巻く環境を再検討する—

企画者：日本発達心理学第31回大会委員会

企画者・司会者：莊巖 舜哉（保育・子育てアドバイザー協会関西）

話題提供者：山縣 然太郎 #（山梨大学医学部）

話題提供者：友田 明美 #

（福井大学子どものこころの発達研究センター）

指定討論者：内田 伸子（環太平洋大学）

アニミズム再考：Developmental Cybernetics の視点から

企画者：日本発達心理学会第31回大会委員会
企画者・司会者・話題提供者：板倉 昭二（同志社大学）
話題提供者：大神田 麻子（追手門学院大学）
話題提供者：谷口 康祐（同志社大学）
話題提供者：Federcio Manzi #（Università Cattolica del Sacro Cuore）
指定討論者：神田 崇行 #（京都大学）

公認心理師養成における発達心理学の教育

企画者：日本発達心理学会第31回大会委員会
企画者・司会者：子安 増生（甲南大学文学部）
話題提供者：林 創（神戸大学大学院人間発達環境学研究科）
話題提供者：郷式 徹（龍谷大学文学部）
話題提供者：本郷 一夫（東北大学大学院教育学研究科）
指定討論者：遠藤 利彦（東京大学大学院教育学研究科）

「所有からシェア」の時代における「所有」を考える

企画者：日本発達心理学会第31回大会委員会
企画者・司会者：安藤 明人（武庫川女子大学文学部）
話題提供者：平井 美佳（横浜市立大学国際教養学部）
話題提供者：井関 紗代 #
(名古屋大学大学院情報学研究科・日本学術振興会)
話題提供者：松浦 和也 #（東洋大学文学部）
話題提供者：岡田 美智男 #（豊橋技術科学大学情報・知能工学系）

学会企画シンポジウム

BS1 3月2日(月) 12:30~14:30 特別会議場

「10年後」の発達心理学の話をしよう —情報技術、持続可能性、多文化の視点から—

企画者：日本発達心理学会国内研究交流委員会
企画者・司会者：高橋 亜希子（南山大学人文学部）
企画者・司会者：近藤 龍彰（富山大学人間発達科学部）
話題提供者：板倉 昭二（同志社大学）
話題提供者：広井 良典#（京都大学こころの未来研究センター）
話題提供者：林 恵（帝京短期大学こども教育学科）
話題提供者：佐々木 由美子（足利短期大学こども学科）
指定討論者：氏家 達夫（放送大学愛知学習センター）

BS2 3月2日(月) 17:30~19:30 特別会議場

親性の統合的理解を目指して

企画者：日本発達心理学会発達心理学研究編集委員会
司会者・話題提供者：田中 友香理（京都大学大学院教育学研究科）
話題提供者：大澤 直樹（京都大学大学院教育学研究科）
話題提供者：天野 大樹#（北海道大学大学院薬学研究院）
話題提供者：藤澤 隆史
（福井大学子どものこころの発達研究センター）
指定討論者：明和 政子（京都大学大学院教育学研究科）

BS3 3月3日(火) 12:30~14:30 1009

ジェンダー化を解明する —シリーズ：人の多様性を理解し、研究につなげる—

企画者：日本発達心理学会
企画者：荘巖 舜哉（保育・子育てアドバイザー協会関西）
企画者・司会者：高橋 恵子（聖心女子大学）
企画者・指定討論者：柏木 恵子（東京女子大学）
話題提供者：横山 広美#（東京大学国際高等研究所）
話題提供者：鶴田 敦子#（聖心女子大学）
話題提供者：湯川 隆子（三重大学）
指定討論者：渡邊 寛（筑波大学人間系/日本学術振興会）

学会賞（論文賞）受賞者小講演

SL1 3月4日(水) 9:30~11:30.....1008

高齢者は渋滞時に攻撃性が高まる： 運転シミュレーターと近赤外線分光法（NIRS）を用いた研究

企画者：日本発達心理学会
講演者：中田 龍三郎（名古屋大学）
司会者：岩立 志津夫（日本女子大学）

SL2 3月4日(水) 12:30~14:30.....1008

乳児の歩き出しの生態学的検討： 独立歩行の発達と生活環境の資源

企画者：日本発達心理学会
講演者：西尾 千尋（早稲田大学）
司会者：氏家 達夫（放送大学愛知学習センター）

他学会等共催シンポジウム・ワークショップ

CS1 3月2日(月) 15:00~17:00.....特別会議場

感情発達の基礎と実践 —感情心理学と発達心理学のコラボレーション—

企画者：日本感情心理学会・日本発達心理学会
司会者：有光 興記#（関西学院大学）
話題提供者：尾上 恵子（修文大学）
話題提供者：柴田 利男（京都橘大学）
話題提供者：榊原 良太（鹿児島大学）
話題提供者：谷 伊織（愛知淑徳大学）
指定討論者：内山 伊知郎（同志社大学）
指定討論者：中村 真（宇都宮大学）

人は社会や教育の環境にいかに対応するのか
—マイクロからマクロの視点までの検討 (How do we adapt to
social and educational environments? From micro to
macro)—

企画者：日本発達心理学会国際研究交流委員会・英国心理学会発
達部門(BPS Developmental Psychology Section)

司会者・話題提供者：辻 弘美 (大阪樟蔭女子大学)

司会者：林 創 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)

話題提供者：Claire Hughes # (University of Cambridge)

話題提供者：Elian Fink # (University of Cambridge)

話題提供者：Yvonne Skipper # (University of Glasgow)

話題提供者：Elizabeth Sheppard # (University of Nottingham)

話題提供者：Amy Paine # (University of Cardiff)

指定討論者：Peter Mitchell # (University of Nottingham)

研究方法論ワークショップ

企画者：日本発達心理学会国際研究交流委員会・英国心理学会発
達部門(BPS Developmental Psychology Section)

ファシリテーター：Peter Mitchell # (University of Nottingham)

ファシリテーター：辻 弘美 (大阪樟蔭女子大学)

話題提供者：板倉 昭二 (同志社大学)

話題提供者：Federcio Manzi # (Università Cattolica del Sacro Cuore)

話題提供者：菊野 雄一郎 (島根県立大学)

話題提供者：森口 佑介 (京都大学)

話題提供者：加藤 正晴 # (同志社大学)

話題提供者：Lizzy Sheppard # (University of Nottingham)

話題提供者：橋彌 和秀 (九州大学)

話題提供者：松井 智子 (東京学芸大学)

話題提供者：岸本 健 (聖心女子大学)

話題提供者：Amy Paine # (University of Cardiff)

関連団体企画シンポジウム

DS1 3月2日(月) 17:30~19:30 1009

フィールド研究における日誌法の意義

企画者：日本発達心理学会分科会
企画者・話題提供者：やまだ ようこ
(立命館大学 OIC 研究機構/京都大学名誉教授)
司会者：浦田 悠 (大阪大学全学教育推進機構)
話題提供者：麻生 武 (奈良女子大学理系女性教育開発共同機構)
話題提供者：高田 明
(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)
指定討論者：木下 孝司 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
指定討論者：神崎 真実
(立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構)

DS2 3月2日(月) 17:30~19:30 1202

発達支援におけるインフォーマル・アセスメントの役割

企画者：臨床発達心理士認定運営機構
司会者：西本 絹子 (明星大学)
話題提供者：古田 直樹 (京都市児童福祉センター)
話題提供者：小島 康生 (中京大学)
話題提供者：田爪 宏二 (京都教育大学)
指定討論者：本郷 一夫 (東北大学大学院)

DS3 3月3日(火) 9:30~11:30 1202

もう一つのジェンダー —父親の役割を検討する—

企画者：日本発達心理学会・臨床発達心理士認定運営機構
企画者・司会者：荘巖 舜哉 (保育・子育てアドバイザー協会関西)
話題提供者：石井 クンツ昌子#
(お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系)
話題提供者：高岡 純子 (ベネッセ次世代育成研究所)
話題提供者：大野 祥子 (白百合女子大学)
指定討論者：根ヶ山 光一 (早稲田大学)

自然災害発生後における心理支援の初動とその課題について

企画者：日本臨床発達心理士会災害支援委員会
司会者・指定討論者：平野 幹雄（東北学院大学）
話題提供者：櫻田 博#（元宮城県立石巻支援学校）
話題提供者：井内 聖（はやきたこども園）
話題提供者：足立 智昭（宮城学院女子大学）
指定討論者：相澤 雅文（京都教育大学）
指定討論者：滝澤 真毅（帯広大谷短期大学）

発達支援において臨床実践と基礎研究を繋げる —臨床実践者と基礎研究者が協働してできること—

企画者：日本臨床発達心理士会テーマ別研究会「自閉症の発達論的アプローチ」
企画者：尾崎 康子（東京経営短期大学）
司会者：東 敦子（社会福祉法人のゆり会のぞみ学園かめあり）
話題提供者：相澤 雅文（京都教育大学）
話題提供者：神尾 陽子#（お茶の水大学人間発達教育科学研究所）
話題提供者：森口 佑介（京都大学）
指定討論者：氏家 達夫（放送大学）

身体性（embodiment）から見たジェスチャー、手話、言語

企画者：日本発達心理学会分科会言語発達分科会
企画者・司会者：小林 春美（東京電機大学）
企画者：高橋 登（大阪教育大学）
企画者：大伴 潔（東京学芸大学）
企画者：田中 みどり（女子栄養大学）
話題提供者：三宅 英典（松山東雲女子大学）
話題提供者：岸本 健（聖心女子大学）
話題提供者：武居 渡（金沢大学）
指定討論者：谷口 一美#（京都大学）

会員企画 自主シンポジウム

SS1 3月2日(月) 9:30~11:30 1001

学校現場への介入研究から学ぶ

企画者・司会者：大谷 和大（北海道大学）
企画者：田中 あゆみ#（同志社大学）
話題提供者：町 岳#（静岡大学）
話題提供者：山口 洋介#（大阪大学）
話題提供者：石川 信一（同志社大学）
指定討論者：安藤 史高（岐阜聖徳学園大学）
指定討論者：中谷 素之（名古屋大学）

SS2 3月2日(月) 9:30~11:30 1002

教職志望大学生による学校支援ボランティアの実際 — “学校現場の課題解決” と “教師としての実践的な力量形成” の両立を目指して—

企画者・指定討論者：廣澤 愛子（福井大学連合教職開発研究科）
司会者：大西 将史（福井大学連合教職開発研究科）
話題提供者：笹原 未来（福井大学連合教職開発研究科）
話題提供者：山城 拓也#（静岡大学教育学部教育実践総合センター）
話題提供者：菅野 文彦#（静岡大学教育学部教育実践総合センター）
話題提供者：鈴木 英夫#（神奈川大学法学部）
話題提供者：鹿島 覚#
(神奈川大学神大ユースサポートプロジェクト)
指定討論者：松木 健一#（福井大学副学長）

SS3 3月2日(月) 12:30~14:30 1202

発達障害児の社会性と言語コミュニケーション発達のアセスメントを考える — 幼児期から児童期の発達心理学的視点と保育・教育支援フレームからの検討—

企画者・司会者・話題提供者：橋本 創一（東京学芸大学）
話題提供者：林 安紀子（東京学芸大学）
話題提供者：堂山 亜希（目白大学）
話題提供者・指定討論者：大伴 潔（東京学芸大学）

障害のある人にとっての死・死別 —死生の多様性を考える—

企画者：死生心理学研究会（死生心理学研究会）

司会者：渡邊 照美（佛教大学）

話題提供者：張 貞京（京都文教短期大学）

話題提供者：佐藤 繭美#（法政大学）

話題提供者：杉山 幸子（八戸学院大学短期大学部）

指定討論者：田垣 正晋（大阪府立大学大学院）

小中一貫教育に関する発達心理学的視点からの検討 —3年間の縦断調査データの分析—

企画者・司会者・話題提供者：都筑 学（中央大学）

話題提供者：金子 泰之（静岡大学）

話題提供者：岡田 有司（東北大学）

話題提供者：高坂 康雅（和光大学）

指定討論者：山本 由美#（和光大学）

発達行動遺伝学の展開 —共有環境の影響はあるのかないのか—

企画者・司会者・話題提供者：高橋 雄介（京都大学）

企画者・司会者・話題提供者：安藤 寿康（慶應義塾大学）

話題提供者：鈴木 国威（大阪人間科学大学）

話題提供者：平石 界#（慶應義塾大学）

指定討論者：菅原 ますみ#（お茶の水女子大学）

高校における発達障害へのスティグマ改善プログラムの開発 —マンガを使ったオンラインプログラム—

企画者・話題提供者：鳥居 深雪（神戸大学大学院）
司会者：梅田 真理（宮城学院女子大学）
話題提供者：桂 志保#（兵庫教育大学大学院専門職学位課程）
話題提供者：西尾 祐美子（畿央大学）
話題提供者：小川 修史#（兵庫教育大学大学院）
指定討論者：石川 照子#（兵庫県立西宮香風高等学校）

小学生に対するアンガーマネジメント・プログラム —通常学級における一次支援教育としての『いかりやわらかレッ スン』—

企画者・司会者：稲田 尚子（帝京大学）
話題提供者：尹 成秀（帝京大学）
話題提供者：石田 航（帝京大学）
話題提供者：寺坂 明子#（大阪教育大学）
話題提供者：四辻 伸吾#（大阪教育大学附属平野小学校）
話題提供者：黒山 竜太#（熊本大学）
指定討論者：本郷 一夫（東北大学大学院）

「アイデンティティ」の魅力を再考する（その6） —アイデンティティの測定法再考—

企画者・司会者・話題提供者：谷 冬彦（神戸大学）
企画者・指定討論者：宮下 一博（学習院大学）
企画者・話題提供者：大倉 得史（京都大学）
話題提供者：中谷 陽輔（同志社大学）

フォーラム森の幼稚園(2)

—森のなかでは、何が行われ、何が育まれるのか?—

企画者：百合草 禎二（主体科学としての心理学研究所）

司会者：松好 伸一（石巻専修大学）

話題提供者：金子 龍太郎（龍谷大学）

話題提供者：大道 香織（広島大学大学院）

指定討論者：松阪 崇久（大阪成蹊大学）

現代青年期のパートナーシップ

—恋愛、ファッション、親子関係に焦点をあてて考える—

企画者・司会者：池 志保（福岡県立大学大学院）

企画者・話題提供者：中村 晋介（福岡県立大学）

話題提供者：井ノ崎 敦子（徳島大学）

話題提供者：中村 悠里恵#（和光大学）

話題提供者：三吉 紗矢#（福岡県立大学大学院）

指定討論者：高坂 康雅（和光大学）

幼児教育と小学校教育の接続期を生きる子どもと保護者(2)

—小1という時期を探る—

企画者・司会者・話題提供者：滝口 圭子（金沢大学）

話題提供者：野口 隆子（東京家政大学）

話題提供者：田爪 宏二（京都教育大学）

指定討論者：富田 久枝（千葉大学）

学びの文脈に即して他者とのかかわりを支える

企画者・話題提供者：岡田 涼（香川大学）

企画者・話題提供者：中山 留美子（奈良教育大学）

司会者：石井 僚（奈良教育大学）

話題提供者：石橋 太加志（東京大学教育学部附属中等教育学校）

指定討論者：伊藤 美奈子（奈良女子大学）

指定討論者：畑野 快（大阪府立大学）

SS14 3月3日(火) 12:30~14:30 1001

発達障害を抱える成人の心理療法を通した「私」の発達
—自閉スペクトラム症の受身性と知的障害の類似性と相違性—

企画者・話題提供者：松本 拓真（岐阜大学）
司会者：山根 隆宏（神戸大学大学院人間発達環境学研究所）
話題提供者：中島 由宇（東海大学文化社会学部）
指定討論者：浜田 寿美男#（奈良女子大学名誉教授）

SS15 3月3日(火) 12:30~14:30 1002

魔術的思考の発達から伝統的発達観を問い直す

企画者・司会者・話題提供者：外山 紀子（早稲田大学）
話題提供者：中島 伸子（新潟大学）
話題提供者：富田 昌平（三重大学）
指定討論者：加藤 義信（元愛知県立大学）

SS16 3月3日(火) 15:00~17:00 1009

生涯発達における発達の最適化と Well-being
—成人期・老年期の適応的な発達と支援—

企画者・司会者・話題提供者：塚原 拓馬（実践女子大学）
話題提供者：西田 裕紀子
（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター）
話題提供者：亀山 晶子#（日本大学）
話題提供者：権藤 恭之（大阪大学）
指定討論者：鈴木 忠（白百合女子大学）

SS17 3月3日(火) 15:00~17:00 1001

他者と「共に生きるかたち」をいかに記述し語るのか
—特別なニーズがある方が社会で働くことを支えるもの—

企画者・話題提供者：工藤 芳幸（関西福祉科学大学）
司会者：石川 由美子（宇都宮大学）
話題提供者：倉本 孝子#（社会福祉法人愛仁会）
指定討論者：青山 新吾（ノートルダム清心女子大学）
指定討論者：浜田 寿美男#（立命館大学）

保育者の深い学びを支える園内研修

企画者：野口 隆子（東京家政大学）
司会者：淀川 裕美（東京大学大学院）
話題提供者：鈴木 健史（東京立正短期大学）
話題提供者：松壽 洋子（千葉大学）
話題提供者：上田 敏丈（名古屋市立大学）
指定討論者：中坪 史典（広島大学）
指定討論者：埋橋 玲子#（同志社女子大学）

社会性の発達の多様性

企画者・話題提供者：林 創（神戸大学）
企画者・話題提供者：清水 由紀（埼玉大学）
企画者・司会者・話題提供者：岸本 健（聖心女子大学）
指定討論者：川上 清文（聖心女子大学）

人の発達を支えるための連携と協働 —その基本的考え方や実践への活かし方—

企画者・司会者：丸谷 充子（和洋女子大学）
話題提供者：秦野 悦子（白百合女子大学）
話題提供者：前川 あさ美（東京女子大学）
話題提供者：吉澤 一弥（日本女子大学）

現代社会において大人になるということ —4年間の縦断調査データの分析—

企画者・話題提供者：杉村 和美（広島大学）
司会者・話題提供者：都筑 学（中央大学）
話題提供者：中間 玲子（兵庫教育大学）
話題提供者：畑野 快（大阪府立大学）
指定討論者：加藤 弘通（北海道大学）

発達支援領域における多職種連携協働と大学の役割
—地域リソースとしての大学、地域リソースを生み出す大学—

企画者・司会者：森脇 愛子（東京大学）
話題提供者：横田 千賀子（淑徳大学）
話題提供者：飯田 悠佳子#（駿河台大学）
指定討論者：永作 稔#（十文字学園女子大学）

非行少年の生物・心理・社会的特徴と具体的支援
—児童自立支援施設の取り組みから—

企画者・話題提供者：富田 拓#（網走刑務所）
企画者・司会者・話題提供者：松浦 直己#（三重大学）
話題提供者：熊澤 健#（横浜市向陽学園）
話題提供者：川村 雅昭#（横浜市立中学校）
企画者・話題提供者：大原 天青（国立武蔵野学院）
指定討論者：加藤 道代（東北大学）

大会委員会企画・会員企画 ラウンドテーブル

Eテレ幼児番組を視聴し放送と心理学の連携について語り合う

企画者・ファシリテーター：村野井 均（茨城大学名誉教授）
ファシリテーター：子安 増生（甲南大学）
ファシリテーター：木村 美奈子（名城大学）
ファシリテーター：宇治橋 祐之#（NHK放送文化研究所）

「学校」を生きる人々のナラティブ

企画者・司会者：山本 智子（近畿大学）
話題提供者：吉川 武憲#（近畿大学）
話題提供者：森下 文#（奈良女子大学（非常勤））
話題提供者：光田 尚美#（近畿大学）
指定討論者：森岡 正芳（立命館大学）

RT3 3月2日(月) 9:30~11:30 1005

発達検査課題における言語反応の分析
—新版 K 式発達検査の改訂をめぐって—

企画者・ファシリテーター：清水 里美（関西大学大学院）
ファシリテーター：大谷 多加志（京都国際社会福祉センター）
ファシリテーター：原口 喜充#（京都国際社会福祉センター）

RT4 3月2日(月) 9:30~11:30 1006

わらべうたと発達心理学の新たな出会い
—わらべうたを通したふれあいが、子どもの健やかな育ちにいか
に貢献しうるのか—

企画者・ファシリテーター：湯澤 美紀（ノートルダム清心女子大学）
話題提供者：和田 幸子#（京都光華女子大学）
話題提供者：林 美里（京都大学霊長類研究所）
話題提供者：山口 創（桜美林大学）

RT5 3月2日(月) 9:30~11:30 1007

クローゼットの中の研究協力拒否者
—データ収集におけるサイレントマジョリティー—

企画者・話題提供者：黒澤 泰（茨城キリスト教大学）
話題提供者：平田 正吾#（千葉大学）
話題提供者：増田 真也#（慶應義塾大学）
指定討論者：加藤 道代（東北大学）

自閉症スペクトラム児のキャリア発達支援 —ライフステージを見通した支援とは—

- 企画者・司会者：木立 伸也
(富山県リハビリテーション病院・こども支援センター)
- 話題提供者：地内 亜紀子 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
- 話題提供者：柳川 公三子
(富山大学人間発達科学部附属特別支援学校)
- 話題提供者：白馬 智美 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
- 指定討論者：日戸 由刈
(相模女子大学人間社会学部/子育て支援センター)
- 指定討論者：大崎 博史#
(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)

自閉症のある子どもの子育てに「家族の流儀」は どのように影 響するのか(6)

- 企画者・話題提供者：青山 新吾 (ノートルダム清心女子大学)
- 企画者・司会者：久保山 茂樹 (国立特別支援教育総合研究所)
- 話題提供者：沼田 あや子# (白梅学園大学)
- 話題提供者：山崎 徳子 (常磐会学園大学)
- その他：市川 奈緒子 (白梅学園大学)
- その他：勝浦 眞仁 (桜花学園大学)

対人・社会関係における「ずれ」に何をみることができるのか —葛藤・危機・違和感をキーワードとして—

- 企画者・話題提供者：保坂 裕子 (兵庫県立大学環境人間学部)
- 話題提供者：松嶋 秀明 (滋賀県立大学)
- 話題提供者：Reggie Pawle # (関西外国語大学)
- 指定討論者：青山 征彦# (成城大学)

象徴機能の発達における「ゆらぎ」とその意義

企画者・ファシリテーター：新屋 裕太（東京大学大学院教育学研究科）
企画者：森口 佑介（京都大学）
企画・話題提供者：石橋 美香子（お茶の水女子大学）
企画・話題提供者：萩原 広道（京都大学）
話題提供者：山口 将典（京都大学大学院）
話題提供者：黒川 嘉子#（奈良女子大学生生活環境科学系）

妊娠期からの歌唱による母子間愛着形成支援について —「ららばいプロジェクト」からみえてきたもの—

企画者：石上 浩美（京都市立芸術大学）
ファシリテーター：西頭 智子#（摂南大学看護学部）
話題提供者：宮本 雅子#（四天王寺大学看護学部）
話題提供者：石井 かおり#（石井音楽教室）
指定討論者：亀田 隆#（亀田マタニティ・レディースクリニック）

「絵本の読み合い遊び」と自立活動 —遊び心を教育の観点に取り入れることの成果と課題—

企画者・話題提供者：石川 由美子（宇都宮大学）
司会者：仲野 みこ（筑波大学附属大塚特別支援学校）
話題提供者：片桐 正敏（北海道教育大学旭川校）
ファシリテーター：佐藤 晋治#（大分大学）

子どもの笑いの測定と評価
— “笑う・笑わせる・笑われる” の観点から見えてくる課題と可能性—

企画者・話題提供者：伊藤 理絵（岡崎女子短期大学）
話題提供者：水野 友有（中部学院大学）
話題提供者：近藤 龍彰（富山大学）
話題提供者：川上 文人（中部大学）
ファシリテーター：村上 太郎（九州女子大学）

外傷的出来事を経験している子どもの攻撃性への対応(2)

企画者・司会者：足立 智昭（宮城学院女子大学）
話題提供者：大橋 良枝（聖学院大学）
話題提供者：柴田 理瑛（東北福祉大学）
話題提供者：平野 幹雄（東北学院大学）

教師や保育者に対する訪問型の支援研修の必要性に関する検討
— 自閉症スペクトラム症児への交流型支援に基づく包括的な支援—

企画者・司会者：板倉 達哉（文京学院大学）
話題提供者：吉井 勘人（山梨大学）
話題提供者：青木 雄一（山梨大学教育学部附属特別支援学校）
話題提供者：若井 広太郎（筑波大学附属大塚特別支援学校）
話題提供者：兵藤 瑞穂（筑波大学大学院）
話題提供者：長崎 勤（実践女子大学）
指定討論者：柄田 毅（文京学院大学）

保育に写真記録を取り入れることで見えてくること変わることに
—何がどのように見えてくるかに着目して—

企画者・ファシリテーター：田島 大輔（和洋女子大学）
ファシリテーター：久留島 太郎#（植草学園短期大学）
話題提供者：本田 洋介#（いώρα保育園）
話題提供者：牧野 彰賢#（ほうりん福祉会）
話題提供者：黒木 隼人#（こどもなーと摂津保育園）

地域に根差した子育て支援及び多世代交流
—日本と中国の実践活動—

企画者・司会者：姜 娜（慶應義塾大学）
話題提供者：橘高 春生#（東京おもちゃ美術館）
話題提供者：戸田 瑞穂#（読み聞かせグループ大南おはなしの森）
話題提供者：小峯 弘子（乳幼児運動指導者）
話題提供者：劉 晶波#（南京師範大学）
指定討論者：荒牧 美佐子（目白大学）

感情コントロールがうまくない発達障害児の療育・保育・教育と
子育て支援について
—幼児・児童期における‘育てにくさ’の理解とアプローチを考える—

企画者・司会者：橋本 創一（東京学芸大学）
ファシリテーター：林 安紀子（東京学芸大学）
話題提供者：瀨上 真裕美#（東京学芸大学）
話題提供者：小谷 裕実#（京都教育大学）
話題提供者：柄田 毅（文京学院大学）
話題提供者：水内 豊和（富山大学）

ライフイベントの「入り口」に向けられるジェンダーをめぐるアンコンシャス・バイアス

—社会・文化的な価値観にとらわれた無意識の思い込みを問う—

企画者・司会者：中坪 史典（広島大学）
話題提供者：木戸 彩恵（関西大学）
話題提供者：加藤 望#（愛知みずほ短期大学）
話題提供者：石野 陽子（島根大学）
指定討論者：小松 孝至（大阪教育大学）

多様なアプローチによる読み書き発達過程の統合的理解

—実験心理学・計算論・神経科学の観点から—

企画者：奥村 優子（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）
話題提供者：樋口 大樹#（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）
話題提供者：垣花 真一郎（明治学院大学）
話題提供者：三盃 亜美#（筑波大学）
話題提供者：北 洋輔
（(独)国立精神・神経医療研究センター/ヘルシンキ大学）
指定討論者：針生 悦子（東京大学）

療育演劇（Therapy Drama）の実践

—指導者（成人）への効果と可能性—

企画者・司会者・話題提供者：金武 育子（office 育子）
話題提供者：比嘉 佳代（株式会社おきなわ edu）
話題提供者：杵屋 勝之（貞莉 玲）#（ESL Theater Project）

他者との関係性を記述する自己エスノグラフィの可能性

企画者・話題提供者：土元 哲平（立命館大学）
司会者・話題提供者：上川 多恵子（立命館大学人間科学研究科）
話題提供者：町田 奈緒士（京都大学）
話題提供者：伴野 崇生#（慶応義塾大学）
指定討論者：沖潮 満里子（学校法人ソニー学園湘北短期大学）

「生涯現役」社会構築の生涯発達の条件の分析（その1） —大学生における生涯現役生活への準備性の構造と機能—

企画者・司会者・話題提供者：田島 信元（白百合女子大学）
話題提供者：前川 正雄#（公益財団法人和敬塾）
話題提供者：高橋 彩（公益財団法人前川ヒトづくり財団）
話題提供者：原 健之（白百合女子大学大学院文学研究科）

多様性を心理学から議論する(1) —各発達段階からみた多様性の現状と課題—

企画者：山根 隆宏（神戸大学大学院）
企画者：王 松（関西外国語大学）
ファシリテーター：日潟 淳子（姫路大学）
話題提供者：石本 雄真（鳥取大学）
話題提供者：原田 新（岡山大学）
話題提供者：田仲 由佳（清泉女学院大学）

保育者と心理職の協働は保育現場に何をもたらすのか
—キンダーカウンセラー・保育カウンセラーという保育者を支える者に焦点をあてて—

企画者・司会者・話題提供者：榊原 久直（神戸松蔭女子学院大学）
話題提供者：浅井 映美子#
（神戸松蔭大学大学院文学研究科心理学専攻）
話題提供者：米田 なおこ#（神戸松蔭こころのケア・センター）
話題提供者：原口 喜充#（キンダーカウンセラー）

子どもと教師の関係性について考える
—幼稚園・学校における子どものアタッチメント欲求と探索行動—

企画者：安藤 智子（筑波大学）
話題提供者：金井 聖子
（ウイローブルックインターナショナルスクール）
話題提供者：田崎 さより#（横浜市立小学校）
話題提供者：田中 美千子（杏林大学保健学部）
指定討論者：中尾 達馬（琉球大学）
指定討論者：村上 達也（高知工科大学）

子育ての正解は一つじゃない
—動物の子育てを学び、ヒトの子育てを再考する—

企画者・司会者：齋藤 慈子（上智大学）
話題提供者：久世 濃子#（国立科学博物館・日本学術振興会）
話題提供者：山田 一憲（大阪大学）
話題提供者：酒井 麻衣#（近畿大学）
指定討論者：平石 界#（慶應義塾大学）

発達心理学と保育実践の交差点に潜む「発達」をめぐる問い —「年齢」問題から見えるもの—

企画者・司会者：木下 孝司（神戸大学）
話題提供者：若林 紀乃（名古屋大学）
話題提供者：山田 真世（福山市立大学）
話題提供者：富田 昌平（三重大学）
ファシリテーター：川田 学（北海道大学）

社会性の発達に困難を抱える子どもの早期発見と発達支援 —アセスメントと支援ツールの役割と課題—

企画者：別府 悦子（中部学院大学）
話題提供者：北川 小有里（本巢市役所）
話題提供者：宮本 正一#（中部学院大学）
話題提供者：黒田 美保（名古屋学芸大学）
指定討論者：神尾 陽子#（発達障害クリニック附属発達研究所）

シームレスな対人支援に基づく人間科学の創成

企画者・話題提供者：矢藤 優子（立命館大学）
話題提供者：肥後 克己#（立命館大学）
話題提供者：安田 裕子（立命館大学）
話題提供者：サトウ タツヤ（立命館大学）
話題提供者：神崎 真実（立命館大学）

離婚後の親子関係を考える

企画者・話題提供者：曾山 いづみ（奈良女子大学）
話題提供者：福丸 由佳（白梅学園大学）
話題提供者：直原 康光（筑波大学大学院）
話題提供者：山田 哲子（立教大学）

成人期女性の語りにおけるアイデンティティと時間的展望

企画者・話題提供者：白井 利明（大阪教育大学）
司会者：中村 知靖（九州大学）
指定討論者：杉村 和美（広島大学）
指定討論者：日潟 淳子（姫路大学）
指定討論者：野村 晴夫（大阪大学）

福祉施設における子育て支援と課題

—発達の・心理的問題を抱える子どもを育てる上での養育者の困難さに寄り添う支援—

企画者・話題提供者：金城 志麻（琉球大学）
話題提供者・ファシリテーター：利光 恵#（西九州大学）
話題提供者：村岡 淑恵#（西九州大学）
話題提供者：上原 淳子（社会福祉法人友興会）

相互行為論による発達理論と発達支援方法論の構築

—垂直的・水平的越境活動による発達と支援—

企画者・司会者・話題提供者：長崎 勤（実践女子大学）
話題提供者：奥村 桃子（豊岡短期大学）
話題提供者：浦本 愛（実践女子大学）
話題提供者：伊藤 和佳（実践女子大学）
話題提供者：吉井 勘人（山梨大学）
話題提供者：原 満登里#（山梨県立わかば支援学校）
指定討論者：田島 信元（白百合女子大学）

「地区懇話会・分科会」活動のこれまでとこれから
— 經常的研究交流活動の活性化の効用と課題 —

- 企画者：日本発達心理学会第31回大会委員会
企画者・司会者：田島 信元
(白百合女子大学：文化比較・行動比較分科会：発達心理事)
- 企画者・司会者：莊巖 舜哉
(保育・子育てアドバイザー協会関西：関西地区懇話会：発達心理事)
- 話題提供者：川田 学 (北海道大学：北海道地区懇話会)
話題提供者：神谷 哲司 (東北大学：東北地区懇話会)
話題提供者：氏家 達夫
(放送大学：東海地区懇話会：発達心代表理事)
- 話題提供者：南 徹弘 (大阪大学：関西地区懇話会)
話題提供者：村上 太郎 (九州女子大学：九州地区懇話会)
話題提供者：吉井 勘人 (山梨大学：発達障害分科会)
話題提供者：高橋 登 (大阪教育大学：言語発達分科会)
話題提供者：黒石 憲洋 (国際基督教大学教育研究所)
話題提供者：やまだ ようこ
(立命館大学：ナラティブと質的研究分科会)
- 話題提供者：中垣 啓
(早稲田大学：仏語圏発達心理学文献を原点で読む分科会)
- 話題提供者：石本 雄真
(鳥取大学：Social & Emotional Development 分科会)
- 指定討論者：榊原 久直
(神戸松蔭女子学院大学：国内研究交流委員会分科会・地区懇話会担当)

人格発達と世代間交流
— 自己変革の契機に着目して —

- 企画者・司会者・話題提供者：金田 利子 (東京国際福祉専門学校)
話題提供者：安永 正史# (東京都健康長寿医療センター研究所)
指定討論者：高橋 恵子 (聖心女子大学)
指定討論者：荒木 穂積 (立命館大学)

認知発達研究における脳活動計測の有効性とその懸念点
—近赤外分光法 (NIRS) に着目して—

企画者・司会者・話題提供者：柳岡 開地 (東京大学)
話題提供者：石橋 美香子 (お茶の水女子大学)
話題提供者：孟 憲巍 (同志社大学)
話題提供者：山本 絵里子# (慶應義塾大学)
指定討論者：皆川 泰代# (慶應義塾大学)

音・音楽の分析的聴取から育まれる資質・能力
—小学校2年生を対象とした調査から—

企画者・司会者：吉永 早苗 (東京家政学院大学)
話題提供者：岡田 香織# (江西小学校)
話題提供者：佐野 和貴子# (金光竹小学校)
話題提供者：小松 正史# (京都精華大学)
話題提供者：高橋 幸子 (姫路大学)
指定討論者：下郡 啓夫# (函館工業高等専門学校)

Social-Emotional Development 研究と支援の今とこれから
—SED 分科会設立記念セッション—

企画者・司会者・話題提供者：渡邊 直美 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所)
司会者：浜名 真以 (東京大学)
話題提供者：岩立 京子 (東京学芸大学)
話題提供者：小林 朋子 (静岡大学)

ASD 児同士のコミュニケーション —神経多様性と自閉的共感性の視点から—

企画者・司会者：藤野 博（東京学芸大学教職大学院）
話題提供者：武部 正明（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科）
話題提供者：日戸 由刈（相模女子大学）
話題提供者：米田 英嗣（青山学院大学）
指定討論者：綿貫 愛子（NPO 法人東京都自閉症協会）
指定討論者：大井 学（金沢大学）

個人、家族、地域における調節過程とライフコース

企画者：日本発達心理学会ライフコース分科会（分科会）
司会者・指定討論者：岡林 秀樹（明星大学）
話題提供者：竹村 明子（仁愛大学）
話題提供者：赤澤 淳子（福山大学）
話題提供者：浅川 達人#（明治学院大学）

ヴィゴツキーの思春期理論 —ヴィゴツキー・シンポ 35—

企画者：百合草 禎二（主体科学としての心理学研究所）
司会者：大久保 智生（香川大学）
ファシリテーター：加藤 弘通（北海道大学）
指定討論者：及川 智博（北海道大学）

過去展望から捉える青年の時間的展望

企画者・話題提供者：半澤 礼之（北海道教育大学）
企画者：園田 直子（久留米大学）
司会者：柏尾 眞津子（大阪人間科学大学）
話題提供者：石川 茜恵（立正大学）
指定討論者：大橋 靖史（淑徳大学）
指定討論者：白井 利明（大阪教育大学）

写経（宗教的実践）の心理的効果について考える

企画者・司会者：松島 公望（東京大学）
話題提供者：平子 泰弘#（曹洞宗総合研究センター）
話題提供者：中尾 将大#（大阪大谷大学人間社会学部）

情動的コンピテンスの発達 —道徳性・向社会性の発達研究との接近—

企画者：長谷川 真里（横浜市立大学）
司会者：越中 康治（宮城教育大学）
話題提供者：浜名 真以（東京大学）
話題提供者：森野 美央（長崎大学）
指定討論者：篠原 郁子（国立教育政策研究所）

思春期以降の高機能自閉スペクトラム症者の内的不適応感の問題 について考える —愛着・トラウマ・スティグマの視点から—

企画者：日本臨床発達心理士会東京支部
(発達臨床研究ネットワーク)
司会者：本郷 美奈子（大阪大学）
ファシリテーター：大島 郁葉（千葉大学）
話題提供者：近藤 清美（帝京大学）
話題提供者：服巻 智子（大阪大学）
話題提供者：鳥居 深雪（神戸大学）

道徳性とは何か? : 道徳性再考(2)
—新領域での研究から 道徳性概念 の本質を考える—

企画者: 勝間 理沙 (京都大学)
企画者: 戸田 有一 (大阪教育大学)
司会者: 橋本 祐子 (関西学院大学)
話題提供者: 熊木 悠人 (福岡教育大学)
話題提供者: 菊野 雄一郎 (島根県立大学)
話題提供者: 長谷川 真里 (横浜市立大学)

物と人の身体が会う生活行為から発達過程を跡づける
—卵割りの発達心理学(4)—

企画者・話題提供者: 松本 光太郎 (茨城大学)
企画者・話題提供者: 坂上 裕子 (青山学院大学)
指定討論者: 小島 康生 (中京大学)
指定討論者: 野中 哲士 (神戸大学)
指定討論者: 竹下 秀子 (追手門学院大学)

ブルーナー文化心理学との対話
—心と文化をどう問うか?—

企画者・話題提供者: 横山 草介 (東京都市大学)
話題提供者: 嶋口 裕基# (名城大学)
話題提供者: 阿部 廣二 (早稲田大学)
話題提供者: 松熊 亮 (首都大学東京)

保育カンファレンスにおける保育者の感情 —視覚的ツール使用時における保育者の語りと脳機能イメージン グ—

企画者：香曾我部 琢（宮城教育大学）
話題提供者：中坪 史典（広島大学）
話題提供者：高橋 健介#（東洋大学）
話題提供者：境 愛一郎（共立女子大学）
指定討論者：安田 裕子（立命館大学）
指定討論者：大森 隆司#（玉川大学）

震災後の福島での子育てと子育て

企画者：齊藤 誠一（神戸大学）
企画者・話題提供者：岡本 英生（奈良女子大学）
企画者：則定 百合子（和歌山大学）
司会者：吉田 圭吾（神戸大学）
話題提供者：高谷 理恵子（福島大学）
指定討論者：畠山 美穂（甲南女子大学）
指定討論者：北野 幸子#（神戸大学）

乳幼児期の社会情動的能力の発達と保育・家庭環境

企画者・司会者：中道 圭人（千葉大学）
企画者・司会者：岩田 美保（千葉大学）
企画者・ファシリテーター：砂上 史子（千葉大学）
話題提供者：中道 直子（日本女子体育大学）
話題提供者：高橋 実里（千葉大学）
話題提供者：野澤 祥子（東京大学）
ファシリテーター：平林 秀美（東京女子大学）

改善・軽減すべき ASD 児の発達特性とは
—発達初期に見られる ASD 特性とその後の養育環境・セラピー
との関係について—

企画者・話題提供者：廣利 吉治（東海学院大学）

司会者・話題提供者：牧野 光里（社会福祉法人岡崎市福祉事業団）

話題提供者：藤本 哲弥 #（東海学院大学）

話題提供者：宇野 礼佳 #（東海学院大学）

ポスターセッション

目次

ポスター発表 1	3月2日(月) PS1	(51)
ポスター発表 2	3月2日(月) PS2	(57)
ポスター発表 3	3月2日(月) PS3	(62)
ポスター発表 4	3月2日(月) PS4	(68)
ポスター発表 5	3月3日(火) PS5	(74)
ポスター発表 6	3月3日(火) PS6	(80)
ポスター発表 7	3月3日(火) PS7	(85)
ポスター発表 8	3月4日(水) PS8	(90)
ポスター発表 9	3月4日(水) PS9	(95)

ポスター掲示可能期間：

3月2日(月)

PS1 9時30分～11時30分

PS2 12時30分～14時30分

PS3 15時00分～17時00分

PS4 17時30分～19時30分

3月3日(火)

PS5 9時30分～11時30分

PS6 12時30分～14時30分

PS7 15時00分～17時00分

3月4日(水)

PS8 9時30分～11時30分

PS9 12時30分～14時30分

在席責任時間：

奇数番号 前半1時間のうちはじめの50分

偶数番号 後半1時間のうちはじめの50分

※氏名の後の#は、会員でない方を示します。

PS1-1 乳幼児の生活と育ちに関する縦断調査 2019(1)
—低出生体重児の自己制御の芽生えとその規定因について—

東京大学大学院	大久保 圭介
ベネッセ教育総合研究所	真田 美恵子
ベネッセ教育総合研究所	李 知苑
ベネッセ教育総合研究所	岡部 悟志#
ベネッセ教育総合研究所	高岡 純子
東京大学大学院	唐 音啓
大阪教育大学	小崎 恭弘#
慶應義塾大学	島津 明人#
東京大学大学院	野澤 祥子
東京大学大学院	遠藤 利彦
東京大学大学院	秋田 喜代美

PS1-2 乳幼児の生活と育ちに関する縦断調査 2019(2)
—子育てに対する母親のアンビバレントな感情と養育行動に関する検討—

ベネッセ教育総合研究所	真田 美恵子
ベネッセ教育総合研究所	李 知苑
ベネッセ教育総合研究所	岡部 悟志#
ベネッセ教育総合研究所	高岡 純子
東京大学大学院	大久保 圭介
東京大学	唐 音啓
大阪教育大学	小崎 恭弘#
慶應義塾大学	島津 明人#
東京大学	野澤 祥子
東京大学	遠藤 利彦
東京大学	秋田 喜代美

PS1-3 乳幼児の生活と育ちに関する縦断調査 2019(3)
—周囲のサポートが育児肯定感と子どもの協調性との関連に与える影響の検討—

東京大学	唐 音啓
ベネッセ教育総合研究所	真田 美恵子
ベネッセ教育総合研究所	李 知苑
ベネッセ教育総合研究所	岡部 悟志#
ベネッセ教育総合研究所	高岡 純子
東京大学大学院	大久保 圭介
大阪教育大学	小崎 恭弘#
慶應義塾大学	島津 明人#
東京大学	野澤 祥子
東京大学	遠藤 利彦
東京大学	秋田 喜代美

PS1-4	乳幼児の生活と育ちに関する縦断調査 2019 (4) —父母のネガティブな養育行動の相互関連性に関する検討—	東京大学 野澤 祥子 ベネッセ教育総合研究所 真田 美恵子 ベネッセ教育総合研究所 李 知苑 ベネッセ教育総合研究所 岡部 悟志# ベネッセ教育総合研究所 高岡 純子 東京大学大学院 大久保 圭介 東京大学 唐 音啓 大阪教育大学 小崎 恭弘# 慶應義塾大学 島津 明人# 東京大学 遠藤 利彦 東京大学 秋田 喜代美
PS1-5	幼児の食と睡眠に関する健康教育 (3) —子どもの生活時刻クラスターによる食事摂取時刻・共食状況などの比較—	大正大学 長谷川 智子 江戸川大学 福田 一彦# お茶の水女子大学 赤松 利恵# お茶の水女子大学大学院 吉井 瑛美#
PS1-6	幼児の睡眠習慣に関する縦断的検討Ⅲ	関西福祉科学大学 西元 直美 関西女子短期大学 山本 正顕
PS1-7	生後 6・7 か月児の睡眠リズムと午睡時の授乳との関連 —母親の寝かしつけ方からみる睡眠リズム確立への影響—	玉川大学大学院 田村 典子 玉川大学 佐治 量哉
PS1-8	物語の残酷性と情緒発達 の考察 —昔話「かちかちやま」の新旧内容の比較研究をととして—	浦和大学 柴田 崇浩
PS1-9	小学生における共感性とサポート授受との関連	筑波大学大学院 高橋 智子 筑波大学 庄司 一子
PS1-10	子どもはゴシップを気にして評判操作をおこなうのか	名古屋大学 篠原 亜佐美 追手門学院大学 鹿子木 康弘 NTT コミュニケーション科学基礎研究所 奥村 優子 NTT コミュニケーション科学基礎研究所 小林 哲生#
PS1-11	きょうだいの相互作用に関する研究 XX —大きな存在として—	和田 香誉

PS1-12	幼児期における謝罪に対する被害者の反応の発達的变化 —許容行動と怒りの情動に着目して—	東北大学大学院 九里 真緒
PS1-13	協同問題解決場面における園児ペアの発話	鎌倉女子大学 藤澤 文
PS1-14	2歳児の遊びの始まりと維持に関する事例的考察 —中村学園大学附属おひさま保育園 —中村学園大学 野上 俊一	池上 奈摘 野上 俊一
PS1-15	2歳児の食事場面における問題行動について —中国における行動観察の試み—	立命館大学 孫 怡 慶應義塾大学 姜 娜 立命館大学 連 傑濤 立命館大学 矢藤 優子
PS1-16	父親の摂食成功率と父親の育児関与状況との関連 —離乳食場面の観察から—	東洋学園大学 福田 佳織 文京学院大学 森下 葉子 埼玉学園大学 尾形 和男
PS1-17	食物アレルギーのある子どもの父親の育児・家事参加 —食物アレルギーではない子どもの父親と比較して—	駒沢女子大学 弓気田 美香
PS1-18	1歳児のアタッチメントとその他の発達との関連	帝京大学 近藤 清美
PS1-19	生後3-10カ月にわたる乳児のポジティブ情動の発達軌跡 —養育者の情動特性との関連—	山形大学 本島 優子
PS1-20	親は子どもの尊敬と憧れの感情表出をいかに知覚するか —テキストマイニングによる予備的検討—	お茶の水女子大学 武藤 世良
PS1-21	子どものネガティブな感情表出を受け止める養育力と母親のパソナリティ要因との関連	東京福祉大学 石 晓玲 元大阪樟蔭女子大学 藤村 和久# NPO 法人保育・子育てアドバイザー協会関西 荘巖 舜哉 東京福祉大学 関口 はつ江
PS1-22	「おとうさん、おかあさん！こんなベルトつけたくない！」 —ウェアラブルセンサ・ベルトを装着拒否するのはいかなる幼児か—	愛知淑徳大学 蒲谷 楨介

PS1-23	反抗期の乳幼児を育てている親の育児感情と役割意識の関係 —動機づけ理論によるモデル構築の試み—	京都大学大学院 大澤 直樹
PS1-24	「血縁を超えて親になる」までの養母の心理的変容プロセス —複線径路・等至性モデル (TEM) と発生の三層モデル (TLMG) による分析—	文京学院大学 森 和子
PS1-25	片づけ動機が片づけ行動に及ぼす影響 —大学生を対象とした検討—	目白大学大学院 元井 沙織 目白大学 小野寺 敦子
PS1-26	子どものお気に入りの物体の多様性 —物体の扱い方に基づく移行対象様物体と空想の友達の分類の試み—	京都大学大学院 山口 将典 京都大学 森口 佑介
PS1-27	青年期における説明行動と道徳感情との関連	新見公立大学 芝崎 美和 四国大学 芝崎 良典
PS1-28	女子大学におけるキャリア教育の教育効果の検討 —テキストマイニングによる分析—	白百合女子大学 目良 秋子 白百合女子大学 眞榮城 和美 白百合女子大学 大野 祥子 白百合女子大学／武蔵野大学大学院 中山 千秋 白百合女子大学 鈴木 忠
PS1-29	大学生のゲーム依存と関連要因の検討	中京大学大学院 古賀 佳樹 中京大学 川島 大輔
PS1-30	大学生における共有行動が会話の展開に及ぼす影響	立命館大学総合心理学部 廣瀬 翔平 立命館大学総合心理学部 中妻 拓也 #
PS1-31	地域若者サポートステーションにおける介入研究 —新たな仕事作り活動としてのパフォーマンスの実践—	筑波大学大学院 北本 遼太
PS1-32	未婚男女における「おひとりさま」志向と恋愛への関心 —恋愛離れと対人志向性の関連の検討—	文京学院大学 永久 ひさ子

PS1-33	親子関係再構築プログラムの養育環境の違いによる主観的効果の検討 —親の行動変容から親子関係再構築支援に求められる視点抽出の試み—	大阪大学 酒井 佐枝子 立命館大学 佐藤 友紀# (特)チャイルド・リソース・センター 坂口 伊都# (特)チャイルド・リソース・センター 宮口 智恵#
PS1-34	高校生の生活習慣と日常的希死感の関係に対する親子関係認知の調整効果	敦賀気比高等学校 坂本 理香
PS1-35	台湾既婚者の生活満足度 —性別、個人、配偶者及び家族要因による分析—	元智大学 糠 明珊
PS1-36	中国都市部乳幼児を取り巻く養育環境と子育て支援 —上海9家族を対象とした2回目のインタビュー調査から—	慶應義塾大学 姜 娜 立命館大学 孫 怡
PS1-37	日米国際結婚夫婦の宗教的文化実践をめぐる夫婦間葛藤と夫婦関係の変容	東京都市大学 矢吹 理恵
PS1-38	在パリ日本人家庭障害乳幼児の子育て支援に関する予備的研究	東洋大学 田尻 由起 筑波大学人間系 栢植 雅義#
PS1-39	家計運営モニタリング尺度の開発と成人期の横断的検討	東北大学 神谷 哲司
PS1-40	子どもの表現をめぐる児童の権利と保育実践・研究倫理の検討	國學院大学 斉藤 こずゑ
PS1-41	ヴィゴツキー・レキシコン(1) —《最近接発達領域》概念—	主体科学としての心理学研究所 百花草 禎二
PS1-42	色彩評価と気分の関連について	東洋大学大学院 坂本 光平 東洋大学 加藤 千恵子#
PS1-43	自閉スペクトラム症児の音韻カテゴリ知覚	東京学芸大学 内田 真理子 早稲田大学 篠原 靖明# 東京学芸大学 松井 智子 東京学芸大学 池田 一成# 東京学芸大学教職大学院 藤野 博 茨城大学 東條 吉邦 武蔵野東教育センター 計野 浩一郎#

-
- PS1-44 育児未経験者の乳児表情顔に対する脳血流反応
—視聴時と対乳児発話時の比較—
- 東北福祉大学大学院 庭野 賀津子
東北福祉大学 田邊 素子#
東北福祉大学 川崎 善徳#
東北福祉大学 庭野 道夫#
-
- PS1-45 乳児の注意は大人のやり抜く姿に影響をうけるのか
- お茶の水女子大学/東京大学 石橋 美香子
東京大学 新屋 裕太
-
- PS1-46 乳児における言語と音楽のピッチ曲線の知覚
- 玉川大学 梶川 祥世
玉川大学大学院 吉村 麻美
ヤマハ音楽振興会 熊坂 好孝#
-
- PS1-47 協和性を維持するための合唱演奏者間の相互作用について(1)
—ハーモニー形成とひとの感情には、どのような結びつきや関係性があるのか—
- 京都市立芸術大学 石上 浩美

ポスターセッション 2 3月2日(月) 12:30~14:30

(在席責任時間 発表番号: 奇数 12:30~13:20 / 偶数 13:30~14:20)

PS2-1 絵本に描かれるイヌとネコのイメージと人との関係

東京農工大学大学院 島谷 日菜子
東京農工大学 甲田 菜穂子

PS2-2 障害をもつ子どもに対する動物介在活動の一考察
—イルカを用いた活動に参加した子どもを見守る保護者の視点—

帝京科学大学 / 神戸市立須磨海浜水族園 門多 真弥

PS2-3 犬の行動特性が飼い主の受診行動に及ぼす影響
—飼い主の行動は犬の行動特性に左右される—

日本獣医生命科学大学 柿沼 美紀
南九州大学 財部 盛久
日本獣医生命科学大学 百田 豊#
日本獣医生命科学大学 野瀬 出#
東京都市大学 紺野 道子
白百合女子大学 五十嵐 一枝
医療法人愛燦会発達神経クリニックプロップ 上地 亜矢子
日本大学 高橋 桃子

PS2-4 セラピー犬は中学生にどのような心理的効果を及ぼすか? (1)
—セラピー犬に対する生徒の認識と捉え方について—

愛知淑徳大学 坂田 陽子
愛知淑徳大学 高野 恵代
愛知淑徳大学大学院 兼子 明日華
愛知淑徳大学大学院 山田 夢
同志社中学校 青木 潤一#

PS2-5 セラピー犬は中学生にどのような心理的効果を及ぼすか? (2)
—ストレス対処方略、コミュニケーション・スキルとセラピー犬の好感度および関与期待度との関連—

愛知淑徳大学 高野 恵代
愛知淑徳大学 坂田 陽子
愛知淑徳大学大学院 山田 夢
愛知淑徳大学大学院 兼子 明日華
同志社中学校 青木 潤一#

PS2-6 《心の窓》を通して人と交流すること(1)
—心理療法における思春期の生徒とのかかわり方—

神戸大学 吉田 圭吾
大阪成蹊短期大学 加戸 敬子

PS2-7 「心の窓」を通して人と交流すること(2)
—音楽療法における音楽の共有とライフレビュー—

大阪成蹊短期大学 加戸 敬子
神戸大学 吉田 圭吾

PS2-8	なぐり描き線への投影過程と個人特性	東京女子大学大学院 東京女子大学	片保 希実 前川 あさ美
PS2-9	「学校不適応感」とレジリエンス	東京女子大学大学院 東京女子大学	堀本 ともみ 前川 あさ美
PS2-10	青年期の自傷行為者の自己開示と開示相手の態度との関係性	東京大学大学院	新井 素子
PS2-11	自傷行為経験のある友人と関わる者の、自傷行為への捉え方の変容プロセス	神戸大学大学院 神戸大学大学院	西 恭平 吉田 圭吾
PS2-12	アイデンティティの混乱はなぜ青年の自殺リスクになるのか —死生観の媒介効果の検討—	奈良教育大学 名古屋大学大学院 同志社大学	石井 僚 原田 雅也 江 聚名#
PS2-13	大学生の水イメージとパーソナリティ特性との関連 —性差を中心に—	東海学園大学 東海学園大学	三宅 理子 高橋 晋也#
PS2-14	非行少年の知能・情緒・行動・学習に関する多面的評価 —児童自立支援施設の入退所時の変化に焦点をあてて—	国立武蔵野学院 網走刑務所 三重大学 埼玉大学	大原 天青 富田 拓# 松浦 直己# 萩生田 伸子#
PS2-15	家族造形法における親からのサポートの程度の表現と家族理解の変化に関する検討	神戸大学大学院 同志社大学 神戸大学大学院	鈴木田 英里 興津 真理子 山根 隆宏
PS2-16	死別経験後のサポートと二次的傷つきが意味生成に与える影響 —大学生を対象として—	中京大学大学院心理学研究科 中京大学心理学部 中京大学心理学部	松島 岬紀 水島 さくら# 川島 大輔
PS2-17	子どもの遺尿と発達障害 —症状に基づいた分類の試み—	ルーテル学院大学 白百合女子大学	菊池 知美 五十嵐 一枝

PS2-18	クロスストラテリティの臨床的意義を再考する	武庫川女子大学	萱村 俊哉
PS2-19	神経発達症群が疑われた児の WISC-IV における外れ値の出現率	埼玉石心会病院	柏木 宏介
PS2-20	発達支援領域のエコロジカルマップを用いた多職種連携教育 —エコロジカルマップの実用を通して、多職種連携コンピテンシーを考える—	東京大学 板橋特別支援学校	森脇 愛子 鈴木 悠介
PS2-21	多職種・多機関連携と構造論の展開 —とくに連携が難しい場合の要因の分析—	日本女子大学 和洋女子大学 日本女子大学 淑徳大学短期大学部	吉澤 一弥 丸谷 充子 安藤 朗子 永房 典之
PS2-22	教師のソーシャルサポートとアサーションスキルとの関連 —中学生における教師の「内面的理解」に着目して—	愛知淑徳大学大学院	山田 夢
PS2-23	児童自立支援施設におけるアフターケアの現状と課題 —施設職員へのインタビュー調査による予備的検討—	大阪大学	望月 直人
PS2-24	乳幼児の行動、母親の養育行動と育児支援の利用有無との関連	甲南大学大学院人文科学研究科 甲南大学文学部 奈良大学社会学部	岡本 大輔 大澤 香織 # 磯部 美也子
PS2-25	乳幼児の母親の子育て幸福感に関連する人格的強み (1)	関西福祉科学大学 関西福祉科学大学 関西福祉科学大学 関西福祉科学大学 関西福祉科学大学	久保 信代 谷向 みつえ 木村 志保 宇恵 弘 島井 哲志
PS2-26	乳幼児の母親の子育て幸福感に関連する人格的強み (2)	関西福祉科学大学 関西福祉科学大学 関西福祉科学大学 関西福祉科学大学 関西福祉科学大学	谷向 みつえ 久保 信代 木村 志保 宇恵 弘 島井 哲志
PS2-27	小学生版レジリエンス尺度の作成	宮崎大学 都城市立上長飯小学校 宮崎大学大学院 宮崎大学大学院 宮崎大学	立元 真 中島 寛 # 高橋 智子 # 加藤 博之 # 東迫 健一 #

PS2-28	小・中学生の学習関連要因の検討(1) —沖縄県と他県の小・中学生の学習や生活に着目して—	広島大学大学院教育学研究科 琉球大学教育学部	高橋 均 中尾 達馬
PS2-29	小・中学生の学習関連要因の検討(2) —沖縄県と他県の小・中学生の学習行動の認知等に着目して—	琉球大学教育学部 広島大学大学院教育学研究科	中尾 達馬 高橋 均
PS2-30	映像の手がかりから見た児童の時制理解の発達 —「ドラゴンボール」における時制表現の簡略化—	茨城大学	村野井 均
PS2-31	ディスプレイ上での文章理解度について —ページングとスクロールが文章の理解に及ぼす効果—	佐賀女子短期大学	水田 茂久
PS2-32	ASD 児における発話の含意の理解 —副助詞ダケ・モに着目して—	愛媛大学 東京学芸大学 東京学芸大学教職大学院 茨城大学 武蔵野東教育センター	三浦 優生 松井 智子 藤野 博 東條 吉邦 計野 浩一郎 #
PS2-33	極低出生体重児における幼児期の注視能力と気質との関連 —GazeFinder による注視率と IBQ-R および ECBQ による気質次元を用いた検討—	岐阜聖徳学園大学／名古屋第二赤十字病院 名古屋第二赤十字病院 名古屋市西部地域療育センター 公立小松大学 名古屋市立大学	野村 香代 永井 幸代 # 宮地 泰士 # 鋤柄 増根 # 中川 敦子 #
PS2-34	「心の理論」課題と心的操作の発達の関係について	茨城キリスト教大学 千葉大学 東京都北区立袋小学校 東京学芸大学大学院 東京学芸大学	三橋 翔太 平田 正吾 # 林 史香 # 北村 柚葵 奥住 秀之
PS2-35	幼児期における空間的能力の発達	兵庫教育大学	細谷 里香
PS2-36	幼児の空間参照枠の使用における布置の大きさの影響	山口短期大学 広島大学	鄭 曉琳 杉村 伸一郎

PS2-37	見える情動と聞こえる情動、どちらが大切？ —表情・体勢と音声の組み合わせからの視聴覚情動知覚における発達の変化—	東京女子大学 東京女子大学 東京女子大学	山本 寿子 河原 美彩子# 田中 章浩#
PS2-38	母親の特性が母子相互作用に及ぼす影響について	大阪大学大学院 大阪大学大学院 大阪大学大学院	田中 祐子 上野 将敬 金澤 忠博
PS2-39	早期介入が ASD 幼児の言語発達におよぼす効果の 1 事例 —JASPER の取り組み—	BRIDGE ころの発達研究所 名古屋学芸大学	須藤 幸恵 黒田 美保
PS2-40	幼児期におけるデジタル絵本を利用した役割取得能力トレーニング —ネガティブデータの検討—	新潟青陵大学 敬愛大学 宇都宮大学	本間 優子 阿部 学# 株田 昌彦#
PS2-41	実行機能が幼児の向社会的行動の遂行に及ぼす影響	川崎医科大学附属病院 川崎医療福祉大学	安田 万里子 清水 光弘
PS2-42	小学校低・中学年児童の実行機能が自己制御能力に及ぼす影響	佛教大学大学院 佛教大学	西田 美由紀 松村 京子
PS2-43	小学 3、4 年生の算数学力と入学時の実行機能・教室でのセルフレギュレーション行動 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科	山本 訓子 佛教大学 松村 京子	
PS2-44	Tabletop Model に見られる空間的視点取得の学年差 —交通安全教育手法に関する—考察—	(一財)日本自動車研究所 (一財)日本自動車研究所	大谷 亮 栗山 あずさ#
PS2-45	幼児の計数における指の使用と計数成績との関係	広島大学大学院 広島大学大学院	脇村 美穂 杉村 伸一郎
PS2-46	かけ算九九における被乗数の影響 —乗数ごとの被乗数比較—	北海学園大学	後藤 聡

ポスターセッション 3 3月2日(月) 15:00~17:00

(在席責任時間 発表番号: 奇数 15:00~15:50; 偶数 16:00~16:50)

PS3-1	幼稚園4歳児クラスにおける給食当番スキプトの獲得過程	文京学院大学 上村 佳世子 文京学院大学 加須屋 裕子 上越教育大学 吉澤 千夏
PS3-2	保護者支援における特定の家族背景に対する保育士の認識	上越教育大学 白神 敬介
PS3-3	保護者にとっての子どもの入園の意味(6) —入園年度2月及び年長2月に母が感じる園生活経験による子どもの成長—	昭和女子大学 藤崎 春代
PS3-4	子どもの育ちにとまなう父親の語りの変化(4) —第1子妊娠期から2歳までにおける世話役割に関する語りに着目して—	げんき夢保育園 宮本 知子 昭和女子大学 藤崎 春代
PS3-5	IATによる育児への非意識的態度の測定に向けて —刺激選定を目的とした「育児」関連ツイートの分析—	修文大学短期大学部 中島 奈保子 神戸親和女子大学 松本 麻友子# 静岡県立大学短期大学部 小林 佐知子 愛知学院大学 松岡 弥玲 名古屋大学 橘 春菜 四国大学 内山 有美 愛知学院大学 金田 宗久# 中部大学 速水 敏彦#
PS3-6	幼児における合成音声の抑揚の有無が物語内容理解に及ぼす影響	愛知淑徳大学大学院 兼子 明日華
PS3-7	幼児期における運動能力向上に向けて —運動能力と保護者意識の関係性について—	四国大学 笠井 由美 四国大学 内山 有美
PS3-8	4歳児の向社会的行動について —対人的信頼感、親和動機との関連についての探索的研究—	四国大学 内山 有美 四国大学 笠井 由美

PS3-9 園内研修における学びの構造化に関する試み(1)
—心に残った発言・研修が活発になった発言に着目して—

東京大学 CedeP 淀川 裕美
武蔵野大学 箕輪 潤子
西南学院大学 門田 理世
東京大学 秋田 喜代美
東京家政大学 野口 隆子
名古屋市立大学 上田 敏丈
広島大学 中坪 史典
九州産業大学 森 暢子#
兵庫県立大学 芦田 宏#
兵庫教育大学 鈴木 正敏
関西国際大学 椋田 善之#
聖徳大学 小田 豊#

PS3-10 園内研修における学びの構造化に関する試み(2)
—園内研修で学んだこと・他者の発言と学びのつながりに着目して—

武蔵野大学 箕輪 潤子
東京大学 CedeP 淀川 裕美
西南学院大学 門田 理世
東京大学 秋田 喜代美
東京家政大学 野口 隆子
名古屋市立大学 上田 敏丈
広島大学 中坪 史典
九州産業大学 森 暢子#
兵庫県立大学 芦田 宏#
兵庫教育大学 鈴木 正敏
関西国際大学 椋田 善之#
聖徳大学 小田 豊#

PS3-11 幼児の遊び経験が生み出す性格特性の実証的研究
—幼児の遊戯性と唾液中コルチゾールの関係性から—

札幌国際大学人文学部心理学科 中野 茂
札幌国際大学人文学部心理学科 橋本 久美#

PS3-12 幼児の感情制御方略使用をサポートする対他感情制御方略と養育者の認識の変化についての質的検討
東京大学大学院 則近 千尋

PS3-13 幼児向け感情知識測定アプリのユーザビリティ検証
—対人版とアプリ版を比較して—

NTT コミュニケーション科学基礎研究所 渡邊 直美
名古屋大学 篠原 亜佐美
NTT コミュニケーション科学基礎研究所 小林 哲生#

PS3-14 保育現場における発達支援に関する専門家介入の期待と必要性

社会福祉法人ルピナス 川端 悠子
キッズ・キッズ折尾保育園 山本 幸子#

PS3-15	保育の特性に応じた音環境の創出 —縦の空間を活かす吸音施工の事例報告—	金沢学院短期大学 嶋田 容子 金沢工業大学 土田 義郎 #
PS3-16	フォークペダゴジーへのヴィジュアル・ナラティブアプローチ	東京都市大学 横山 草介
PS3-17	保育者の袖に腕を通す援助の発達の变化 —保育所1歳児の着衣行動の縦断的観察—	明和学園短期大学 甲賀 崇史
PS3-18	子ども・保育者がインクルーシブ保育から受ける影響と保育者の保育観・クラスでの対応との関連性	東京大学 高橋 翠
PS3-19	家庭の経済的状況と子どもの成績の学年変化 —「愛知の子ども縦断調査」より—	元愛知県立大学 神田 直子 愛知県立大学 山本 理絵
PS3-20	校内通級教室における言語表現に困難のある児童への指導(2) —場面緘黙児の事例研究—	昭和女子大学 折原 有美 昭和女子大学 石井 正子
PS3-21	外国人集住地域の公立小学校外国人児童の日本語習得の実情 —「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメント」の準用から—	追手門学院大学 竹下 秀子 彦根市 奥村 ルシア # 滋賀県立大学人間文化学部 河 かおる #
PS3-22	沖縄離島と関東都市部における小学生の事故 —災害報告書の分析をもとに—	早稲田大学 根ヶ山 光一
PS3-23	授業時の生徒逸脱行動に対する教員志望学生の解釈および感情 —ピアワーク前後の変化に注目して—	千葉工業大学 市川 洋子 東北大学 深谷 優子
PS3-24	幼少期の生活経験と青年期の平面構成作品との関係性について —高校生の平面構成作品とその作品の説明文に注目して—	聖セシリア女子短期大学 佐藤 那美 近畿大学九州短期大学 石塚 幸雄 #
PS3-25	家庭における乳幼児の人形遊びに関する実態調査(1) —家庭にある人形の種類と遊ぶ頻度に関する検討—	湊川短期大学 大塚 穂波 武庫川女子大学 田中 美帆

PS3-26	認識しているチームの目標と学習意欲の関連 —少年サッカーを題材として—	医療創生大学 名取 洋典
PS3-27	学習継続動機づけを支える要因について —女子短期大学生の縦断調査による検討—	秋草学園短期大学 大熊 美佳子
PS3-28	大人の評価がズレる時期 —教師による生徒評価の学年差の検討—	北海道大学 加藤 弘通 常葉大学 太田 正義
PS3-29	大学在学期間における教授難易度評価の変容	清泉女子大学 福田 健
PS3-30	「乳児と視線が合うこと」が認知症高齢者の行動に与える影響	中京大学 田渕 恵 中京大学 小島 康生
PS3-31	老親の介護を担うことをなぜ子は自ら選択するのか —親の介護を担うことに対する子の意味づけを手がかりに—	北海道大学大学院 濤岡 優
PS3-32	放課後学習支援に従事する高齢ボランティアのライフヒストリーにみる世代性 (generativity) の形成過程	京都光華女子大学 諏澤 宏恵
PS3-33	高齢者の学習活動参加と「市民性」の関係について	神戸大学大学院 安里 知陽 神戸大学 片桐 恵子
PS3-34	50代シングル女性における生活状況と心理的適応との関連	昭和女子大学 松永 しのぶ 鎌倉女子大学 大石 美佳
PS3-35	働く女性のワーク・ファミリー・バランスと更年期症状の関連 —ワーク・ファミリー・コンフリクトとワーク・ファミリー・ファシリテーションに着目して—	国立長寿医療研究センター 富田 真紀子 国立長寿医療研究センター 西田 裕紀子 国立長寿医療研究センター 丹下 智香子 国立長寿医療研究センター 中川 威 国立長寿医療研究センター 大塚 礼# 愛知淑徳大学 安藤 富士子 名古屋学芸大学 下方 浩史#

PS3-36	成人期における生活・業務の認知行動特性尺度の開発 —勤労パフォーマンスとストレスマネジメントの観点から—	京都市立芸術大学 大阪大学大学院人間科学研究科 株式会社クリップオン・リレーションズ 株式会社クリップオン・リレーションズ 大阪大学大学院人間科学研究科 大阪大学大学院人間科学研究科	山村 麻予 平井 啓# 村中 直人# 上木 誠吾# 原田 恵理# 藤野 遼平#
PS3-37	高齢期における独自志向性と生活スタイルの関連 —孤独感との違いに着目して—	大阪大学大学院	豊島 彩
PS3-38	後期高齢者における幸福感和楽観性・悲観性および感情調整方略との関連	北海学園大学	進藤 将敏
PS3-39	時計描画検査による高齢運転者の危険運転予測：DRIVE study2.5年追跡の結果から	大阪府立大学	河野 直子
PS3-40	定年退職前後における抑うつ症状の変化	国立長寿医療研究センター 国立長寿医療研究センター 国立長寿医療研究センター 国立長寿医療研究センター 国立長寿医療研究センター 愛知淑徳大学 名古屋学芸大学	中川 威 西田 裕紀子 丹下 智香子 富田 真紀子 大塚 礼# 安藤 富士子 下方 浩史#
PS3-41	一次的・二次的コントロールの最適化尺度日本語版の作成 —因子構造・信頼性・妥当性および年代差の検討—	明星大学	岡林 秀樹
PS3-42	加齢に伴う発達の变化 —「数学的推理」と「ことわざの理解」に焦点をあてて—	関西大学大学院 京都国際社会福祉センター 京都国際社会福祉センター	清水 里美 大谷 多加志 原口 喜充#
PS3-43	高齢期の心理的健康と老いへの態度、自律性との関連	文京学院大学 文京学院大学 聖徳大学	伊藤 裕子 山崎 幸子 相良 順子
PS3-44	高齢者向けウェブシステムの試行 —オンライン上交流の展開とその効果に関する検討—	川村学園女子大学 川村学園女子大学	北原 靖子 桂 瑠以#

PS3-45 大学生のインターネット・リテラシーに影響する要因の検討

帝京科学大学 旦 直子
帝京科学大学 酒井 映奈#

PS3-46 インターネット利用と生活の諸側面の関係に関する検討（Ⅲ）
—高校生対象の生活実態調査の結果から—

関西学院大学 小谷 正登
西宮市教育委員会 木田 重果#
奈良女子大学附属中等教育学校 加島 ゆう子#
芦屋市教育委員会 塩山 利枝#
流通科学大学 岩崎 久志#
梅花女子大学 三宅 靖子#
一宮研伸大学 下村 明子#
武庫川女子大学 白石 大介#

PS3-47 大学生におけるインターネット使用態度、インターネット依存傾向とインターネット使用開始時における
使用状況の関連

岡山大学 三宅 幹子

ポスターセッション 4 3月2日(月) 17:30~19:30

(在席責任時間 発表番号: 奇数 17:30~18:20; 偶数 18:30~19:20)

PS4-1	乳幼児のコンテイング機能の内在化に関する一考察 —乳幼児観察から見た発達の視点—	帝京大学 橋本 貴裕
PS4-2	教師の存在が児童の共感と向社会的行動に及ぼす影響	鳴門教育大学 高野 風人 鳴門教育大学 内田 香奈子
PS4-3	役割取得, 規則遵守等の未就学児と小学生の得点の比較と性差 —保護者評定尺度を用いた検討—	文教大学 登張 真稲 文教大学 名尾 典子 あきる野市教育相談所 田村 沙織 埼玉大学 首藤 敏元 帝京科学大学 大山 智子
PS4-4	小学生がおこなう向社会的行動(1) —向社会的行動の頻度と文化差の検討—	鈴鹿大学 杉山 佳菜子 鈴鹿大学 齋藤 信
PS4-5	小学生がおこなう向社会的行動(2) —向社会的行動の対象と種類に関する自由記述の検討—	鈴鹿大学 齋藤 信 鈴鹿大学 杉山 佳菜子
PS4-6	発達障害における就学後以降の友人関係に関する調査	和洋女子大学 金井 智恵子
PS4-7	高校生の全体的自己価値についての検討 —2017年度調査と2018年度調査の比較—	名古屋文理大学短期大学部 山本 ちか
PS4-8	大学生における社会認識と将来展望(1) —進路選択活動期における社会認識の変化—	中央大学 峰尾 菜生子 立正大学 石川 茜恵
PS4-9	大学生における社会認識と将来展望(2) —社会認識が将来展望に与える影響—	立正大学 石川 茜恵 中央大学 峰尾 菜生子
PS4-10	いじめの長期的影響からの成長と回復に関わる要因の検討	神戸大学大学院 長田 真人 神戸大学 相澤 直樹

PS4-11	現代青年におけるべきの専制と不安との関連 —認知的コントロールの交互作用効果—	名古屋大学大学院 芝 啓太
PS4-12	大学生のアイデンティティと時間的指向性の理想と現実 —アイデンティティと時間的指向性における発達の方角—	大阪教育大学 白井 利明
PS4-13	大学生の自伝的記憶の感情と対人関係への親との同居の影響	日本女子大学 船越 かほる 日本女子大学 岩立 志津夫
PS4-14	5次元モデルに基づく大学生のアイデンティティ発達の軌跡と学習態度、資質・能力との縦断的関連 —大規模縦断調査による潜在クラス抽出の試み—	大阪府立大学 畑野 快 桐蔭横浜大学トランジションセンター 溝上 慎一
PS4-15	大学生における「母性愛」信奉傾向と養護性 —男女および保育系学生と一般学生の比較—	東京学芸大学 扇原 貴志
PS4-16	Best Possible Self 法による特性的楽観主義とポジティブ感情の検討	九州女子大学 鍋田 智広
PS4-17	居場所（安心できる人）と貢献感、特性的自己効力感及び生活満足感の関係	奈良学園大学 岡村 季光 日本薬科大学 多根井 重晴#
PS4-18	子どもの頃の家族関係が青年後期・成人期のメンタルヘルスに与える影響 —母子ペアデータによる検討—	松蔭大学 水本 深喜 国立成育医療研究センター 立花 良之#
PS4-19	青年期の愛着スタイルと愛着対象の発達の变化 —中学生・高校生・大学生の比較検討—	比治山大学大学院 神谷 真由美
PS4-20	孤独感類型と精神的回復力との関連	四国大学 芝崎 良典 新見公立大学 芝崎 美和
PS4-21	早期完了型のコミットメントに関する検討 その1 —音楽家を対象としたコミットメント維持要因の探索的検討—	松山大学 熊野 みき エリザベト音楽大学 木谷 智子
PS4-22	過剰適応の人が抑うつを高める行動に関する検討	淑徳大学大学院総合福祉研究科 加納 啓太 淑徳大学大学院総合福祉研究科 田中 寿夫# 淑徳大学 神 信人#

PS4-23	青年後期における日本語版 Highly Sensitive Child 尺度の特徴 —1 か月にわたる時間的安定性と構成概念妥当性の検討—	東京大学大学院 飯村 周平
PS4-24	Highly Sensitive Person-Scale 改訂版作成の試み	九州大学大学院 永松 岳
PS4-25	小学一年生の食の課題と HSC 傾向との関連	兵庫教育大学大学院 古泉 祐子 兵庫教育大学大学院 細谷 里香
PS4-26	情報生態学的人格発達論の試み —ライフログ収集ツールの新規利用の観点から—	放送大学 高橋 秀明
PS4-27	働くことを通じておきる自己実現に関する一考察 —伝統工芸職人の仕事語りにみられる自己受容の分析—	首都大学東京 松熊 亮
PS4-28	親性準備性と内的作業モデル及び家族成員間相互作用との関連について —中学生・高校生・大学生を対象として—	神戸大学大学院 木南 沙也香
PS4-29	産後うつと産後1年時の対児愛着との関連 —子どもの健康と環境に関する全国調査より—	富山大学 笠松 春花 富山大学 土田 暁子# 富山大学 松村 健太# 富山大学 浜崎 景# 富山大学 稲寺 秀邦#
PS4-30	子育て期の女性におけるアイデンティティ —成人期初期および現在のキャリア選択と多次元アイデンティティ発達との関連—	横浜市立大学 平井 美佳
PS4-31	中年期女性のライフスタイルに関する研究 —エゴ・レジリエンスとライフスタイルとの関連から—	エゴレジ研究所 畑 潮 目白大学 小野寺 敦子
PS4-32	成人期における労働者役割と母親役割の変容プロセス	法政大学大学院 清成 美佐子
PS4-33	デルタ法を用いた項目特性曲線の標準誤差の導出	筑波大学 登藤 直弥

PS4-34 公園遊具の譲り合い行動に関する研究
—独自に開発した Android™ 用アプリケーションを用いた観察の試み—
小田原短期大学 佐藤 由香理
宮城学院女子大学 大橋 智樹 #

PS4-35 知的な遅れのない自閉スペクトラム症幼児の感覚処理特性
横浜市北部地域療育センター 関 泰子
横浜市総合リハビリテーションセンター 白馬 智美
横浜市総合リハビリテーションセンター 高屋 知枝
よこはま港南地域療育センター 江口 香世
横浜市戸塚地域療育センター 難波 紀子 #
横浜市西部地域療育センター 藤沼 佑子 #
横浜市戸塚地域療育センター 中村 泉 #
よこはま港南地域療育センター 牛島 智子

PS4-36 幼児期の運動能力と運動遊びが社会的スキルの発達に及ぼす影響
日本女子体育大学大学院 今井 夏子
日本女子体育大学 中道 直子

PS4-37 小児科における神経心理学的検査の応用(1)
—ADHD 児および ADHD 併存 ASD 児の Trail Making Test の特徴—
日本大学医学部附属板橋病院 佐藤 菜穂
日本大学医学部附属板橋病院 笹川 彩
日本大学医学部附属板橋病院 内田 彩子
横須賀市療育相談センター 恵良 美津子
日本大学医学部附属板橋病院 高橋 桃子

PS4-38 小児科における神経心理学的検査の応用(2)
—視覚性持続処理課題「もぐらーず」を用いた ADHD 児および ADHD 併存 ASD 児における評価—
日本大学医学部附属板橋病院 笹川 彩
日本大学医学部附属板橋病院 佐藤 菜穂
日本大学医学部附属板橋病院 内田 彩子
横須賀市療育相談センター 恵良 美津子
日本大学医学部附属板橋病院 高橋 桃子

PS4-39 我々は紙に描かれたイラストに対して畏敬の念を抱くか？
大阪大学 伴 碧
大阪大学 高橋 英之 #

PS4-40 性差を考慮した幼児版社会性・行動評価尺度の開発
—得点化試案について—

兵庫教育大学大学院 田中 駿
姫路大学 郷間 英世 #
京都大学 加藤 寿宏 #
京都女子大学 落合 利佳 #
平安女学院大学短期大学部 清水 里美
大谷大学 井上 和久 #
摂南大学 池田 友美 #
京都国際社会福祉センター 大谷 多加志
京都国際社会福祉センター 原口 喜充 #
赤穂特別支援学校 大久保 圭子 #
京都教育大学 牛山 道雄
兵庫教育大学 石倉 健二

PS4-41 成人の愛着関係におけるメンタライゼーション測定を試み
—恋愛関係に焦点化したメンタライゼーション尺度の作成—

東京大学大学院 鳥羽 翔太

PS4-42 日本語・児童版グリット尺度作成の試み

帝京大学教育学部 山村 豊
帝京大学教育学部 成家 篤史 #
帝京大学外国語学部 大森 哲至
日本大学文理学部 宮下 達哉 #
桜美林大学大学院 宮里 翔大 #

PS4-43 **Interpersonal Acceptance-Rejection Theory (IPARTheory) in Japan: An Item Response Theory (IRT) Investigation of Early Adolescents**

名古屋大学 Aktar Rumana
名古屋大学 杉浦 祐子
名古屋大学 平石 賢二

PS4-44 青年期の感情の社会化尺度日本語版作成の試み
—信頼性、因子的妥当性および予測的妥当性の検討—

東京大学／日本学術振興会 出野 美那子
東京大学／日本学術振興会 飯村 周平

PS4-45 子ども用社会的達成目標尺度の作成

筑波大学大学院・日本学術振興会特別研究員 海沼 亮
筑波大学人間系 外山 美樹

PS4-46 「精神的充足・社会的適応力」評価尺度の縦断的活用の効果
—心理的レジリエンスとの相互影響に関する検討—

十文字学園女子大学 綿井 雅康
十文字学園女子大学 加藤 陽子 #

PS4-47 高機能自閉スペクトラム症幼児の「心の理解」の発達支援
—「カルピス」カフェでの協同活動を通して—

よこはま港南地域療育センター 船木 遥香
よこはま港南地域療育センター 牛島 智子
実践女子大学 長崎 勤

ポスターセッション 5 3月3日(火) 9:30~11:30

(在席責任時間 発表番号: 奇数 9:30~10:20; 偶数 10:30~11:20)

PS5-1	接続期における保育者と小学校教諭の指導観の差異	福山市立大学 倉盛 美穂子 福山市立大学 長原 千香子# 福山市立大学 森 美智代# 坂出市立川津小学校 新開 美晴#
PS5-2	幼児期における人物画の発達の变化	静岡県立大学短期大学部 小林 佐知子
PS5-3	社会的視点取得と言語発達: 幼児と成人及び発達障害児	同朋大学 小沢 日美子
PS5-4	超低出生体重児の長期フォローアップの実際 —発達外来における取り組み—	梅花女子大学 田島 真知子 大阪母子医療センター 山本 悦代# 大阪母子医療センター 小杉 恵# 大阪母子医療センター 平野 慎也#
PS5-5	自閉スペクトラム症幼児におけるふり遊びの発達	和光大学 辻 あゆみ 岐阜大学 別府 哲
PS5-6	知的な遅れのない ASD 幼児の感覚処理特性に関する予備的検討 —症状の強さ、精神医学的ニーズとの関連—	横浜市総合リハビリテーションセンター 高屋 知枝 横浜市総合リハビリテーションセンター 白馬 智美 横浜市総合リハビリテーションセンター 地内 亜紀子 横浜市総合リハビリテーションセンター 岩佐 光章#
PS5-7	保育における発達に非対称がある子どもとの遊びにおける関係論的視点からの分析と支援	千葉大学教育学部 細川 かおり
PS5-8	早期療育を受けた高機能発達障害児の小学校入学後の適応 —就学支援の成果の検証—	よこはま港南地域療育センター 牛島 智子
PS5-9	授業中に反抗的な態度を取る ADHD 児に対する教師の関わり	鳥取大学 角南 なおみ
PS5-10	学齢期の ASD 児同士で雑談は楽しめるのか? —「ある・ある! タイム」の会話分析を通じて—	相模女子大学 日戸 由刈 東京学芸大学教職大学院 藤野 博 東京学芸大学大学院 武部 正明 青山学院大学 米田 英嗣

PS5-11	知的発達に遅れない学齢期の自閉スペクトラム症児における適応行動 —その2：幼児期から診断および支援を受けている小学生群の実態—	相模原市発達障害支援センター/東京学芸大学大学院	武部	正明
		相模女子大学	日戸	由刈
		東京学芸大学教職大学院	藤野	博
PS5-12	ASD 児における明示的・潜在的な誤信念理解の発達とその条件	東京学芸大学教職大学院	藤野	博
		東京学芸大学	松井	智子
		茨城大学	東條	吉邦
		武蔵野東教育センター	計野	浩一郎#
PS5-13	自閉スペクトラム症児における慰め行動の特徴	東京学芸大学大学院	寺田	祥子
		東京学芸大学教職大学院	藤野	博
		東京学芸大学国際教育センター	松井	智子
		茨城大学教育学部	東條	吉邦
	武蔵野東教育センター	計野	浩一郎#	
PS5-14	自閉スペクトラム症の児童における援助行動に関する研究	東京学芸大学大学院	小田	滋大
		東京学芸大学教職大学院	藤野	博
		東京学芸大学国際教育センター	松井	智子
		茨城大学教育学部	東條	吉邦
	武蔵野東教育センター	計野	浩一郎#	
PS5-15	ASD 児における道徳判断 —行為の意図および結果との関連—	東京学芸大学大学院	石川	友哉
		東京学芸大学教職大学院	藤野	博
		東京学芸大学国際教育センター	松井	智子
		茨城大学	東條	吉邦
	武蔵野東教育センター	計野	浩一郎#	
PS5-16	ASD 児における指示が不透明な文の理解と視点取得の関係	東京学芸大学大学院	山本	祐誠
		東京学芸大学教職大学院	藤野	博
		東京学芸大学国際教育センター	松井	智子
		東京電機大学理工学研究科	小林	春美
	京都大学大学院人間・環境学研究科	藤田	耕司#	
	茨城大学教育学部	東條	吉邦	
	武蔵野東教育センター	計野	浩一郎#	
PS5-17	自閉スペクトラム症児の音韻知覚特性(2)	東京学芸大学	松井	智子
		東京学芸大学	内田	真理子
		東京学芸大学教職大学院	藤野	博
		茨城大学	東條	吉邦
	武蔵野東教育センター	計野	浩一郎#	

PS5-18	自閉症スペクトラム障害児者の感情制御尺度作成の試み(1)	東北大学 松崎 泰 東北大学 川島 隆太#
PS5-19	重度知的障害を伴う自閉スペクトラム症児の喫食状況と偏食への対応の事例検討 —福祉型障害児入所施設と養護学校における比較を通して—	大阪樟蔭女子大学 上田 由香理 滋賀県立近江学園 富田 文代#
PS5-20	誤信念課題に誤答する自閉症児の前提確認質問への不思議な反応傾向 —定型発達児との比較を通して見えてきたこと—	岐阜大学 別府 哲 愛知みずほ短期大学 工藤 英美 元愛知県立大学 加藤 義信
PS5-21	自閉スペクトラム症児のこだわりを活かす支援の在り方 —支援者の情報収集とその着眼点・思考—	くらしき作陽大学 永井 祐也 大阪大学大学院 金澤 忠博
PS5-22	発達障害傾向を持つ大学生の時間的展望と人生満足度	東京富士大学 松田 美登子
PS5-23	大学教職員と学生における障害学生支援に関する認識 —自由記述の質的分析を基に—	九州大学 鈴木 大輔 九州大学 下中村 武# 九州大学 横田 晋務 九州大学 田中 真理
PS5-24	青年期・成人期前期の二分脊椎症者における障害の意味の変化に影響する心理社会的要因	神戸学院大学 藤田 裕一
PS5-25	ASD 青年はいかにして TRPG のゲームマスターになったか？ —1 事例の質的検討—	東京学芸大学 加藤 浩平 東京学芸大学教職大学院 藤野 博
PS5-26	大学生における自閉スペクトラム症への態度 —社会的望ましさと関連から—	九州大学 横田 晋務 九州大学 田中 真理
PS5-27	発達性ディスレキシア児の認知特性を活用した学習支援 —視覚記憶の強さを活用した学習支援—	都留文科大学 中川 佳子

PS5-28	発達障害についての記述方法が読み手の感想に及ぼす影響 —保護者による読後の感想のテキストマイニング—	追手門学院大学 長岡 千賀
PS5-29	ライフステージを見通した支援に関する一考察 —発達障害の要支援度評価尺度 (MSPA : Multi-dimensional Scale for PDD and ADHD) の特性に着目して—	子どもの発達・学習支援研究所 小川 詩乃 京都大学学生総合支援センター障害学生支援ルーム 畷田 裕子# 京都大学大学院人間・環境学研究科 船曳 康子#
PS5-30	ASD 児養育者が就学先の決定に向けて前向きな感情を獲得する過程 —周囲のサポートに着目して—	北海道大学大学院 熊谷 さくら
PS5-31	自閉スペクトラム者における他者の発言の真偽への評価	白鷗大学 浅田 晃佑 東京大学 明地 洋典 同志社大学 板倉 昭二 追手門学院大学 大神田 麻子 京都大学 森口 佑介 武蔵野東教育センター 計野 浩一郎# 茨城大学 東條 吉邦 東京大学 長谷川 寿一#
PS5-32	包括的発達支援プログラムの開発と実践 (8) —「カルピス」カフェごっこにおける役割理解と協同活動の発達支援—	実践女子大学 浦本 愛 実践女子大学 伊藤 和佳 筑波大学大学院人間総合科学研究科 兵藤 瑞穂 山梨大学 吉井 勘人 実践女子大学生活科学部 長崎 勤
PS5-33	包括的発達支援プログラムの開発と実践 (9) —「おおかみと3匹の子やぎ」の劇遊びによるダウン症児の物語理解・役割理解・心の理解—	実践女子大学 伊藤 和佳 実践女子大学 浦本 愛 筑波大学大学院人間総合科学研究科 兵藤 瑞穂 山梨大学 吉井 勘人 実践女子大学生活科学部 長崎 勤
PS5-34	多重感覚環境下での強度行動障害のある人との社会的相互作用	鳴門教育大学 高橋 眞琴 鳴門教育大学 高橋 真一郎# 鳴門教育大学 田中 淳一#
PS5-35	脳性麻痺者の日常生活の VOCA によるコミュニケーション円滑化と対人関係改善	NPO 法人ゆず・みかん 鈴川 朝子 和光大学 常田 秀子

-
- PS5-36 親子支援グループに参加した母親の意識変容プロセス
—「遊びの場」からの継続的な支援のあり方に関する検討—
- 白百合女子大学 柳井 康子
世田谷区玉川総合支所保健福祉センター 高橋 千草 #
世田谷区玉川総合支所保健福祉センター 田口 美恵子 #
世田谷区玉川総合支所保健福祉センター 田中 瑞穂 #
世田谷区玉川総合支所保健福祉センター 成田 花奈 #
世田谷区玉川総合支所保健福祉センター 藤川 真梨 #
-
- PS5-37 ASD 児に対する母親の内的状態語の使用に関する縦断的研究
- 共立女子大学 権藤 桂子
東京学芸大学 松井 智子
-
- PS5-38 自閉スペクトラム症児の移動動詞表出時における特徴の分析
—会話時における二者の空間的位置関係とジェスチャーに着目して—
- 筑波大学 朝岡 寛史
筑波大学 野呂 文行 #
-
- PS5-39 自然な会話場面における自閉スペクトラム症児の視線行動
- 熊本保健科学大学 井崎 基博
-
- PS5-40 「障害受容」を再考する文献的検討
—主要論文の引用にみる障害受容の語られ方から—
- 杏林大学 櫻井 未央
-
- PS5-41 障害のある子どもの成育歴情報からみる発達理解
- 淑徳大学大学院総合福祉研究科 堀内 友貴
淑徳大学 池畑 美恵子
-
- PS5-42 聴覚障害幼児の指文字習得過程に関する研究
—文字習得過程との比較から—
- 筑波大学人間総合科学研究科 井口 亜希子
茨城大学教育学部 田原 敬 #
筑波大学人間系 原島 恒夫 #
-
- PS5-43 自閉症スペクトラム指数からみた話者の心情推測時の手がかり
- 十文字学園女子大学 伊藤 恵子
十文字学園女子大学 池田 まさみ #
東京電機大学 安田 哲也
埼玉医科大学総合医療センター 高田 栄子 #
-
- PS5-44 自閉症スペクトラム指数 (AQ) が高い成人ほど語用障害と意味障害に対する認容性が高い
- 金沢大学 大井 学
大阪大学大学院 水谷 柳子 #
-
- PS5-45 自閉スペクトラム症児の語り場面から言語的特性を把握する方法の予備的検討
—配列画の説明とストーリーの創作における発話の比較—
- 東京学芸大学大学院教育学研究科 佐藤 佳那
岡田こどもクリニック SUN-Sano 溝江 唯
東京学芸大学 大伴 潔

PS5-46 玩具の種類が自閉スペクトラム症幼児と母親の遊び場面における母親の言語的入力に与える影響について
—母親の動詞の語尾形態素に着目して—

東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 溝江 唯
東京学芸大学 大伴 潔

ポスターセッション 6 3月3日(火) 12:30~14:30

(在席責任時間 発表番号: 奇数 12:30~13:20; 偶数 13:30~14:20)

PS6-1	絵本から喚起された感情について —罪悪感, 恥および道徳心に着目して—	宇都宮大学 石川 隆行 高根大学 佐藤 鮎美
PS6-2	絵本における登場人物および読み手の感情喚起の関連 —読み手の没入状態に着目して—	高根大学 佐藤 鮎美 宇都宮大学 石川 隆行
PS6-3	エピソード記述からみた子どもの感情への気づきと共感的対応 —保育実習後の課題より—	名古屋経済大学 多川 則子 名古屋経済大学 関谷 みのぶ# 名古屋経済大学 堀 美鈴#
PS6-4	幼児の感情の言語的理解に関する研究 1 —幼児の自発的絵本読み行動と感情理解に関する予備調査—	宮城教育大学 飯島 典子
PS6-5	18ヶ月児の母子絵本読み場面における母親の働きかけ行動 —言語発達観との関連について—	京都府キンダーカウンセラー他 平井 純子 大阪総合保育大学 小椋 たみ子 大阪総合保育大学 増田 珠巳#
PS6-6	日米の幼児における発話からの感情理解の発達	東京大学大学院 池田 慎之介 University of Florida 須藤 美織子# 東京学芸大学 松井 智子 東京大学 針生 悦子
PS6-7	バイリンガル児における発話からの感情判断 —3歳~6歳の日中バイリンガル児での検討—	東京大学大学院 劉 敏俐 東京大学大学院 針生 悦子
PS6-8	対象物への選好注視 —TD者とASD者の比較—	金沢大学 須田 桃香 金沢大学人間科学系 小島 治幸# 金沢大学子どものこころの発達研究センター 菊知 充# 金沢大学子どものこころの発達研究センター 吉村 優子# 金沢大学子どものこころの発達研究センター 長谷川 千秋# 金沢大学子どものこころの発達研究センター 田中 早苗

PS6-9	遅延提示された自己映像に対する2歳児の随伴性探索	大阪大学人間科学部 大阪大学大学院人間科学研究科 大阪大学大学院人間科学研究科	上條 淳夏 上野 将敬 金澤 忠博
PS6-10	4～6歳児における物語の再話の発達 —ナラティブ発達評価指標作成に向けての基礎研究—	帝京平成大学 白百合女子大学	瀬戸 淳子 秦野 悦子
PS6-11	事物語、動作語の獲得における母親の育児語形、成人語形の言語入力の効果	大阪総合保育大学 大阪総合保育大学	小椋 たみ子 浜辺 直子# 増田 珠巳#
PS6-12	幼児期における「わからないと言わない」発達の変化 —クローズド質問とオープン質問の比較—	富山大学	近藤 龍彰
PS6-13	幼児におけるSVO構文の理解と再生についての事例検討	白百合女子大学	豊村 かなみ
PS6-14	乳児院入所児童の言語発達とその関連要因の検討	日本女子大学 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 大阪府立大学	麦谷 綾子 小林 哲生# 伊藤 嘉余子#
PS6-15	幼児にとって数えることと数が分かること —サビタイジングの境界を越える数の認識—	花園大学	山口 真希
PS6-16	ピア・レスポンスにおける逸脱からの復帰に用いられる発話・行為の分析 —日本語学習者を対象として—	国際教養大学	石毛 順子
PS6-17	幼児期の発話と身振りの理解に及ぼす指示語発話の効果 —話者に対する聞き手の視覚的注意に着目した検討—	松山東雲女子大学 慶応義塾大学	三宅 英典 関根 和生#
PS6-18	共同注意を育む関わり形成について —自閉スペクトラム障害を持つ子どもとの関係作りを通して—	ことばと心・コミュニケーションの支援室 ほかほか	吉川 治
PS6-19	共同注意の「入れ子構造」への発展について —日本語と英語はどこで分岐したのか?—	福井大学	熊谷 高幸

PS6-20	床の硬さ／柔らかさは幼児の遊びをどのように変えるか	常磐短期大学 村上 八千世
PS6-21	子どもの浮き沈み判断と材質の理解の関係 —重さを確かめない場合の浮き沈み判断—	早稲田大学 阪脇 孝子
PS6-22	他者の間違いから知識を推測する能力の発達 —幼児の教示行為における基盤—	千葉大学大学院 赤沼 百合 千葉大学 中道 圭人
PS6-23	他者との関係性が幼児の他者の心的状態理解に及ぼす影響	静岡大学 古見 文一
PS6-24	幼児の食物選択に及ぼす食物の外見と他者の味覚評価の影響	日本女子体育大学 中道 直子
PS6-25	回想機能が嗜好品摂取の心理学的効果に及ぼす影響 —青年期から高齢期を対象とした発達的特徴の検討—	川崎医療福祉大学 瀧川 真也 立命館大学 横光 健吾 #
PS6-26	記憶モニタリング能力の横断的研究 —グローバルモニタリングとローカルモニタリングの観点から—	明治学院大学 金城 光 神戸学院大学 清水 寛之
PS6-27	幼児の満足遅延は集団の行動に左右される —集団内の成員との個人的繋がりに着目して—	東京大学 柳岡 開地 カリフォルニア大学デービス校 Yuko Munakata # ジョージメイソン大学 Sabine Doebel # コロラド大学ボルダー校心理・神経学部 Ryan Guild # コロラド大学ボルダー校行動科学研究所 Laura Michaelson # 京都大学 齊藤 智 #
PS6-28	4歳児における音韻意識の発達と言語環境との関連 東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科	篠沢 薫 千葉大学 松崎 洋子 東京学芸大学 林 安紀子
PS6-29	幼児期前期のつくり歌の頻度と家庭の音楽環境との関連 —養育者への質問紙調査の重回帰分析結果から—	名古屋市立大学大学院 平田 嘉之
PS6-30	シミュレーションを使用した素朴概念の顕在性の検討	西日本工業大学 山縣 宏美

PS6-31	仮説演繹的推論の難しさはどこにあるのか(2)	早稲田大学 中垣 啓 早稲田大学 伊藤 朋子
PS6-32	曖昧な指示対象の解釈時における前頭葉領域賦活の検討	九州女子大学 村上 太郎 京都大学 森口 佑介
PS6-33	新奇物に対する幼児のラベルの分析 —新奇物の妥当性の検討—	名古屋柳城短期大学 片山 伸子 立命館大学 小川 徳子#
PS6-34	幼児における外部情報のソースモニタリングとワーキングメモリのバインディングとの関連	広島大学大学院 小澤 郁美 広島大学 湯澤 正通
PS6-35	先行学習がワーキングメモリの小さい生徒の授業態度に及ぼす影響	聖カタリナ大学 水口 啓吾 広島大学大学院教育学研究科 湯澤 正通
PS6-36	小学生の読み課題に用いる方略の発達の検討	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 佐藤 綾香 神戸大学大学院 鳥居 深雪
PS6-37	視覚記憶等に脆弱性を有する児童への読み書き支援 —視覚認知支援による漢字書字支援を中心に—	女子栄養大学 田中 みどり 都留文科大学 中川 佳子
PS6-38	注意機能の個人差が講義の理解におけるノートテイクの有効性に及ぼす影響	京都教育大学 田爪 宏二
PS6-39	Test of Preschool Early Literacy (TOPEL) におけるプリント知識検査(1) —検査の概要—	京都ノートルダム女子大学 山形 恭子 京都女子大学 古池 若葉
PS6-40	Test of Preschool Early Literacy (TOPEL) におけるプリント知識検査(2) —検査方法—	京都女子大学 古池 若葉 京都ノートルダム女子大学 山形 恭子
PS6-41	中学生とその母親間における時間的展望の関連	東北大学大学院教育学研究科 宇野 あかり 東北大学大学院教育学研究科 米田 佑#

PS6-42	大学生の死生観と宗教性および不思議現象信奉との関連(1) —宗教に対する意識と不思議現象に対する態度および行動との関連—	明星大学 布施 光代
PS6-43	青年群における医療職への説明・自己決定・支援希望度の検討	金城大学 奥田 裕紀
PS6-44	努力を伴う成功経験の自伝的記憶とアイデンティティの関係性	大阪産業大学 山本 晃輔
PS6-45	青年期における安心感を与える物	島根大学 村瀬 俊樹 島根大学 西川 裕美#

ポスターセッション 7 3月3日(火) 15:00~17:00

(在席責任時間 発表番号: 奇数 15:00~15:50: 偶数 16:00~16:50)

PS7-1	幼児の問題行動・社会性と母親のスキンシップ —シングル・マザーと二人親家庭の母親との比較—	関西学院大学 桂田 恵美子 関西学院大学文学研究科 植田 瑞穂
PS7-2	園の仲間遊びにおける感情言及 —4歳クラス期の男児間・女児間の感情言及文脈の違い—	千葉大学 岩田 美保
PS7-3	保育場面における幼児の情動調整プロセスの発達 —4歳児クラスにおける観察と分析—	白百合女子大学 大島 真里子 白百合女子大学 秦野 悦子
PS7-4	幼児のネガティブ情動に対する調整方略の発達 —行動的、認知的情動調整方略と誤信念理解の関連の検討—	広島修道大学 鈴木 亜由美
PS7-5	就学前後の子どもにおける他者感情理解(2) —感情選択理由についての回答分類から—	白梅学園大学 江上 園子
PS7-6	幼児期の情動発達と行動特徴との関連に関する研究 5 —情動発達と ADHD 傾向および ASD 傾向との関連—	石巻専修大学 平川 久美子 東北大学 本郷 一夫 東北学院大学 高橋 千枝 宮城教育大学 飯島 典子
PS7-7	幼児期の情動発達と行動特徴との関連に関する研究 6 —共感に影響を及ぼす要因の検討—	東北大学 本郷 一夫 石巻専修大学 平川 久美子 東北学院大学 高橋 千枝 宮城教育大学 飯島 典子
PS7-8	生徒の感情特性と感情知性の相互関係の検討 —中高生を対象とした縦断データを用いた検討—	東京大学 利根川 明子 宇都宮大学 久保田(河本) 愛子 徳山大学 小松 佐穂子# 品川女子学院 漆 紫穂子# 東京大学 遠藤 利彦

PS7-9	年少児における遊び内容の共有度と感情理解能力の関係	同志社大学大学院 鈴木 慎也 同志社大学 内山 伊知郎
PS7-10	不快情動に対する態度の多次元構造 —学校から職業社会への移行場面、子育て場面における不快情動調整方略からの検討—	駿河台大学 杉本 英晴
PS7-11	自我体験の経験が情動調整方略に及ぼす影響 —小学校高学年・中学1年生を対象とした交差遅延効果モデルを用いた検討—	名古屋市立大学 天谷 祐子
PS7-12	養育における親の感情制御が子どもの感情制御に及ぼす影響	白百合女子大学大学院 原山 郁花
PS7-13	夫婦内での虐待自己評価不安のズレの背景の検討	株式会社イデアラボ 見玉(渡邊) 茉奈美
PS7-14	母親のフェミニズム・スケールが育児ストレスに与える影響	聖ヶ丘教育福祉専門学校 密城 吉夫
PS7-15	離婚後の母親は面会交流をどのように受け止めているのか —クラスター分析を用いた類型化の試み—	筑波大学大学院 直原 康光 筑波大学 安藤 智子
PS7-16	養育者の心理的背景と子どもの泣きとの関連 —エコチル調査の精神神経発達検査場面での様子から—	福島県立医科大学 尾形 優香 福島県立医科大学 松本 貴智 # 福島県立医科大学 鈴木 雄一 # 福島県立医科大学 橋本 浩一 #
PS7-17	乳児の泣きに対する父親の認知過程の特徴 —夫婦の情報共有との関連性に着目して—	広島修道大学 小山 里織 愛知江南短期大学 森山 雅子 静岡県立大学 小林 佐知子 岡崎女子大学 小原 倫子
PS7-18	ロールプレイを用いた親子関係支援プログラムの効果 —身体的気づきは子育てに変容をもたらすか—	神奈川大学 麻生 典子
PS7-19	ペアレント・トレーニングにおけるスキルの有効性の検討 —「無視」を効果的に使用してもらうために—	昭和女子大学 百瀬 良 NPO 昭和子育てステーション 世田谷発達相談室 佐藤 昌子 # NPO 昭和子育てステーション 世田谷発達相談室 樋口 寿美 昭和女子大学 松永 しのぶ

PS7-20	ペアレント・トレーニング体験版を用いた市町村の多機関・多職種連携	和洋女子大学 丸谷 充子 小平市子ども家庭支援センター 依田 幸子#
PS7-21	地域で行うペアレント・トレーニングにおける保護者の変化 —自閉症スペクトラムの診断を受けて間がない子どもの母親の事例を通して—	兵庫県立姫路しらすぎ特別支援学校 竹中 正彦
PS7-22	幼児期における時間的拡張自己の発達(3) —赤ちゃんの頃に戻りたい？早くおとなになりたい？—	青山学院大学 坂上 裕子 白梅学園大学 佐久間 路子
PS7-23	幼児期における時間的拡張自己の発達(4) —園行事で頑張ったことともしっかりしたかったこと—	白梅学園大学 佐久間 路子 青山学院大学教育人間科学部 坂上 裕子
PS7-24	ボスのふるまう子どもと周りの子どもとの関係変化 —支配的な関係から対等な関係へと変化した要因をさぐる—	京都府立大学 服部 敬子
PS7-25	幼児期における向社会的行動の調整プロセス —他者の反応に着目した質的検討—	東京大学大学院 廣戸 健悟
PS7-26	5、6歳児における嘘泣きの対人的機能の認識 —日英比較文化研究—	名古屋大学 溝川 藍
PS7-27	幼児が誤情報に従う傾向への社会的評価を考慮することの影響	同志社大学 残華 雅子 同志社大学 青山 謙二郎
PS7-28	ごっこ遊びの意図の共有の有無と叩く「ふり行為」への道徳的判断	岡山県立大学 樟本 千里 埼玉大学 首藤 敏元 仙台北百合女子大学 上岡 紀美 東北福祉大学 利根川 智子
PS7-29	小学生・中学生の友人関係といじめ傍観行動をめぐる『現実』(1) —「やさしい」友人関係は低年齢層へ広がっているか？—	山梨大学 若本 純子 広島修道大学 西野 泰代
PS7-30	小学生・中学生の友人関係といじめ傍観行動をめぐる『現実』(2) —友人に対する同調の低減と共感の向上はいじめ抑止につながるか？—	広島修道大学 西野 泰代 山梨大学 若本 純子

PS7-31	小学生におけるいじめ被害およびその結果に対するアタッチメントの影響	高知工科大学 村上 達也
PS7-32	ふざけ・からかい行動の発達の意義に関する研究(2) —3歳期のふざけ・からかい行動に見られる他者理解と自己理解—	愛媛大学 小野 啓子 愛媛大学 古谷 那瑠美# 愛媛大学 高橋 明里# 愛媛大学 渡部 公香# 関西国際大学 花熊 暁
PS7-33	学童期前半の対人場面での自己制御行動 —その安定性・変容性の検討と情動反応性・情動制御性の気質的個人差との関連—	中京大学 水野 里恵
PS7-34	6-12歳にかけての移動自由性の発達と関連要因	中京大学 小島 康生
PS7-35	高学年児童の異年齢交流が自尊感情に及ぼす影響 —放課後の過ごし方に着目して—	筑波大学大学院 池田 利基
PS7-36	クラスメイトとの関係に対する動機づけの発達の变化	早稲田大学大学院 山本 琢俣 早稲田大学 上淵 寿
PS7-37	小学生の道徳感情帰属と向社会的行動の関係(1)	宮城教育大学 越中 康治 横浜市立大学 長谷川 真里
PS7-38	小学生の道徳感情帰属と向社会的行動の関係(2)	横浜市立大学 長谷川 真里 宮城教育大学 越中 康治
PS7-39	第二反抗経験と母親の養育態度との関連	太成学院大学 小高 恵
PS7-40	社会問題を扱う授業は可搬性のある学習成果をもたらすか？ —科学技術の社会問題を取り上げた小学生向け教育プログラム評価の事例—	神戸大学 坂本 美紀 神戸大学 山口 悦司# 神戸大学 都倉 さゆり# 神戸大学附属小学校 俣野 源晃# 兵庫教育大学 山本 智一#
PS7-41	大学生の欠席・遅刻行動に関する要因 —学習意欲と自己制御の二軸に着目して—	神戸大学大学院 井上 真理子

PS7-42	就職活動を行う学生の社会的信頼	法政大学 田澤 実 法政大学 梅崎 修#
PS7-43	看護学生の共感性と高齢者への印象との関係性	藍野大学短期大学部 藤岡 智子 武庫川女子大学 河合 優年
PS7-44	社会性に対する教員養成系大学の学生の認識	愛知教育大学 小嶋 佳子
PS7-45	子どもの感情調整に関する保育士の対処方略が保育者効力感に及ぼす影響 —関東と関西の保育士調査から—	川口短期大学 加藤 邦子 帝京大学 近藤 清美

ポスターセッション 83月4日(水) 9:30~11:30

(在席責任時間 発表番号: 奇数 9:30~10:20; 偶数 10:30~11:20)

PS8-1	保育における科学の実践に関する保育者の意識 —保育経験年数別にとらえた相違から—	金沢大学 滝口 圭子
PS8-2	保育者が実感する遊びの成立に関する研究(1) —A 保育園の築山遊びから—	桜花学園大学 勝浦 眞仁 名古屋学芸大学 藤井 真樹 名古屋市立大学 上田 敏丈
PS8-3	保育者が実感する遊びの成立に関する研究(2) —A 保育園の築山遊びから—	名古屋学芸大学 藤井 真樹 桜花学園大学 勝浦 眞仁 名古屋市立大学 上田 敏丈
PS8-4	幼稚園教諭の保育技術アセスメント: A Search for The Best Practice	慶應義塾大学 角和 麻衣子 慶應義塾大学 山本 淳一
PS8-5	保育者効力感の形成プロセス —SRA と TEM による混合研究法の試み—	宮城教育大学 香曾我部 琢
PS8-6	保育者は障がいと多文化にどう向き合うか —困難を抱える外国籍の子どもがいる3歳児クラスに焦点をあてて—	帝京大学 芦澤 清音
PS8-7	保育士と幼児の関係性が社会性の発達に及ぼす影響 —縦断的検討—	広島大学 清水 寿代 広島国際大学 清水 健司
PS8-8	保育士の仕事と親の子育ては何が違うのか —保育士として働く母親の語りから—	上智大学大学院 厚澤 祐太郎 上智大学 齋藤 慈子
PS8-9	子どもの特性に応じた保育者の子ども理解と援助	福山市立大学 上山 瑠津子 広島大学大学院教育学研究科 杉村 伸一郎
PS8-10	保育者の充実感に関する語り —計量テキスト分析を用いて—	中京学院大学 信太 寿理

PS8-11	そのらしさを保育者はどう語り、どう意味づけるのか —受け手から捉える「らしさ」の内容とその発達的变化についての検討—	愛知淑徳大学 小野 美和
PS8-12	保育所0歳児クラスにおける保育者と0歳児のやりとりの実態 —保育者と0歳児の視線を伴うやりとりに着目して—	大妻女子大学 星野 優芽
PS8-13	放課後等デイサービスの送迎を徒歩で行う実践の分析 —一人の子どもの支援を通して支援者が捉えた意義—	清和大学短期大学部 徳永 聖子 国立精神・神経医療研究センター 田中 元基
PS8-14	放課後等デイサービスの送迎を徒歩で行う実践の分析 —一人の子どもの下校路に対する語りから捉えた意義—	国立精神・神経医療研究センター 田中 元基 清和大学短期大学部 徳永 聖子
PS8-15	保育・教育系学生における「いのちの教育」への意識と人格発達 —死への意識水準、学年差と死別経験から—	金城学院大学 増田 公男
PS8-16	実習における保護者支援に関する学生の学びと課題	和泉短期大学 平沼 晶子
PS8-17	グラフィック・ファシリテーションを用いた園内研修の効果2 —園内への広がり過程—	静岡県立大学 副島 里美
PS8-18	探求的学習に基づく「保育相談支援」の授業開発と実践の評価	中村学園大学 笠原 正洋
PS8-19	保育における「協同的な学び」の背景要因及び保育の豊かさとの関連	目白大学 荒牧 美佐子 玉川大学 大豆生田 啓友# 秋草学園短期大学 松永 静子# 白梅学園大学 無藤 隆
PS8-20	『保護者支援』実践時の保育者の意図 —自由記述からの分析—	埼玉大学 寺菌 さおり 埼玉大学 吉川 はる奈
PS8-21	保育者の子どもたちに対する擬音語を用いた言葉かけ	大阪芸術大学短期大学部 作野 友美
PS8-22	保育者の服装は保育にどのように関係しているだろうか	常葉大学短期大学部 大村 壮

PS8-23	保育巡回相談をどのように支援に繋げるか(1) —巡回相談事後アンケートの分析結果より—	川崎市子ども未来局 伊藤 麻美 白百合女子大学 秦野 悦子 帝京平成大学 瀬戸 淳子 帝京平成大学 野村 直子 川崎市子ども未来局 伊藤 美咲
PS8-24	保育巡回相談をどのように支援に繋げるか(2) —巡回相談事後アンケートの質的分析—	川崎市子ども未来局 伊藤 美咲 白百合女子大学 秦野 悦子 帝京平成大学 瀬戸 淳子 帝京平成大学 野村 直子 川崎市子ども未来局 伊藤 麻美
PS8-25	保育巡回相談におけるカンファレンスの支援機能 —巡回相談後の多職種連携への展開について—	埼玉大学 吉川 はる奈 埼玉大学 寺菌 さおり
PS8-26	地域の子育て支援事業に関する母親の利用目的と満足度の関連	四国大学 永井 知子
PS8-27	ひとり親世帯への支援に関する情報提供の在り方を考える —子育て支援ガイドブックの内容分析をもとに—	茨城キリスト教大学 江尻 桂子 日立市立おおもり保育園 阿部 まどか#
PS8-28	子育て支援における利用者支援専門員の思考過程の検討 —関連他業種との比較から探る—	NPO 法人わははネット 常田 美穂
PS8-29	夫婦が育児家事分担の葛藤に向き合う過程	茨城大学 大島 聖美 広島国際大学 鈴木 佳奈# 広島国際大学 西村 太志
PS8-30	歩行開始期の子をもつ母親の連絡帳内容に関する研究 —子どもの自己主張場面に着目して—	首都大学東京 須永 真理
PS8-31	乳幼児を子育て中の夫婦の育児関与に関する研究(3) —就学前の子どもをもつ父親の生活スタイルと育児関与の関連—	四国大学 下坂 剛

PS8-32	子育て場面において母親が感じる育てにくさに関する状況分類 —母親のイライラ感に着目して—	群馬医療福祉大学 白百合女子大学	中川 陽子 宮本 信也#
PS8-33	親の習い事経験が幼児の習い事に与える影響の検討	玉川大学	油川 さゆり
PS8-34	母親の愛着スタイル類型別にみる育児肯定感の規定要因 —子の特性認知と育児省察、育児情緒サポート認知に着目して—	梅花女子大学大学院 梅花女子大学	藤原 直子 森本 美奈子
PS8-35	日本の母親の対乳児へのかかわりの変化とその特性 —2017-18年と1994-95年に生まれた乳児とその母親の行動比較を通して—	神戸松蔭女子学院大学	寺見 陽子
PS8-36	幼児に対する養育者のほめへの態度とほめ行動の特徴	熊本大学	高崎 文子
PS8-37	子どもの援助行動と集中行動に対する認知とほめ行動 —脳活動の測定を指標として—	桜花学園大学	堀(斉藤) 由里
PS8-38	思春期の問題行動が父親の養育態度に与える影響 —母親による夫婦ペアレンティング調整行動を媒介として—	東北大学大学院教育学研究科 東北大学大学院教育学研究科	加藤 道代 神谷 哲司
PS8-39	20歳時点での親子の子ども観と親観 —長期縦断研究から見る親子の発達(3)—	立正大学 山梨大学 青山学院女子短期大学 湘北短期大学	岡本 依子 東海林 麗香 菅野 幸恵 亀井 美弥子
PS8-40	東日本大震災を経験した人のライフデザインに関する研究(その6) —「区域外避難」している人への聴きとり調査から—	龍谷大学 立命館大学大学院	荒木 美知子 荒木 穂積
PS8-41	東日本大震災後に生まれた子どもの発達の研究 —研究の概要—	放送大学 福島大学 東北学院大学	氏家 達夫 高谷 理恵子 高橋 千枝

PS8-42 福島第一原子力発電所事故後 6 年時点における母親の放射線不安についての探索的検討

埼玉学園大学 佐々木 美恵
いちかわクリニック 市川 陽子#
福島県立医科大学 石井 佳世子#
福島県立医科大学 後藤 あや#
筑波大学 安藤 智子

PS8-43 喫煙行動の望ましさと配慮度評価の関連：成人を対象に

神戸大学大学院 谷 芳恵

PS8-44 集団優位性認知の初期発達
—赤ちゃんはシンクロする集団を優位と判断するか—

同志社大学 孟 憲巍
同志社大学 加藤 正晴#
同志社大学 板倉 昭二

PS8-45 親子は未分化から分化へと発達していくのだろうか？
—爪を切られる乳幼児と爪を切る親の視点から—

茨城大学 松本 光太郎

ポスターセッション 9 3月4日(水) 12:30~14:30

(在席責任時間 発表番号: 奇数 12:30~13:20 / 偶数 13:30~14:20)

PS9-1	会話期のASD児へのインリアル・アプローチ —場面に合った言語表現の獲得を促す取り組み—	大阪大学大学院 河内 清美
PS9-2	ASD児は全体よりも部分に注目しやすいか? —図形の同異判断課題による実験的検討—	東京学芸大学教職大学院/東京都三鷹市立南浦小学校 須藤 史晴 東京学芸大学教職大学院 藤野 博 東京学芸大学国際教育センター 松井 智子 茨城大学 東條 吉邦 武蔵野東教育センター 計野 浩一郎#
PS9-3	ASDのある少年と周囲の人との関係 —「連絡帳」の記述分析を通して—	ノートルダム清心女子大学 青山 新吾 香川県立高松養護学校 増田 純礼#
PS9-4	仲間との相互作用の促進による幼児の造形表現の援助	國學院大學 渡邊 雅俊
PS9-5	幼児・児童の向社会的判断の発達 —直接互惠性と間接互惠性に着目して—	鹿児島大学 島 義弘
PS9-6	園児のニーズに合わない向社会的行動の受容と理由付け —子どもの行動尺度(CBS), 役割取得, ニーズに合わない向社会的行動受容場面インタビューの関連—	東京大学 西田 季里
PS9-7	支援を必要とする子どもとわかり合おうとする関係構築プロセス —関係構築に影響を及ぼす背景要因に着目して—	桜花学園大学 上村 晶
PS9-8	多文化コミュニケーションにおける他者理解のための支援 —多文化理解の支援と児童のコミュニケーション過程の検討—	帝京大学 中田 栄
PS9-9	伝統・文化教育における学習者のアイデンティティ	沖縄県立芸術大学 城間 祥子
PS9-10	森のようちえんに通う一女兒の三年間の行動観察 —自発的行動の生物学的・発達の意義—	龍谷大学 金子 龍太郎
PS9-11	幼児の小学校に対する期待・不安・認識を幼保小の教員はどのように認識しているか	大分大学 麻生 良太

PS9-12	児童生徒の SOS の出し方に関する教育の実施者による質的評価の検討	自殺総合対策推進センター 自殺総合対策推進センター 足立区こころとからだの健康づくり課 足立区こころとからだの健康づくり課 自殺総合対策推進センター	吉野 田中 馬場 関口 本橋	さやか 元基 優子 # 久恵 # 豊 #
PS9-13	学校適応感における内的な側面と外的な側面からの検討 —中学校新入生を対象とした予備調査より—		北陸学院大学	南 雅則
PS9-14	特別支援教育に関する現状について(5) —保育者の年代別に見た「個別の指導計画」の作成面と活用面の課題—		四天王寺大学	八木 成和
PS9-15	特別支援児童とインクルーシブな集団の育ちをいかに支援するか —学童保育における非常勤職員向けの研修から—	認定こども園相模女子大学幼稚部 和洋女子大学 神奈川大学 埼玉大学 和光大学 子育てステーション世田谷発達相談室 明星大学 発達障害者就労サポート協会 NPO 法人正讃会相談支援かみひこうき	和田 田口 古屋 吉川 常田 樋口 西本 隠村 上村	美奈子 久美子 喜美代 はる奈 秀子 寿美 絹子 美子 誠也
PS9-16	特別支援教育における対象の拡大に関する研究(4) —学生と養護教諭別の特別支援教育の対象について—		帝京科学大学 池坊短期大学 鹿児島大学	石橋 裕子 林 幸範 今林 俊一
PS9-17	気になる児童・生徒に対する教師の評価と生徒指導効力感(3) —小学校・中学校教師への調査から—		東京大学教育学部附属中等教育学校	石橋 太加志
PS9-18	へき地小規模高校の管理職が捉える勤務校の特性	北海道文教大学 北海道留辺蘂高等学校 北海道拓北養護学校 北海道教育大学大学院	川端 池田 山本 植木	愛子 哲也 # 慎也 # 克美
PS9-19	小学校実習指導教員の指導と学びの関係に関する探索的研究 —指導教員・実習生・子ども三者の関係に着目して—		福島大学 岡山大学 新潟大学	坂本 篤史 三島 知剛 # 一柳 智紀

PS9-20	小学校の学級の雰囲気の高低別にみる教師の関わり方と学校享受感の関係	静岡大学 金子 泰之
PS9-21	教師・学校組織にとっての異動の意味 —中堅教師のナラティブからの検討—	山梨大学 東海林 麗香
PS9-22	スーパーグローバルハイスクール (SGH) 実践の効果検証 —2 時点の縦断データの分析から—	筑波大学 堀口 康太 筑波大学 飯田 順子 # 埼玉学園大学 藤原 健志 筑波大学 大川 一郎 #
PS9-23	プログラミング教育に対する小学生保護者の期待 —父親と母親の差の検討—	京都大学 楠見 孝 京都大学 西川 一二 # 大阪大学 齊藤 貴浩 # 東京工業大学 栗山 直子 #
PS9-24	ブリーフ SSE プログラム原案の検討 —教師が実施しやすいソーシャルスキル教育の開発に向けて—	九州産業大学 伊藤 弥生 九州産業大学 山口 祐子 # 九州産業大学 久木山 健一
PS9-25	小学校、中学校、高等学校での心理教育受講の効果について —ポジティブ・ネガティブ両方の視点からの検討—	九州産業大学 久木山 健一
PS9-26	高校生を対象とした暴力防止プログラムの長期的効果	四天王寺大学 上野 淳子 福山大学 赤澤 淳子 同志社大学 松並 知子 徳島大学 井ノ崎 敦子 愛知学院大学 下村 淳子 # 東淀川高等学校 北山 裕子 # 東淀川高等学校 南畑 好美 #
PS9-27	大学生のレジリエンスに対する演劇ワークショップの効果 —参加者のリスクテイキング行動と性格特性に基づく検討—	豊橋創造大学 加藤 知佳子
PS9-28	大学生のメンタルヘルスに対するヨーガの有効性 —メンタルヘルストレーニングとしてのヨーガの可能性—	東洋大学大学院 加藤 祥子 東洋大学 青木 滉一郎 # 東洋大学 喜岡 恵子 # 東洋大学 加藤 千恵子 # 東洋大学大学院／埼玉県立大学 金 さやか #

PS9-29	新入生向けプログラム参加前後での環境への適応	東京家政学院大学	木村	文香
PS9-30	大学生のピア・サポート活動への参加理由と活動意義や魅力との関係	四天王寺大学	丹羽	智美
		四天王寺大学	上野	淳子
		四天王寺大学	四方	俊祐#
		四天王寺大学	伊達	由実#
PS9-31	現代の子どもの遊び環境と内容について(1) —手描き地図を用いた先行研究との比較と通して—	大阪成蹊大学	清水(加藤)	真由子
		兵庫教育大学	藤崎	亜由子
		大阪成蹊大学	西郷	幸来#
		大阪成蹊大学	菅野	あゆみ#
		大阪成蹊大学	松田	千幸#
PS9-32	現代の子どもの遊び環境と内容について(2) —児童期の遊びと自尊心および社会的スキルの関係—	兵庫教育大学	藤崎	亜由子
		大阪成蹊大学	清水(加藤)	真由子
		大阪成蹊大学	西郷	幸来#
		大阪成蹊大学	菅野	あゆみ#
		大阪成蹊大学	松田	千幸#
PS9-33	ごっこ遊びにおける〈現実—想像—情動〉の関係 —3歳児の事例から—	兵庫教育大学	石野	秀明
PS9-34	発達初期の対人葛藤と他者への関心 —ある20ヶ月児の自由遊びでの対人葛藤パターンから汲み取れること—	九州大学大学院人間環境学研究院	當眞	千賀子
		九州大学大学院人間環境学府	日尾野	愛
PS9-35	新生児の『抱かれ時間』と母の『抱き時間』の基礎的研究 —母親の育児負担軽減をめざしたライフログ調査—	東京大学	園田	正世
		龍谷大学	金子	龍太郎
PS9-36	乳幼児期の音声コミュニケーションにおける歌い合い(4) —文化的実践への参入—	東京藝術大学	伊原	小百合
		早稲田大学	市川	恵
		同志社大学赤ちゃん学研究センター	志村	洋子
		聖心女子大学	今川	恭子

PS9-37	音楽聴取時における乳幼児の身体反応 —身体反応の特徴や頻度の個人差—	京都大学大学院 等々力 花歩 京都教育大学 平井 恭子#
PS9-38	音楽の分析的聴取が、幼児・児童のリーディングスキルに及ぼす影響(3) —小学校2年生を対象とした調査から—	東京家政学院大学 吉永 早苗 姫路大学 高橋 幸子 京都精華大学 小松 正史# 函館工業高等専門学校 下郡 啓夫# 岡山県立大学 澤田 陽一#
PS9-39	幼児初期の子どもの身体活動量と保育活動との関連	千葉大学 松崎 洋子
PS9-40	子ども時代における自己決定体験の生涯的影響性(1) —研究の枠組み—	明治学院大学 藤崎 真知代 帝京大学 杉本 真理子 立正大学 石井 富美子
PS9-41	子ども時代における自己決定体験の生涯的影響性(2) —生涯的縦断研究第2世代協力者へのインタビューから—	帝京大学 杉本 真理子 明治学院大学 藤崎 真知代 立正大学 石井 富美子
PS9-42	高度生殖補助医療を受けた女性の意思決定のプロセス —不妊治療中に病の可能性の宣告をうけ不妊治療を継続した不妊女性の語りから—	梅花女子大学 澤田 敏子
PS9-43	課題と空間構成による幼児・児童の遊びにおける主体性 —夏季三日間のこどもの遊びの実践活動を通して—	金沢学院短期大学 鈴木 賢男 金沢学院短期大学 白江 寿美# 金沢学院短期大学 高木 香代子# 金沢学院短期大学 棒田 美江# 金沢学院短期大学 吉田 若葉#
PS9-44	T式ひらがな音読支援の第3層支援対象児の認知機能の測定	大阪医科大学 赤尾 依子
PS9-45	書字が困難な小学生の支援実践的研究 —視覚認知能力に着目した検査とアセスメントの活用支援例—	一般社団法人家庭教育研究センター FACE 米田 奈緒子 一般社団法人家庭教育研究センター FACE 米田 春香# 東海大学 永戸 柚葉#

PS9-46 発達変化と環境変化が学校適応に及ぼす影響
—高校から大学への移行期並びに大学生期における縦断的検討—

関西学院大学文学部	成田 健一
関西学院大学文学部	米山 直樹 #
関西学院大学人間福祉学部	井出 浩 #
関西学院大学教育学部	和田 薫 #
関西学院大学経営戦略研究科	萩平 隆誠 #
関西学院大学心理学実践センター	中島 道子 #
関西学院大学学生支援相談室	丸山 智美 #
京都大学学生総合支援センター	大江 佐知子 #

PS9-47 思春期女子（10歳から12歳10ヶ月）の発達過程

東京未来大学こどもみらい園	岡村 佳子
東京未来大学こどもみらい園	桑山 未帆 #
東京未来大学こどもみらい園	深澤 守男 #
東京未来大学こどもみらい園	池田 準 #

人物索引

※数字は、発表番号を示します。

記号

KL 基調講演・展開講演

IL 招待講演

AS1～AS4 大会委員会企画シンポジウム

BS1～BS3 学会企画シンポジウム

CS1～CS3 他学会等共催シンポジウム・ワークショップ

SL1～SL2 学会賞（論文賞）受賞者小講演

DS1～DS6 関連団体企画シンポジウム

SS1～SS23 会員企画 自主シンポジウム

R1～RT52 大会委員会企画・会員企画 ラウンドテーブル

PS1-1～PS9-47 ポスターセッション

※太字の発表番号は、筆頭発表者を示します。

※氏名の後の#は、会員でない方を示します。

【A】

阿部 廣二 RT48
 阿部 まどか# PS8-27
 阿部 学# PS2-40
 油川 さゆり **PS8-33**
 足立 智昭 DS4, **RT13**
 相澤 雅文 DS4, DS5
 相澤 直樹 PS4-10
 赤松 利恵# PS1-5
 赤沼 百合 **PS6-22**
 赤尾 依子 **PS9-44**
 赤澤 淳子 RT40, PS9-26
 明地 淳典 PS5-31
 秋田 喜代美 PS1-1, PS1-2, PS1-3, PS1-4, PS3-9, PS3-10

天野 大樹#
 天谷 祐子 **PS7-11**
 安藤 明人 **AS4**
 安藤 朗子 PS2-21
 安藤 富士子 PS3-35, PS3-40
 安藤 史高 SS1
 安藤 寿康 SS6
 安藤 智子 **RT25**, PS7-15, PS8-42

青木 潤一# PS2-4, PS2-5
 青木 凜一郎# PS9-28
 青木 雄一 RT14
 青山 謙二郎 PS7-27
 青山 征彦# RT8
 青山 新吾 SS17, **RT7**, **PS9-3**

新井 素子 **PS2-10**
 荒木 穂積 PS8-40
 荒木 穂積 RT35
 荒木 美知子 **PS8-40**
 荒牧 美佐子 RT16, **PS8-19**
 有光 興記# **CS1**
 浅田 晃佑 **PS5-31**
 浅井 映美子# RT24
 浅川 達人# RT40
 麻生 武 DS1
 朝岡 寛史 **PS5-38**
 芦田 宏# PS3-9, PS3-10
 芦澤 清音 **PS8-6**
 麻生 良太 **PS9-11**
 麻生 典子 **PS7-18**
 厚澤 祐太郎 **PS8-8**
 東 敦子 DS5

【B】

馬場 優子# PS9-12
 伴 碧 **PS4-39**
 別府 悦子 **RT28**
 別府 哲 PS5-5, **PS5-20**
 榛田 美江# PS9-43

【C】

張 貞京 SS4
 地内 亜紀子 RT6, PS5-6

【D】

旦 直子 **PS3-45**
 伊達 由実# PS9-30
 出野 美那子 **PS4-44**
 Doebl Sabine# PS6-27
 堂山 亞希 SS3

【E】

江上 園子 **PS7-5**
 江口 香世 PS4-35
 江尻 桂子 **PS8-27**
 遠藤 利彦 AS3, PS1-1, PS1-2, PS1-3, PS1-4, PS7-8
 恵良 美津子 PS4-37, PS4-38
 越中 康治 RT44, **PS7-37**, PS7-38

【F】

Fink Elian# CS2
 湖上 真裕美# RT17
 藤井 真樹 PS8-2, **PS8-3**
 藤川 真梨# PS5-36
 藤本 哲弥# RT52
 藤野 博 **RT39**, PS1-43, PS2-32, PS5-10, PS5-11, **PS5-12**, PS5-13, PS5-14, PS5-15, PS5-16, PS5-17, PS5-25, PS9-2
 藤野 遼平# PS3-36
 藤沼 佑子# PS4-35
 藤岡 智子 **PS7-43**
 藤崎 亜由子 PS9-31, **PS9-32**
 藤崎 春代 **PS3-3**, PS3-4
 藤崎 真知代 **PS9-40**, PS9-41
 藤澤 文 **PS1-13**
 藤澤 隆史 BS2
 藤田 耕司# PS5-16
 藤田 裕一 **PS5-24**
 藤原 直子 **PS8-34**
 藤原 健志 PS9-22
 深澤 守男# PS9-47
 深谷 優子 PS3-23
 福田 佳織 **PS1-16**
 福田 一彦# PS1-5
 福田 健 **PS3-29**
 福丸 由佳 RT30
 船曳 康子# PS5-29
 船木 遥香 **PS4-47**
 船越 かほる **PS4-13**
 古見 文一 **PS6-23**
 古田 直樹 DS2
 古屋 喜美代 PS9-15
 古谷 那瑠美# PS7-32
 布施 光代 **PS6-42**

【G】

郷間 英世# PS4-40

権藤 桂子 **PS5-37**
 権藤 恭之 SS16
 郷式 徹 AS3
 後藤 あや# PS8-42
 後藤 聡 **PS2-46**
 Guild Ryan# PS6-27

【H】

萩原 広道 RT9
 萩平 隆誠# PS9-46
 萩生田 伸子# PS2-14
 計野 浩一郎# PS1-43, PS2-32, PS5-12, PS5-13, PS5-14, PS5-15, PS5-16, PS5-17, PS5-31, PS9-2
 白馬 智美 RT6, PS4-35, PS5-6
 浜辺 直子# PS6-11
 浜田 寿美男# SS14, SS17
 浜名 真以 RT38, RT44
 浜崎 景# PS4-29
 花熊 暁 PS7-32
 半澤 礼之 **RT42**
 原 満登里# RT33
 原 健之 RT22
 原田 惠理# PS3-36
 原田 新 RT23
 原口 喜充# RT3, RT24, PS3-42, PS4-40
 服巻 智子 RT45
 原島 恒夫# PS5-42
 原田 雅也 PS2-12
 原山 郁花 **PS7-12**
 針生 悦子 RT19, PS6-6, PS6-7
 長谷川 千秋# PS6-8
 長谷川 真里 **RT44**, RT46, PS7-37, **PS7-38**
 長谷川 智子 **PS1-5**
 長谷川 寿一# PS5-31
 橋本 久美# PS3-11
 橋本 浩一# PS7-16
 橋本 創一 **SS3**, **RT17**
 橋本 祐子 RT46
 橋本 和秀 CS3
 畑 潮 **PS4-31**
 畠山 美穂 RT50
 秦野 悦子 SS20, PS6-10, PS7-3, PS8-23, PS8-24
 畑野 快 SS13, SS21, **PS4-14**
 橋本 貴裕 **PS4-1**
 服部 敬子 **PS7-24**
 速水 敏彦# PS3-5
 林 安紀子 SS3, RT17, PS6-28
 林 史香# PS2-34
 林 創 IL, AS3, CS2,

	SS19	飯田 悠佳子 #	SS22	伊藤 弥生	PS9-24
林 恵	BS1	飯島 典子	PS6-4, PS7-6,	伊藤 裕子	PS3-43
林 美里	RT4		PS7-7	伊藤 朋子	PS6-31
林 幸範	PS9-16	飯村 周平	PS4-23, PS4-44	伊藤 和佳	RT33, PS5-32,
日尾野 愛	PS9-34	池 志保	SS11		PS5-33
比嘉 佳代	RT20	池田 準 #	PS9-47	井内 聖	DS4
東迫 健一 #	PS2-27	池田 一成 #	PS1-43	岩佐 光章 #	PS5-6
日湯 淳子	RT23, RT31	池田 まさみ #	PS5-43	岩崎 久志 #	PS3-46
肥後 克己 #	RT29	池田 慎之介	PS6-6	岩田 美保	RT51, PS7-2
樋口 大樹 #	RT19	池田 哲也 #	PS9-18	岩立 京子	RT38
樋口 寿美	PS7-19, PS9-15	池田 友美 #	PS4-40	岩立 志津夫	SL1, PS4-13
日野林 俊彦	KL	池田 利基	PS7-35		
平林 秀美	RT51	池上 奈摘	PS1-14	【 J 】	
平井 純子	PS6-5	池畑 美恵子	PS5-41	姜 娜	RT16, PS1-15,
平井 啓 #	PS3-36	今林 俊一	PS9-16		PS1-36
平井 恭子 #	PS9-37	今川 恭子	PS9-36	直原 康光	RT30, PS7-15
平井 美佳	AS4, PS4-30	今井 夏子	PS4-36	神 信人 #	PS4-22
平石 界 #	SS6, RT26	松村 京子	PS2-42, PS2-43	江 聚名 #	PS2-12
平石 賢二	PS4-43	稲田 尚子	SS8		
平川 久美子	PS7-6, PS7-7	稲寺 秀邦 #	PS4-29	【 K 】	
平子 泰弘 #	RT43	井ノ崎 敦子	SS11, PS9-26	蒲谷 楨介	PS1-22
平野 幹雄	DS4, RT13	井上 和久 #	PS4-40	株田 昌彦 #	PS2-40
平野 慎也 #	PS5-4	井上 真理子	PS7-41	門多 真弥	PS2-2
平沼 晶子	PS8-16	井崎 基博	PS5-39	門田 理世	PS3-9, PS3-10
平田 正吾 #	RT5, PS2-34	井関 紗代 #	AS4	海沼 亮	PS4-45
平田 嘉之	PS6-29	石橋 美香子	RT9, RT36,	梶川 祥世	PS1-46
広井 良典 #	BS1		PS1-45	垣花 真一郎	RT19
廣澤 愛子	SS2	石橋 太加志	SS13, PS9-17	柿沼 美紀	PS2-3
廣瀬 翔平	PS1-30	石橋 裕子	PS9-16	角和 麻衣子	PS8-4
廣戸 健悟	PS7-25	石田 航	SS8	亀田 隆 #	RT10
廣利 吉治	RT52	石上 浩美	RT10, PS1-47	亀井 美弥子	PS8-39
本郷 一夫	AS3, DS2, SS8,	石毛 順子	PS6-16	亀山 晶子 #	SS16
	PS7-6, PS7-7	石井 かおり #	RT10	上條 淳夏	PS6-9
本郷 美奈子	RT45	石井 佳世子 #	PS8-42	上川 多恵子	RT21
本間 優子	PS2-40	石井 クンツ 昌子 #	DS3	上村 誠也	PS9-15
本田 洋介 #	RT15	石井 正子	PS3-20	神尾 陽子 #	DS5, RT28
堀 美鈴 #	PS6-3	石井 僚	SS13, PS2-12	神谷 哲司	RT34, PS1-39,
堀(斉藤) 由里	PS8-37	石井 富美子	PS9-40, PS9-41		PS8-38
堀口 康太	PS9-22	石川 茜恵	RT42, PS4-8,	金井 智恵子	PS4-6
堀本 ともみ	PS2-9		PS4-9	金井 聖子	RT25
堀内 友貴	PS5-41	石川 信一	SS1	鹿子木 康弘	PS1-10
保坂 裕子	RT8	石川 隆行	PS6-1, PS6-2	金澤 忠博	PS2-38, PS5-21,
星野 優芽	PS8-12	石川 照子 #	SS7		PS6-9
細川 かおり	PS5-7	石川 由美子	SS17, RT11	神田 直子	PS3-19
細谷 里香	PS2-35, PS4-25	石川 友哉	PS5-15	神田 崇行 #	AS2
Hughes Claire #	IL, CS2	石倉 健二	PS4-40	金田 宗久 #	PS3-5
兵藤 瑞穂	RT14, PS5-32,	石本 雄真	RT23, RT34	金田 利子	RT35
	PS5-33	石野 秀明	PS9-33	兼子 明日華	PS2-4, PS2-5,
【 I 】		石野 陽子	RT18		PS3-6
市川 恵	PS9-36	石塚 幸雄 #	PS3-24	金子 龍太郎	SS10, PS9-10,
市川 奈緒子	RT7	磯部 美也子	PS2-24		PS9-35
市川 洋子	PS3-23	板倉 昭二	AS2, BS1, CS3,	金子 泰之	SS5, PS9-20
市川 陽子 #	PS8-42		PS5-31, PS8-44	糠 明珊	PS1-35
一柳 智紀	PS9-19	板倉 達哉	RT14	加納 啓太	PS4-22
井出 浩 #	PS9-46	伊藤 麻美	PS8-23, PS8-24	神崎 真実	DS1, RT29
五十嵐 一枝	PS2-3, PS2-17	伊藤 嘉余子 #	PS6-14	笠原 正洋	PS8-18
井口 亜希子	PS5-42	伊藤 恵子	PS5-43	笠井 由美	PS3-7, PS3-8
伊原 小百合	PS9-36	伊藤 美奈子	SS13	笠松 春花	PS4-29
飯田 順子 #	PS9-22	伊藤 美咲	PS8-23, PS8-24	鹿島 覚 #	SS2
		伊藤 理絵	RT12	加島 ゆう子 #	PS3-46

柏尾 眞津子	RT42	金城 志麻	RT32	熊木 悠人	RT46
柏木 宏介	PS2-19	木下 孝司	DS1, RT27	熊野 みき	PS4-21
柏木 恵子	BS3	喜岡 恵子#	PS9-28	熊坂 好孝#	PS1-46
加須屋 裕子	PS3-1	岸本 健	CS3, DS6, SS19	熊澤 健#	SS23
片桐 恵子	PS3-33	北 洋輔	RT19	九里 真緒	PS1-12
片桐 正敏	RT11	北川 小有里	RT28	倉盛 美穂子	PS5-1
片保 希実	PS2-8	北原 靖子	PS3-44	倉本 孝子#	SS17
片山 伸子	PS6-33	北本 遼太	PS1-31	栗山 あずさ#	PS2-44
加藤 陽子#	PS4-46	北村 柚葵	PS2-34	栗山 直子#	PS9-23
加藤 千恵子#	PS1-42, PS9-28	木谷 智子	PS4-21	黒田 美保	RT28, PS2-39
加藤 知佳子	PS9-27	北野 幸子#	RT50	黒石 憲洋	RT34
加戸 敬子	PS2-6, PS2-7	北山 裕子#	PS9-26	黒川 嘉子#	RT9
加藤 弘通	SS21, RT41, PS3-28	橘高 春生#	RT16	黒木 隼人#	RT15
加藤 浩平	PS5-25	清成 美佐子	PS4-32	黒澤 泰	RT5
加藤 邦子	PS7-45	小林 春美	DS6 , PS5-16	黒山 竜太#	SS8
加藤 正晴#	CS3, PS8-44	小林 佐知子	PS3-5, PS5-2 , PS7-17	久留島 太郎#	RT15
加藤 道代	SS23, RT5, PS8-38	小林 哲生#	PS1-10, PS3-13, PS6-14	楠見 孝	PS9-23
加藤 望#	RT18	小林 朋子	RT38	樟本 千里	PS7-28
加藤 祥子	PS9-28	甲田 菜穂子	PS2-1	桑山 未帆#	PS9-47
加藤 寿宏#	PS4-40	児玉(渡邊) 菜奈美	PS7-13	久世 濃子#	RT26
加藤 義信	SS15, PS5-20	古賀 佳樹	PS1-29	【L】	
清水(加藤) 真由子	PS9-31 , PS9-32	甲賀 崇史	PS3-17	李 知苑	PS1-1, PS1-2, PS1-3, PS1-4
加藤 博之#	PS2-27	古池 若葉	PS6-39, PS6-40	連 傑濤	PS1-15
勝間 理沙	RT46	古泉 祐子	PS4-25	劉 晶波#	RT16
桂 瑠以#	PS3-44	小島 治幸#	PS6-8	劉 敏俐	PS6-7
桂 志保#	SS7	小島 康生	DS2, RT47, PS3-30, PS7-34	【M】	
桂田 恵美子	PS7-1	小嶋 佳子	PS7-44	町 岳#	SS1
勝浦 眞仁	RT7, PS8-2 , PS8-3	小松 孝至	RT18	町田 奈緒士	RT21
河 かおる#	PS3-21	小松 正史#	RT37, PS9-38	前川 あさ美	SS20, PS2-8, PS2-9
川端 愛子	PS9-18	小松 佐穂子#	PS7-8	眞築城 和美	PS1-28
川端 悠子	PS3-14	米田 英嗣	RT39, PS5-10	牧野 彰賢#	RT15
河内 清美	PS9-1	小峯 弘子	RT16	牧野 光里	RT52
河原 美彩子#	PS2-37	金 さやか#	PS9-28	Manzi Federcio#	AS2, CS3
河合 優年	PS7-43	近藤 清美	RT45, PS1-18 , PS7-45	丸谷 充子	SS20 , PS2-21, PS7-20
川上 文人	RT12	近藤 龍彰	BS1, RT12, PS6-12	丸山 智美#	PS9-46
川上 清文	SS19	紺野 道子	PS2-3	増田 公男	PS8-15
川村 雅昭#	SS23	高坂 康雅	SS5, SS11	増田 真也#	RT5
河野 直子	PS3-39	小杉 恵#	PS5-4	増田 純礼#	PS9-3
川崎 善徳#	PS1-44	小高 恵	PS7-39	増田 珠巳#	PS6-5, PS6-11
川島 大輔	PS1-29, PS2-16	小谷 正登	PS3-46	俣野 源晃#	PS7-40
川島 隆太#	PS5-18	小谷 裕実#	RT17	松田 千幸#	PS9-31, PS9-32
川田 学	RT27, RT34	香曾我部 琢	RT49 , PS8-5	松田 美登子	PS5-22
萱村 俊哉	PS2-18	神谷 真由美	PS4-19	松井 智子	CS3, PS1-43, PS2-32, PS5-12, PS5-13, PS5-14, PS5-15, PS5-16, PS5-17 , PS5-37, PS6-6, PS9-2
藤村 和久#	PS1-21	小山 里織	PS7-17		
木田 重果#	PS3-46	子安 増生	AS3, RT1		
木立 伸也	RT6	小崎 恭弘#	PS1-1, PS1-2, PS1-3, PS1-4		
木戸 彩恵	RT18	久保 信代	PS2-25 , PS2-26		
菊知 充#	PS6-8	久保田(河本) 愛子	PS7-8	松木 健一#	SS2
菊池 知美	PS2-17	久保山 茂樹	RT7	松熊 亮	RT48, PS4-27
菊野 雄一郎	CS3, RT46	工藤 英美	PS5-20	松本 光太郎	RT47 , PS8-45
木南 沙也香	PS4-28	工藤 芳幸	SS17	松本 麻友子#	PS3-5
木村 文香	PS9-29	久木山 健一	PS9-24, PS9-25	松本 貴智#	PS7-16
木村 美奈子	RT1	熊谷 さくら	PS5-30	松本 拓真	SS14
木村 志保	PS2-25, PS2-26	熊谷 高幸	PS6-19	松村 健太#	PS4-29
金武 育子	RT20				
杵屋 勝之#(貞莉 玲)	RT20				
金城 光	PS6-26				

松永 しのぶ	PS3-34, PS7-19	森 暢子#	PS3-9, PS3-10	仲野 みこ	RT11
松永 静子#	PS8-19	森口 佑介	CS3, DS5, RT9,	中野 茂	PS3-11
松並 知子	PS9-26		PS1-26, PS5-31,	中尾 将大#	RT43
松岡 弥玲	PS3-5		PS6-32	中尾 達馬	RT25, PS2-28,
松阪 崇久	SS10	森本 美奈子	PS8-34		PS2-29
松嶋 秀明	RT8	森野 美央	RT44	中島 奈保子	PS3-5
松島 公望	RT43	森岡 正芳	RT2	中島 伸子	SS15
松島 岬紀	PS2-16	森下 文#	RT2	中島 由宇	SS14
松浦 和也#	AS4	森下 葉子	PS1-16	中田 龍三郎	SL1
松浦 直己#	SS23, PS2-14	森脇 愛子	SS22, PS2-20	中田 栄	PS9-8
松好 伸一	SS10	森山 雅子	PS7-17	中谷 陽輔	SS9
松崙 洋子	SS18, PS6-28,	本橋 豊#	PS9-12	中坪 史典	SS18, RT18,
	PS9-39	元井 沙織	PS1-25		RT49, PS3-9,
	PS5-18	本島 優子	PS1-19		PS3-10
松崎 泰	PS5-18	麦谷 綾子	PS6-14	中妻 拓也#	PS1-30
前川 正雄#	RT22	椋田 善之#	PS3-9, PS3-10	中谷 素之	SS1
孟 憲巍	RT36, PS8-44	Munakata Yuko#	PS6-27	中山 千秋	PS1-28
目良 秋子	PS1-28	村上 太郎	RT12, RT34,	中山 留美子	SS13
Michaelson Laura#	PS6-27		PS6-32	濤岡 優	PS3-31
皆川 泰代#	RT36		RT25, PS7-31	難波 紀子#	PS4-35
水口 啓吾	PS6-35	村上 達也	PS6-20	名尾 典子	PS4-3
南 雅則	PS9-13	村上 八千世	PS3-36	成田 花奈#	PS5-36
南 徹弘	KL, RT34	村中 直人#	RT1, PS2-30	成田 健一	PS9-46
南畑 好美#	PS9-26	村野井 均	RT32	成家 篤史#	PS4-42
峰尾 菜生子	PS4-8, PS4-9	村岡 淑恵#	PS6-45	名取 洋典	PS3-26
箕輪 潤子	PS3-9, PS3-10	村瀬 俊樹	PS1-20	根ヶ山 光一	DS3, PS3-22
三島 知剛#	PS9-19	武藤 世良	PS8-19	西 恭平	PS2-11
Mitchell Peter#	CS2, CS3	無藤 隆	BS2	西田 季里	PS9-6
光田 尚美#	RT2	明和 政子		西田 美由紀	PS2-42
三橋 翔太	PS2-34			西川 裕美#	PS6-45
密城 吉夫	PS7-14	【N】		西本 絹子	DS2, PS9-15
三浦 優生	PS2-32	鍋田 智広	PS4-16	西元 直美	PS1-6
宮地 泰士#	PS2-33	永房 典之	PS2-21	西村 太志	PS8-29
宮口 智恵#	PS1-33	長原 千香子#	PS5-1	西野 泰代	PS7-29, PS7-30
三宅 英典	DS6, PS6-17	永久 ひさ子	PS1-32	西尾 千尋	SL2
三宅 幹子	PS3-47	永井 知子	PS8-26	西尾 祐美子	SS7
三宅 理子	PS2-13	永井 幸代#	PS2-33	西田 裕紀子	SS16, PS3-35,
三宅 靖子#	PS3-46	永井 祐也	PS5-21		PS3-40
宮本 雅子#	RT10	永松 岳	PS4-24	西頭 智子#	RT10
宮本 正一#	RT28	長岡 千賀	PS5-28	西川 一二#	PS9-23
宮本 信也#	PS8-32	長崎 勤	RT14, RT33,	日戸 由刈	RT6, RT39,
宮本 知子	PS3-4		PS4-47, PS5-32,		PS5-10, PS5-11
宮下 一博	SS9		PS5-33	丹羽 智美	PS9-30
宮下 達哉#	PS4-42	永作 稔#	SS22	庭野 賀津子	PS1-44
宮里 翔大#	PS4-42	永戸 柚葉#	PS9-45	庭野 道夫#	PS1-44
三吉 紗矢#	SS11	中垣 啓	PS6-31, RT34	野上 俊一	PS1-14
溝江 唯	PS5-45, PS5-46	中川 敦子#	PS2-33	野口 隆子	SS12, SS18,
溝上 慎一	PS4-14	中川 威	PS3-35, PS3-40		PS3-9, PS3-10
溝川 藍	PS7-26	中川 陽子	PS8-32	野村 晴夫	RT31
水本 深喜	PS4-18	中川 佳子	PS5-27, PS6-37	野村 香代	PS2-33
水野 里恵	PS7-33	中島 寛#	PS2-27	野村 直子	PS8-23, PS8-24
水野 友有	RT12	中島 道子#	PS9-46	野村 哲士	RT47
水島 さくら#	PS2-16	中岡 玲子	SS21	則近 千尋	PS3-12
水田 茂久	PS2-31	中道 圭人	RT51, PS6-22	則定 百合子	RT50
水谷 柳子#	PS5-44	中道 直子	RT51, PS4-36,	野呂 文行#	PS5-38
水内 豊和	RT17		PS6-24	野瀬 出#	PS2-3
望月 直人	PS2-23	中村 泉#	PS4-35	野澤 祥子	RT51, PS1-1,
百瀬 良	PS7-19	中村 真	CS1		PS1-2, PS1-3,
百田 豊#	PS2-3	中村 晋介	SS11		PS1-4
森 和子	PS1-24	中村 知靖	RT31	沼田 あや子#	RT7
森 美智代#	PS5-1	中村 悠里恵#	SS11		

【O】					
小原 倫子	PS7-17	大崎 博史#	RT6	笹川 彩	PS4-37, PS4-38
落合 利佳#	PS4-40	大澤 香織#	PS2-24	笹原 未来	SS2
小田 滋大	PS5-14	大澤 直樹	BS2, PS1-23	佐々木 美恵	PS8-42
小田 豊#	PS3-9, PS3-10	大島 郁葉	RT45	佐々木 由美子	BS1
尾形 和男	PS1-16	大島 聖美	PS8-29	佐藤 昌子#	PS7-19
尾形 優香	PS7-16	大島 真里子	PS7-3	佐藤 綾香	PS6-36
小川 修史#	SS7	太田 正義	PS3-28	佐藤 鮎美	PS6-1, PS6-2
小川 詩乃	PS5-29	大谷 和大	SS1	佐藤 佳那	PS5-45
小川 徳子#	PS6-33	大谷 多加志	RT3, PS3-42, PS4-40	佐藤 繭美#	SS4
小椋 たみ子	PS6-5, PS6-11	大伴 潔	DS6, SS3, PS5-45, PS5-46	佐藤 菜穂	PS4-37 , PS4-38
大原 智樹#	PS4-34	大塚 穂波	PS3-25	サトウ タツヤ	RT29
大橋 靖史	RT42	大塚 礼#	PS3-35, PS3-40	佐藤 那美	PS3-24
大橋 良枝	RT13	扇原 貴志	PS4-15	佐藤 由香理	PS4-34
大谷 亮	PS2-44	大山 智子	PS4-3	佐藤 友紀#	PS1-33
大井 学	RT39, PS5-44	尾崎 康子	DS5	澤田 敏子	PS9-42
及川 智博	RT41	小沢 日美子	PS5-3	澤田 陽一#	PS9-38
大石 美佳	PS3-34	小澤 郁美	PS6-34	関 泰子	PS4-35
岡林 秀樹	RT40, PS3-41			関口 はつ江	PS1-21
岡部 悟志#	PS1-1, PS1-2, PS1-3, PS1-4	【P】		関口 久恵#	PS9-12
岡田 香織#	RT37	Paine Amy#	CS2, CS3	関根 和生#	PS6-17
岡田 美智男#	AS4	【R】		関谷 みのお#	PS6-3
岡田 涼	SS13	Reggie Pawle#	RT8	瀬戸 淳子	PS6-10 , PS8-23, PS8-24
岡田 有司	SS5	Rumana Aktar	PS4-43	Sheppard Elizabeth#	CS2
岡本 大輔	PS2-24	【S】		Sheppard Lizzy#	CS3
岡本 英生	RT50	相良 順子	PS3-43	石 晓玲	PS1-21
岡本 依子	PS8-39	西郷 幸来#	PS9-31, PS9-32	芝 啓太	PS4-11
岡村 季光	PS4-17	齋藤 慈子	RT26 , PS8-8	芝崎 美和	PS1-27 , PS4-20
岡村 佳子	PS9-47	齋藤 こずゑ	PS1-40	芝崎 良典	PS1-27, PS4-20
大神田 麻子	AS2, PS5-31	齋藤 智#	PS6-27	柴田 理瑛	RT13
沖潮 満里子	RT21	齋藤 誠一	RT50	柴田 崇浩	PS1-8
興津 真理子	PS2-15	齋藤 貴浩#	PS9-23	柴田 利男	CS1
大久保 圭子#	PS4-40	齋藤 信	PS4-4, PS4-5	信太 寿理	PS8-10
大久保 圭介	PS1-1 , PS1-2, PS1-3, PS1-4	佐治 量哉	PS1-7	四方 俊祐#	PS9-30
大久保 智生	RT41	坂上 裕子	RT47, PS7-22 , PS7-23	島 義弘	PS9-5
奥田 裕紀	PS6-43	坂口 伊都#	PS1-33	嶋田 容子	PS3-15
大熊 美佳子	PS3-27	境 愛一郎	RT49	嶋田 裕子#	PS5-29
奥村 ルシア#	PS3-21	酒井 映奈#	PS3-45	嶋田 裕基#	RT48
奥村 桃子	RT33	酒井 麻衣#	RT26	島井 哲志	PS2-25, PS2-26
奥村 優子	RT19 , PS1-10	酒井 佐枝子	PS1-33	島谷 日菜子	PS2-1
大倉 得史	SS9	榎原 良太	CS1	島津 明人#	PS1-1, PS1-2, PS1-3, PS1-4
奥住 秀之	PS2-34	榎原 久直	RT24 , RT34	清水 寛之	PS6-26
大豆生田 啓友#	PS8-19	坂本 篤史	PS9-19	清水 寿代	PS8-7
大道 香織	SS10	坂本 光平	PS1-42	清水 健司#	PS8-7
大森 哲至	PS4-42	坂本 美紀	PS7-40	清水 光弘	PS2-41
大村 壮	PS8-22	坂本 理香	PS1-34	清水 里美	RT3 , PS3-42 , PS4-40
大西 将史	SS2	坂本 陽子	PS2-4 , PS2-5	清水 由紀	SS19
小野 啓子	PS7-32	阪脇 孝子	PS6-21	下郡 啓夫#	RT37, PS9-38
小野 美和	PS8-11	佐久間 路子	PS7-22, PS7-23	下方 浩史#	PS3-35, PS3-40
小野寺 敦子	PS1-25, PS4-31	作野 友美	PS8-21	下村 明子#	PS3-46
隠村 美子	PS9-15	櫻田 博#	DS4	下村 淳子#	PS9-26
尾上 恵子	CS1	櫻井 未央	PS5-40	下中村 武#	PS5-23
大江 佐知子#	PS9-46	三益 亜美#	RT19	下坂 剛	PS8-31
大川 一郎#	PS9-22	真田 美恵子	PS1-1, PS1-2 , PS1-3, PS1-4	志村 洋子	PS9-36
大野 祥子	DS3, PS1-28	佐野 和貴子#	RT37	進藤 将敏	PS3-38
折原 有美	PS3-20			新開 美晴#	PS5-1
長田 真人	PS4-10			篠原 亜佐美	PS1-10 , PS3-13
				篠原 郁子	RT44

篠原 靖明#	PS1-43	田淵 恵	PS3-30	田中 章浩#	PS2-37
篠沢 薫	PS6-28	橋 春菜	PS3-5	田中 あゆみ#	SS1
新屋 裕太	RT9 , PS1-45	立花 良之#	PS4-18	田中 淳一#	PS5-34
塩山 利枝#	PS3-46	田垣 正晋	SS4	田中 真理	PS5-23, PS5-26
白江 寿美#	PS9-43	多川 則子	PS6-3	田中 美千子	RT25
白神 敬介	PS3-2	田口 久美子	PS9-15	田中 みどり	DS6, PS6-37
白井 利明	RT31 , RT42,	田口 美恵子#	PS5-36	田中 美帆	PS3-25
	PS4-12	田島 大輔	RT15	田中 瑞穂#	PS5-36
白石 大介#	PS3-46	田島 真知子	PS5-4	田中 元基	PS8-13, PS8-14 ,
城間 祥子	PS9-9	田島 信元	RT22 , RT33,		PS9-12
庄司 一子	PS1-9		RT34	田中 早苗	PS6-8
東海林 麗香	PS8-39, PS9-21	田尻 由起	PS1-38	田中 駿	PS4-40
首藤 敏元	PS4-3, PS7-28	高田 明	DS1	田中 寿夫#	PS4-22
佐藤 晋治#	RT11	高田 栄子#	PS5-43	田仲 由佳	RT23
Skipper Yvonne#	CS2	高木 香代子#	PS9-43	田中 友香理	BS2
副島 里美	PS8-17	高橋 明里#	PS7-32	田中 祐子	PS2-38
荘厳 舜哉	AS1 , BS3 , DS3 ,	高橋 亜希子	BS1	多根井 重晴#	PS4-17
	RT34, PS1-21	高橋 彩	RT22	唐 音啓	PS1-1, PS1-2,
園田 正世	PS9-35	高橋 千枝	PS7-6, PS7-7,		PS1-3 , PS1-4
園田 直子	RT42		PS8-41	丹下 智香子	PS3-35, PS3-40
曾山 いづみ	RT30	高橋 千草#	PS5-36	谷 冬彦	SS9
須田 桃香	PS6-8	高橋 秀明	PS4-26	谷 伊織	CS1
須藤 美織子#	PS6-6	高橋 英之#	PS4-39	谷 芳恵	PS8-43
須藤 幸恵	PS2-39	高橋 均	PS2-28 , PS2-29	谷口 一美#	DS6
菅野 あゆみ#	PS9-31, PS9-32	高橋 恵子	BS3, RT35	谷口 康祐	AS2
菅野 文彦#	SS2	高橋 健介#	RT49	谷向 みつえ	PS2-25, PS2-26
菅野 幸恵	PS8-39	高橋 眞琴	PS5-34	田崎 さより#	RT25
菅原 ますみ#	SS6	高橋 翠	PS3-18	立元 真	PS2-27
杉本 英晴	PS7-10	高橋 実里	RT51	田澤 実	PS7-42
杉本 真理子	PS9-40, PS9-41	高橋 桃子	PS2-3	田爪 宏二	DS2, SS12,
杉村 和美	SS21 , RT31	高橋 桃子	PS4-37, PS4-38		PS6-38
杉村 伸一郎	PS2-36, PS2-45,	高橋 登	DS6, RT34	寺田 祥子	PS5-13
	PS8-9	高橋 幸子	RT37, PS9-38	寺見 陽子	PS8-35
杉浦 祐子	PS4-43	高橋 晋也#	PS2-13	寺坂 明子#	SS8
杉山 佳菜子	PS4-4 , PS4-5	高橋 真一郎#	PS5-34	寺蘭 さおり	PS8-20 , PS8-25
杉山 幸子	SS4	高橋 智子	PS1-9	鳥羽 翔太	PS4-41
鋤柄 増根#	PS2-33	高橋 智子#	PS2-27	登張 真稲	PS4-3
孫 怡	PS1-15 , PS1-36	高橋 雄介	SS6	戸田 瑞穂#	RT16
須永 真理	PS8-30	高野 風人	PS4-2	戸田 有一	RT46
砂上 史子	RT51	高野 恵代	PS2-4, PS2-5	登藤 直弥	PS4-33
角南 なおみ	PS5-9	高岡 純子	DS3, PS1-1,	等々力 花歩	PS9-37
須藤 史晴	PS9-2		PS1-2, PS1-3,	東條 吉邦	PS1-43, PS2-32,
諏澤 宏恵	PS3-32		PS1-4		PS5-12, PS5-13,
鈴川 朝子	PS5-35	財部 盛久	PS2-3		PS5-14, PS5-15,
鈴木 亜由美	PS7-4	高崎 文子	PS8-36		PS5-16, PS5-17,
鈴木 大輔	PS5-23	大森 隆司#	RT49		PS5-31, PS9-2
鈴木 英夫#	SS2	高屋 知枝	PS4-35, PS5-6	徳永 聖子	PS8-13 , PS8-14
鈴木 佳奈#	PS8-29	高谷 理恵子	RT50, PS8-41	都倉 さゆり#	PS7-40
鈴木 健史	SS18	武部 正明	RT39, PS5-10,	當眞 千賀子	PS9-34
鈴木 国威	SS6		PS5-11	富田 真紀子	PS3-35 , PS3-40
鈴木 賢男	PS9-43	武居 渡	DS6	富田 文代#	PS5-19
鈴木 正敏	PS3-9, PS3-10	竹村 明子	RT40	富田 拓#	SS23 , PS2-14
鈴木 慎也	PS7-9	竹中 正彦	PS7-21	富田 久枝	SS12
鈴木 忠	SS16, PS1-28	竹下 秀子	RT47, PS3-21	富田 昌平	SS15, RT27
鈴木 雄一#	PS7-16	瀧川 真也	PS6-25	友田 明美#	AS1
鈴木 悠介	PS2-20	滝口 圭子	SS12 , PS8-1	伴野 崇生#	RT21
鈴木田 英里	PS2-15	滝澤 真毅	DS4	利根川 明子	PS7-8
		田村 典子	PS1-7	利根川 智子	PS7-28
		田村 沙織	PS4-3	鳥居 深雪	SS7 , RT45,
【 T 】		田邊 素子#	PS1-44		PS6-36
田原 敬#	PS5-42				

利光 恵#	RT32	埋橋 玲子#	SS18	山崎 徳子	PS2-15
外山 美樹	PS4-45			山城 拓也#	RT7
外山 紀子	SS15	【W】		山崎 幸子	SS2
豊村 かなみ	PS6-13	和田 薫#	PS9-46	柳川 公三子	PS3-43
豊島 彩	PS3-37	和田 香誉	PS1-11	柳井 康子	RT6
土田 暁子#	PS4-29	和田 美奈子	PS9-15	柳岡 開地	PS5-36
土田 義郎#	PS3-15	和田 幸子#	RT4	安田 万里子	RT36, PS6-27
土元 哲平	RT21	若林 紀乃	RT27	安田 哲也	PS2-41
柘植 雅義#	PS1-38	若井 広太郎	RT14	安田 裕子	PS5-43
辻 あゆみ	PS5-5	若本 純子	PS7-29, PS7-30	安田 知陽	RT29, RT49
辻 弘美	IL, CS2, CS3	脇村 美穂	PS2-45	安里 知藤	PS3-33
柄田 毅	RT14, RT17	王 松	RT23	安藤 優子	RT29, PS1-15
塚原 拓馬	SS16	綿井 雅康	PS4-46	安永 正史#	RT35
常田 美穂	PS8-28	渡部 公香#	PS7-32	依田 幸子#	PS7-20
常田 秀子	PS5-35, PS9-15	渡邊 雅俊	PS9-4	淀川 裕美	SS18, PS3-9,
鶴田 敦子#	BS3	渡邊 直美	RT38, PS3-13		PS3-10
都筑 学	SS5, SS21	渡邊 照美	SS4	横光 健吾#	PS6-25
		渡邊 寛	BS3	横田 千賀子	SS22
【U】		綿貫 愛子	RT39	横田 晋務	PS5-23, PS5-26
内田 彩子	PS4-37, PS4-38			横山 広美#	BS3
内田 香奈子	PS4-2	【Y】		横山 草介	RT48, PS3-16
内田 真理子	PS1-43, PS5-17	矢吹 理恵	PS1-37	米田 春香#	PS9-45
内田 伸子	AS1	八木 成和	PS9-14	米田 なおこ#	RT24
内山 伊知郎	KL, CS1, PS7-9	山田 一憲	RT26	米田 奈緒子	PS9-45
内山 有美	PS3-5, PS3-7, PS3-8	山田 真世	RT27	米田 佑#	PS6-41
宇恵 弘	PS2-25, PS2-26	山田 哲子	RT30	米山 直樹#	PS9-46
上淵 寿	PS7-36	やまだ ようこ	DS1, RT34	吉田 圭吾	RT50, PS2-6,
上地 亜矢子	PS2-3	山田 夢	PS2-4, PS2-5, PS2-22	吉田 若葉#	PS2-7, PS2-11
上田 敏丈	SS18, PS3-9, PS3-10, PS8-2, PS8-3	山縣 宏美	PS6-30	吉井 瑛美#	PS9-43
植田 瑞穂	PS7-1	山形 恭子	PS6-39, PS6-40	吉井 勘人	PS1-5
上田 由香理	PS5-19	山縣 然太郎#	AS1		RT14, RT33, RT34, PS5-32, PS5-33
上原 淳子	RT32	山口 悦司#	PS7-40	吉川 はる奈	PS8-20, PS8-25,
植木 克美	PS9-18	山口 創	RT4		PS9-15
上木 誠吾#	PS3-36	山口 真希	PS6-15	吉川 治	PS6-18
上村 晶	PS9-7	山口 将典	RT9, PS1-26	吉川 武憲#	RT2
上村 佳世子	PS3-1	山口 洋介#	SS1	吉村 麻美	PS1-46
上野 淳子	PS9-26, PS9-30	山口 祐子#	PS9-24	吉村 優子#	PS6-8
上野 将敬	PS2-38, PS6-9	山本 ちか	PS4-7	吉永 早苗	RT37, PS9-38
上岡 紀美	PS7-28	山本 絵里子#	RT36	吉野 さやか	PS9-12
上山 瑠津子	PS8-9	山本 悦代#	PS5-4	吉澤 千夏	PS3-1
宇治橋 祐之#	RT1	山本 寿子	PS2-37	吉澤 一弥	SS20, PS2-21
氏家 達夫	BS1, SL2, DS5, RT34, PS8-41	山本 淳一	PS8-4	四辻 伸吾#	SS8
梅田 真理	SS7	山本 晃輔	PS6-44	弓気田 美香	PS1-17
梅崎 修#	PS7-42	山本 正顕	PS1-6	湯川 隆子	BS3
宇野 あかり	PS6-41	山本 調子	PS2-43	尹 成秀	SS8
宇野 礼佳#	RT52	山本 理絵	PS3-19	百合草 禎二	SS10, RT41,
浦本 愛	RT33, PS5-32,	山本 慎也#	PS9-18		PS1-41
	PS5-33	山本 琢俣	PS7-36	湯澤 正通	PS6-34, PS6-35
浦田 悠	DS1	山本 智一#	PS7-40	湯澤 美紀	RT4
漆 紫穂子#	PS7-8	山本 智子	RT2		
牛島 智子	PS4-35, PS4-47, PS5-8	山本 幸子#	PS3-14	【Z】	
牛山 道雄	PS4-40	山本 由美#	SS5	残華 雅子	PS7-27
		山本 祐誠	PS5-16	鄭 曉琳	PS2-36
		山村 麻予	PS3-36		
		山村 豊	PS4-42		
		山根 隆宏	SS14, RT23,		

ウィプシ

wppsi-III 知能検査

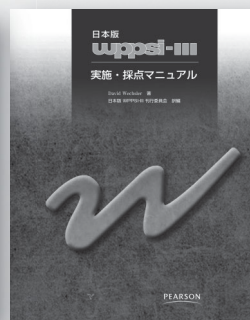
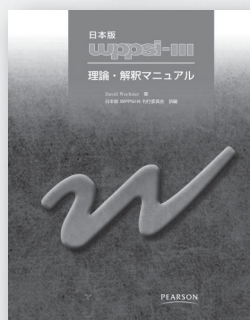
スリー

WECHSLER PRESCHOOL AND PRIMARY SCALE OF INTELLIGENCE – THIRD EDITION

原著者：David Wechsler
原版出版社：Pearson
日本版作成：日本版WPPSI-III 刊行委員会
大六一志、渡辺弥生
適用範囲：2歳6カ月～7歳3カ月
実施時間目安：2～3歳40分
4～7歳50～70分



- コンプリートセット
150,000円(税抜き)
- 実施・採点マニュアル
12,000円(税抜き)
- 理論・解釈マニュアル
8,000円(税抜き)
- 記録用紙・2～3歳用 20名分
10,000円(税抜き)
- 記録用紙・4～7歳用 20名分 ワークブック付き
15,000円(税抜き)



好評
発売中

心理検査専門出版



日本文化科学社

www.nichibun.co.jp



新版K式発達検査の精密化に関する発達心理学的研究
大谷多加志著 六五〇〇円

小中学生の学級集団内の友人グループに関する研究
武蔵 由佳著 七五〇〇円

グループ学習における授業実践型相互教授の介入効果
町 岳著 六〇〇〇円

児童の主張における他者配慮
江口めぐみ著 五五〇〇円

高校生のいじめの心理社会的要因と防止教育実践の評価
佐久間浩美著 五〇〇〇円

パートナーに対する暴力のメカニズム
喜入 暁著 七〇〇〇円

学校心理学ガイドブック第4版
学校心理士認定運営機構編 二〇〇〇円

三世代の親子関係——マッチングデータによる実証研究——
佐々木尚之・高濱裕子編著 二五〇〇円

道徳の時間における児童の資料理解
三輪 聡子著 六〇〇〇円

青年期における自己変容に対する志向性の個人差と発達的变化
千鳥 雄太著 五五〇〇円

小学2年生の適応と規定要因に関する縦断研究
柴田 玲子著 七五〇〇円

青年期から成人期の対人的枠組みと人生の語りに関する縦断的研究
山岸 明子著 八五〇〇円

生活習慣形成における幼児の社会情動的発達過程
平野麻衣子著 九〇〇〇円

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風 間 書 房

https://www.kazamashobo.co.jp
E-mail pub@kazamashobo.co.jp (価格税別)

いじめや不登校防止など 予防的生徒指導のために

コンピュータ採点

KJQ

エイジェイキョー

マトリックス

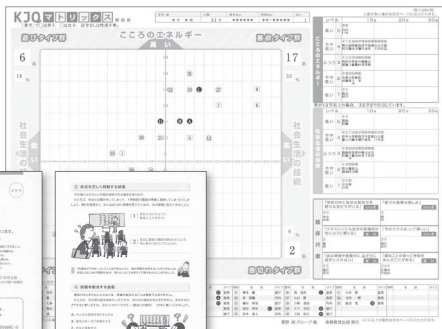
小学校版

中学校版

高校版

■編：菅野純グループ
■受検料：各540円(税込)

■対象：小学校 5・6年生
中学校 1～3年生
高校 1～3年生



『KJQ マトリックス』は、いじめや不登校防止という予防的生徒指導に役立つ検査教材です。クラス全体からみた生徒を「マトリックスシート」によって位置づけることにより、生徒の心の分布がわかります。付録のワークブックでは、生徒の「こころのエネルギー」の満たし方と、「社会生活の技術」を高める方法を楽しみ学習していきます。



実務教育出版

〒163-8671 東京都新宿区新宿 1-1-12

TEL 03-3355-1801

https://www.jitsumu-kyouzai.com/

赤ちゃんの心はどのように育つのか 社会性とことばの発達を科学する

今福理博著 * 四六判美装カバー 218頁 2200円

周産期ボンディングとボンディング障害 子どもを愛せない親たち

北村俊則編著 * B5判美装カバー 170頁 3000円

「学校」を生きる人々のナラティブ 子どもと教師・スクールカウンセラー・保護者の心のずれ

山本智子編著 * A5判美装カバー 248頁 2600円

他者と「共にある」とはどういうことか 実感としての「つながり」

藤井真樹著 * A5判美装カバー 288頁 3500円

社会的コミュニケーション発達が気になる子の育て方がわかる ふれあいペアレントプログラム 指導者用ガイド

尾崎康子編著 * B5判美装カバー 224頁 3500円

〈自閉症学〉のすすめ オーティズム・スタディーズの時代

野尻英一／高瀬堅吉／松本卓也編著 * 四六判美装カバー 392頁 2000円

美しさと魅力の心理

三浦佳世／河原純一郎編著 * A5判美装カバー 216頁 2000円

よくわかるインクルーシブ教育

湯浅恭正／新井英靖／吉田茂孝編著 * B5判美装カバー 232頁 2500円

公認心理師のための基礎から学ぶ神経心理学 理論からアセスメント・介入の実践例まで

松田修／飯干紀代子／小海宏之編著 * B5判美装カバー 170頁 2400円

▶公認心理師の基本を学ぶテキスト 既刊2点 川畑直人／大島剛／郷式徹監修 * A5判各2200円

⑧ 学習・言語心理学 支援のために知る「行動の変化」と「言葉の習得」

郷式徹／西垣順子編著

⑱ 教育・学校心理学 子どもの学びを支え、学校の課題に向き合う

水野治久／申崎真志編著

▶公認心理師スタンダードテキストシリーズ 既刊 下山晴彦／佐藤隆夫／本郷一夫監修

⑫ 発達心理学 林創編著 * B5判 2400円

▶近刊のご案内

支援のための臨床的アタッチメント論 よくわかるパーソナリティ心理学

工藤晋平著●「安心感のケア」に向けて * 2月刊行予定

吉川真理編著 * 3月刊行予定

季刊 **発達**

1・4・7・10月各25日刊
B5・各120頁・各1500円

⑩⑪ 特集 わたしの自閉症論

滝川一廣／青木省三／河合俊雄／杉山登志郎／浜田寿美男／田中康雄／神尾陽子／山上雅子／田中千穂子／古田直樹／永浜明子／Aju／赤木和重／村上公也ほか

既刊 ⑩⑪ 特集 ①保育の質の向上を考える 汐見稔幸／無藤隆／大豆生田啓友ほか

②遊びの力——新しい遊びへのまなざし 中野茂／島田将喜／富田昌平

⑬⑭ 特集 自然と子ども 小西貴士／久保健太／鈴木秀弘／渡邊英則／根ヶ山光一ほか

⑮⑯ 特集 いま、津守真に出会う 汐見稔幸／佐藤学／鯨岡峻／榎沢良彦／浜口順子ほか



ミネルヴァ書房

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1 ☎075-581-0296 宅配可/価格税別

E-mail eigyo@minervashobo.co.jp URL <http://www.minervashobo.co.jp/>

北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

http://www.kitaohji.com

ワーキングメモリの探究 【仮題】

—2020年春刊行予定— A バドリー著 佐伯恵里奈・齊藤 智監訳 A5上製・約432頁・予価6200円＋税
バドリー教授自らが厳選した論文を取録。長期－短期記憶とWMの関係、WMと注意の働きの関係など、今なお論争の最前線にある問題について、これまでどのように検討・考察を進めてきたのかをたどり、彼の研究の全体像を窺い知ることができる。

ニューロダイバーシティと発達障害

—「天才はなぜ生まれるか」再考— 正高信男著 四六・296頁・本体2200円＋税 発達障害は人類本来のヴァリエーションである。歴史に大きな業績を残した偉人のエピソードをもとに、進化心理学・神経科学の知見をふまえ、様々な障害が強みに働いた過程を考察。好評書を全体的に見直し新たに三章分を加筆した。

道徳教育はこうすれば(もっと)おもしろい

—未来を拓く教育学と心理学のコラボレーション— 荒木寿友・藤澤 文編著 A5・288頁・本体2600円＋税 道徳科を中心に据え、教育学、心理学、教育実践学の立場から、教室場面において何が実践できるかについて詳説。道徳教育のさらなる発展を目指す。具体例として計15本の学習指導案を掲載。

ESDと世界の子どもたち 【仮題】

—2020年春刊行予定— 萩原元昭編著 A5・約220頁・予価3200円＋税 持続可能な開発のための教育(ESD)は、幼児期から生涯に亘り、教育機関、家族、地域社会において果たすべき義務となってきた。本書では、従来型の実践にとどまらない国内を含む世界8カ国の事例を紹介し、参画型の取り組みを提案。ESDの次のステップを示唆する。

音楽知覚認知ハンドブック

—2020年春刊行予定— 大串健吾・桑野園子・羅波精一郎監修 B5・約416頁・予価5800円＋税 音響学、聴覚の心理学、知覚、認知、学習と教育、感情、情報、脳、演奏、映像メディア、健康・音楽療法、社会・産業で構成。実証科学的かつ学際的で多面的なアプローチにより、その経験(行動)とそれを支える仕組みの解明を試みる。

ギフティッド その誤診と重複診断

—心理・医療・教育の現場から— J. T. ウェブ他著 角谷詩織・榎原洋一監訳 A5・392頁・本体5200円＋税 1つ以上の分野で並外れた才能を示すギフティッド。本書では、豊富な事例からギフティッドに類似する障害の特性と比較し、特有の問題や支援の実践を示す。正確な理解に向けた手引きとなる。

ペットと暮らす心理学 【仮題】

—2020年春刊行予定— 濱野佐代子著 A5・約192頁・予価2300円＋税 ペットを家族の一員として飼育している人が多いが、愛情を注いだペットを亡くしたときに深い悲しみに陥る飼い主も少なくない。ペットロスへの対応も含め、ペットとの出会いから別れまで、飼い主とペットとの暮らしに関わる諸問題を、心理学的な視点から問いかける。

グローバル化とインクルーシブ教育

—通常学級に在籍する発達障害児にも対応した学校・学級経営— 安藤正紀編著 A5・160頁・本体2000円＋税 児童生徒の知覚レベルの実態把握とICT利用、21世紀型スキルを意識した職業教育、効果的な教育課程づくり等の視点から、豊富な実践事例とともに特別支援教育と通常の教育の一体化を推進するヒントを提供。

心理学って面白そう！
どんな仕事で活かされている？

シリーズ 心理学と仕事 (全20巻)

シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・約160～220頁・予価2000～2600円＋税

- | | | | | |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学 | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学 | 4 学習心理学 | 5 発達心理学 |
| 6 高齢者心理学 | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学 | 9 知能・性格心理学 | 10 社会心理学 |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学 | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学 | 15 障害者心理学 |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学 | 18 交通心理学 | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |

塚田みちる・岡本依子・菅野幸恵著

エピソードで学ぶ保育のための心理学

子ども理解のまなざし

保育者を目指す学生が乳幼児期の子どもの理解を深め、その支援を生き生きと学べるよう、具体的エピソードと発達心理学の知見を交互に配ってわかりやすく解説。新しい保育者養成の教育過程に対応し、保育士資格における指定科目のテキストとして最適。

A5判並製240頁＋カラー8頁／2100円＋税

実重重実著

生物に世界はどう見えるか

感覚と意識の階層進化

細菌から植物、カビ、動物まで、あらゆる生物は感覚を持ち、世界を認識している。それはどんな世界だろうか。私たちの意識は、そこからどのような過程を経て生まれたのだろうか。最新の知見に基づきつつ想像力も駆使して生物の中に潜り込む探案行。

四六判並製224頁／2400円＋税

松嶋秀明著

少年の「問題」／「問題」の少年

逸脱する少年が幸せになるということ

「やりたい放題」に見える「問題」の少年たちは、「問題」をかかえた少年たちでもある。学校でのフィールドワークとインタビューを通して、少年と教師、教師同士の「関係性」をこらえ、何が彼らの幸せにつながるのかを探る。

四六判並製232頁／2300円＋税

今津孝次郎著

いじめ・虐待・体罰をその一言で語らない

教育のこころばを問い直す

「こころば」は暗黙のうちに一定の意味や価値判断を帯びている。教育問題をめぐる「こころば」の曖昧さが、問題を深く掘り下げる妨げとなる。「こころば」を吟味し、答えよりも問い方を問わねばならない。教育に責任ある大人のエンパワメントのために。

四六判並製272頁／2700円＋税



川上清文・高井清子編

対人関係の発達心理学

子どもたちの世界に近づく、とらえる

人がコミュニケーション能力を獲得していく過程は不思議と魅力に満ちている。乳幼児の利他行動、子どもの指さしの意味、笑顔の発達と進化、乳児の泣き声と大人の捉え方、青年期の母娘の関係の変遷――5つのトピックを軸に最新の研究成果を紹介。

A5判並製144頁／1800円＋税

山愛美著

村上春樹、方法としての小説

記憶の古層へ

村上春樹は、小説という枠組みの中で自らの心の深みに下降し、「物語」が自発的に語り始める場を作り出す。そういった創作過程とともに体験する読み方を心理臨床の立場から提示し、なぜ村上の作品が多くの人を力づけ、惹きつけ続けているのかを探る。

四六判並製244頁／2600円＋税

鈴木七美著

エイジングフレンドリー・コミュニティ

超高齢社会における人生最終章の暮らし方

人生の最終段階、支援が必要になったとき、誰とどこで暮らすのか。問題は「自宅が施設か」ではなく、どこにあってでも生活をいかに楽しむか。だ。福祉先進国デンマークをはじめ、世界を国で調査を重ねてきた著者が、高齢者の人生の物語を克明に描く。

四六判並製256頁／2800円＋税

サトウタツヤ・春日秀朗・神崎真実編

ワードマップ 質的研究法マップピング

特徴をつかみ、活用するために

代表的な26の質的研究法を取り上げ、それぞれの特徴を概観できるよう四象限マトリクスを用いて整理（マップピング）し、第一線の研究者が解説。方法的基礎や、新しい動向もカバー。最良の方法を選んで活用するためのこれまでにない入門書。

四六判並製292頁／2800円＋税

株式会社 新曜社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-9 幸保ビル3階
TEL: 03-3264-4973 (代) FAX: 03-3239-2958 (表示価格は本体価格)
E-mail info@shin-yo-sha.co.jp URL https://www.shin-yo-sha.co.jp/



詳しくはこちらへ

シリーズ「支援のための発達心理学」(全8巻)

発達心理学の理論と発達支援の実践を一緒に学べるシリーズ

最新
第7弾!

生涯発達の理論と支援

白井利明 編著／本郷一夫 監修(シリーズ監修)
A5判・112頁 本体 1,500円＋税
発達心理学の理論を踏まえ、思春期から高齢期までの各ライフステージの事例から、支援のための生涯発達心理学とは何かを検討する。

発達の観点に立つアセスメントと支援技術の特徴とする心理職資格

臨床発達心理士 わかりやすい資格案内[第4版]

一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構 編
A5判・120頁 本体 1,400円＋税
ますますニーズの高まる「臨床発達心理士」の資格を取得するための1冊。学習内容と資格取得者の活動の場、過去問の一部も紹介。資格申請の条件変更や、公認心理師にも言及した最新版。

発達性協調運動障害 [DCD] 不器用さのある子どもの理解と支援

辻井正次・宮原資英 監修／澤江幸則・増田貴人・七木田 敦 編著
A5判・240頁 本体 2,700円＋税

発達が気になる幼児の親面接 支援者のためのガイドブック

井上雅彦・原口英之・石坂美和 著
A5判・196頁 本体 2,300円＋税

LDの「定義」を再考する

一般社団法人 日本LD学会 監修
小貫 悟・村山光子・小笠原哲史 編著
A5判・152頁 本体 1,900円＋税

ハンディシリーズ 発達障害支援・特別支援教育ナビ LDのある子への学習指導

適切な仮説に基づく支援
小貫 悟 編著／柘植雅義 監修 A5判・112頁 本体 1,300円＋税

●親の養育行動を包括的に評価する質問紙 Positive and Negative Parenting Scale

PNPS (肯定的・否定的養育行動尺度)



PNPS 開発チーム [編] 監修者：辻井正次 開発責任者：伊藤大幸
開発副責任者：浜田 恵・村山恭朗
※価格等商品の詳細は金子書房HPをご覧ください。

●自閉スペクトラム症の特性と支援ニーズを評価する面接ツール Parent-interview ASD Rating Scale-Text Revision PARS-TR 親面接式自閉スペクトラム症 評定尺度テキスト改訂版



一般社団法人 発達障害支援のための評価研究会 [編著]
※本検査は、医療機関や教育機関、福祉機関などの機関のみに販売させていただきます。
価格等商品の詳細は金子書房HPをご覧ください。

〒112-0012 東京都文京区大塚3-3-7

K 金子書房

☎ 03-3941-0111(代) FAX 03-3941-0163
URL <http://www.kanekoshobo.co.jp>

公認心理師 分野別テキスト

野島一彦 [監修]

- ①保健医療分野 津川律子・江口昌克 [編著]
- ②福祉分野 片岡玲子・米田弘枝 [編著]
- ③教育分野 増田健太郎 [編著]
- ④司法・犯罪分野 生島浩 [編著]
- ⑤産業・労働分野 平木典子・松本桂樹 [編著]

公認心理師の活動を具体的にイメージできる
現場に出てからも役に立つ実践的テキストシリーズ!



公認心理師養成に携わる研究者や第一線の実践家など総勢96人が資格取得に必要な科目に定められている5つの分野を徹底ガイド。各分野の関係法規・制度や機関・施設、課題、そして多職種連携の中での公認心理師の業務について丁寧に解説する。

◆各巻定価(本体2,400円＋税)・A5判・並製・約160頁

《イラスト授業シリーズ》

ひと目でわかる 心のしくみとはたらき図鑑

黒木俊秀監修／小野良平評定
定価(本体2,800円＋税)
身近な人間関係から学校、職場、地域社会、産業・文化、心の病とその治療法まで、心理学の広大な領域をカラフルな紙面で体系的に解説。



心理学手帳 [2020年版]

定価(本体1,400円＋税)
◎試験対策・実務に役立つ資料編
◎工夫満載のスケジュール欄

公認心理師、臨床心理士、心理系大学院などの試験対策や心理職の実務に使えると大好評、おかげさまで5年目突入! 資料編は主なる心理アセスメントに関する情報などを追加。創元社 HP もしくは学会会場でのみ購入可能な「限定版」は、今年は多色展開。



〒541-0047 大阪市中央区淡路町 4-3-6
Tel.06-6231-9010 Fax.06-6233-3111

創元社
<https://www.sogensha.co.jp/>

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-2
田辺ビル Tel.03-6811-0662

公認心理師・臨床心理士のための 発達障害論

インクルージョンを基盤とした理解と支援

大石幸二【監修】山崎晃史【編著】

● A5判／本体 2800円＋税

個人の特性にのみ問題を還元しない生態学的あるいは関係性の視点を重視した、インクルーシブな環境を実現するためのテキスト。



カンファレンスで深まる・作れる

配慮を要する
子どものための
個別の保育・指導計画

大石幸二【監修】遠藤愛・太田研【著】

● B5判変形／本体 1800円＋税

本郷一夫先生推薦！
具体的な事例を示し、チーム力を高めながら支援に生かすための方法を解説。



言語・コミュニケーション発達の 理解と支援

LCスケールを活用したアプローチ

大伴潔・林安紀子・橋本創一【編著】

● B5判／本体 2800円＋税



生きる冒険地図

ブルスアルハ【著】細尾ちあき【文と絵】

● A5判／本体 1200円＋税

まわりに頼れる大人がいない子どもたちへ、1日1日を生きぬく「知恵と工夫」をつめこんだ一冊。全編手書きの書き下ろし。

ビジュアルブック

自閉スペクトラム症

ASDの君へ

ラクな気持ちになるためのヒント集

ジョエル・ショウル【著】大石幸二【監訳】

● B5判横長／本体 2500円＋税

ASDのある子どもが、からだや気持ちを調整するためにできる簡単な方法をイラストで紹介。



先生のための 保護者相談 ハンドブック

配慮を要する子どもの
保護者とながる

3つの技術

藤野博先生 推薦！

大石幸二【監修】竹森亜美・須田なつ美・染谷伶【編著】

● A5判／本体 1600円＋税

「つながる▶引き出す▶つなげる」の3つのキーワードで、保護者に寄り添う面談の技術をわかりやすく解説。



学苑社

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム 5F

<https://www.gakuenisha.co.jp/>

TEL 03-3263-3817 FAX 03-3263-2410



有斐閣

出版案内

東京・神田・神保町2 TEL:03-3265-6811
<http://www.yuhikaku.co.jp/>

表示価格は税別。
消費税込みの金額が定価です。

◎図書目録送呈◎

近刊

心理学研究会編

中学・高校教師になるための
教育心理学 第4版

〔有斐閣選書〕 予価 二〇〇〇円

近刊

長谷川寿一・東條正城・大島 尚・丹野義彦・廣中直行著
はじめて出会う心理学 第3版

〔有斐閣アルズ〕 予価 二〇〇〇円

公認心理師エッセンシャルズ 第2版
子安増生・丹野義彦編 最新の国家試験問題、ブループリントに加え、児童・高齢者・障害者虐待防止法や働き方改革等にも対応。

A5判 二六〇〇円

心理学入門 改訂版
サトウタツヤ・渡邊芳之著 「心理学の仕事」「研究法」「研究倫理」などのトピックが加わり、いっそう社会に生きる心理学を感じられる内容に。ブックガイドも充実した心理学の必携書。

●心理学はこんなに面白い

〔有斐閣アルズ〕 予価 一九〇〇円



新・育ちあう乳幼児心理学
●保育実践とともに未来へ 心理学研究会編
近年の話題も盛り込んでさらに親しみやすい内容に。子どもたちの豊富なエピソードで専門概念もわかりやすく解説する。

〔有斐閣コンパクト〕 予価 二〇〇〇円



家族心理学 第2版
中釜洋子・野末武義・布柴靖枝・無藤清子編
新規の第12章では家族支援の観点から発達障害を解説。家族問題を多角的に分析し「家族」についての心理学的な知をさらに深められる内容に。

〔有斐閣コンパクト〕 予価 二五〇〇円



やさしい教育心理学 第5版
鎌原雅彦・竹綱誠一郎著 いじめ問題や発達障害のアセスメントの記述を加筆。コラムにコンサルテーションや不登校の話題を追加し、教職課程に加えて公認心理師カリキュラムにも対応。

〔有斐閣アルズ〕 予価 一九〇〇円



子どもの発達の一貫性を支える 保育の心理学

編著 浅井拓久也
新「保育士養成課程」等準拠
ISBN 978-4-909378-08-8 体裁 B5判・224頁
定価 本体2,270円＋税

自ら実感する 心理学

—こんなところに心理学—

編著 土肥伊都子
ISBN 978-4-905493-21-1 体裁 B5判・192頁
定価 本体2,270円＋税

学びを人生へつなげる 家族心理学

編著 土肥伊都子
ISBN 978-4-905493-28-0 体裁 B5判・192頁
定価 本体2,270円＋税

自ら挑戦する 社会心理学

編著 土肥伊都子
ISBN 978-4-905493-14-3 体裁 B5判・206頁
定価 本体2,270円＋税

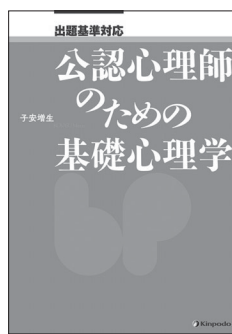
図書出版・販売
Ky 教育情報出版

〒557-0055
大阪市西成区千本南 1-18-24
TEL 06-6658-8741 (代)
06-6651-5012 (編集部)
FAX 06-6652-2928

info@kyoiku-joho.jp
http://www.kyoiku-joho.jp

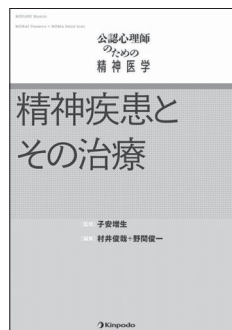
出題基準対応 公認心理師のための 基礎心理学

著 子安増生
B5判・205頁 定価 (本体2,200円＋税) ISBN978-4-7653-1788-7



公認心理師のための精神医学 精神疾患とその治療

監修 子安増生
編集 村井俊哉・野間俊一
B5判・216頁 定価 (本体2,400円＋税) ISBN978-4-7653-1800-6



株式会社 **金芳堂** 〒606-8425 京都市左京区鹿ヶ谷西寺ノ前町 34 番地
Tel 075-751-1111 Fax 075-751-6858

E-mail (営業部) : eigyo@kinpodo-pub.co.jp
https://www.kinpodo-pub.co.jp/

KIDS 乳幼児発達スケール

場所・時間の制限を受けずにどこでも短時間で診断！

乳幼児の自然な行動全般から発達を捉え、日頃の行動に照らして○×で回答。

全国 38 都道府県の乳幼児約 6,000 名によって標準化された検査です。

「手引き」 価格 600 円（税抜）

「検査用紙」 価格 2,300 円（税抜）

（1 セット 10 部入り）

・タイプ A 0 歳 1 カ月～0 歳 11 カ月

・タイプ B 1 歳 0 カ月～2 歳 11 カ月

・タイプ C 3 歳 0 カ月～6 歳 11 カ月

・タイプ T 0 歳 1 カ月～6 歳 11 カ月

（発達遅滞傾向児向き）

検査領域

1. 運動 体全体の大きな動き
2. 操作 手指などの意図的な動き
3. 理解言語 言葉の理解
4. 表出言語 話すことのできる言語
5. 概念 状況依存によらない言語的理解
6. 対子ども社会性 友達との協調行動
7. 対成人社会性 大人との関係、特に親子関係
8. しつけ 社会生活における基本的なルール
9. 食事 衛生感覚や食事の基本的なルール

改訂版 随意運動発達検査

測定内容 手指、顔面・口腔、躯幹・上下肢の各領域について、意図的に身体部位を操作する運動機能の発達状態を調べます。対象は 2 歳 0 カ月～6 歳 11 カ月。

実施方法 検査者がいくつかの運動パターンを提示し、幼児に模倣させます。幼児の反応を課題ごとに達成基準に照らし合わせ、達成されたか否かを判定します。

測定領域 1 手指 2 顔面・口腔 3 躯幹・上下肢

検査一式 手引き、検査用紙、解説用 DVD

発行所 公益財団法人 発達科学研究教育センター

〒102-0076 東京都千代田区五番町 3 番地 1 五番町グランドビル 7 階

TEL 03-3262-9976 FAX 03-3221-7169 <http://www.coder.or.jp>

* 発達検査のご購入は代理店、書店にてお願い致します。当財団ホームページをご覧ください。

— 特別支援教育の現場を見て、支援を実践的に学ぶ —

発達障害と特別支援教育

総監修 長崎 勤(実践女子大学)

時間 各巻 約40分

監修 吉井勘人(山梨大学)

価格 各巻 60,000円+税

若井広太郎(筑波大学附属大塚特別支援学校)

DVD
全5巻

発達支援や特別支援教育の現場の実践を紹介しながら、インクルーシブな社会をめざすために、知的障害児・自閉症スペクトラム障害児の発達や障害の特性をどのように理解し、アセスメントしたらよいのか、人と関わる力や社会性の発達はどのように支援・指導していったらよいのか、乳幼児期、学齢期、青年期まで生涯発達に沿って学びます。

① 発達の障害とは何か？

発達の障害とは何か？ダウン症のMさんの紹介から考えてみます。国際生活機能分類と発達の最近接領域理論の考え方、知的障害、自閉症スペクトラム障害、視覚障害、聴覚障害、学習障害、注意欠陥／多動性の障害の概略について紹介し、支援の制度とネットワークについても紹介します。



② 知的障害児の発達と支援 —包括的発達支援プログラム—

ダウン症候群のA君の成長を見ながら、アセスメントをはじめとする発達支援の要点と「発達の最近接領域」の考え方に基づいた段階的援助の方法を実際の指導場面を見ながら学び、関わる人々の連携による「包括的発達支援プログラム」について考えていきます。



③ 人との関わり —幼児期の知的障害・自閉症スペクトラム障害—

知的障害・自閉症スペクトラム障害などがある幼児への「人との関わり」の支援の方法を学びます。生活の指導、設定保育の実写を見ながら、身近な大人や友だちと関わるための具体的な支援方法、個別指導計画の作成、保護者への支援と関連機関との連携についても紹介します。



④ 共に学ぶ —学齢期の知的障害・自閉症スペクトラム障害—

学齢期の知的障害・自閉症スペクトラム障害児の共に学ぶ姿を紹介し、発達水準に合わせた支援について学びます。小学部では、教師と児童が一緒に行う様々な活動、中学部では、生徒同士が話し合いで課題を発見・解決する活動から、児童が主体的に学んでいく様子を見ていきます。



⑤ 社会参加に向けて —青年期の知的障害・自閉症スペクトラム障害—

青年期の知的障害・自閉症スペクトラム障害の子どもの社会参加に向けた取り組みを見ていき、生徒が主体的に進路を選択・決定し、地域での充実した生活を送ることを目指して、「生活する力」、「働く力」、「余暇を充実して過ごすための力」などを高める重要性を学びます。



株式会社 サン・エデュケーショナル

東京都渋谷区道玄坂1-22-8 ユービズ渋谷道玄坂9F

TEL. 03-5428-5675 FAX. 03-5428-5674 <http://www.sun-edu.co.jp/>

DVD

赤ちゃんの生後1年間の驚くべき能力

坂田陽子・高田雅弘 著

【増補版】



赤ちゃんはこんな驚くべき能力をもっていた！ 大学や短大、専門学校での講義や、保育園、産婦人科や小児科などの病院や助産院、保健所などでの利用だけでなく、子育て真最中のパパ、ママも必見！ 生後間もない赤ちゃんの能力や発達過程が目で見えてわかる貴重なDVD！

※詳しくは、小社ホームページをご覧ください。
DVD1枚（収録時間54分・解説冊子付き）39000円

支えあいからつながる心

◎対人関係の心理学から

太田仁 監修 阿部晋吾 編
身近な誰かと支えあい、つながり、生きていくための心得。
2200円

子どもの発達と学校「第3版」I 発達と学習の心理学

宮川充司・大野久・谷口明子・大野木裕明編
指導要領準拠の教職課程（発達と学習）の決定版。
2300円

公認心理師のための 説明実践の心理学

山本博樹 編著
公認心理師は各分野・各領域でどのように説明をするべきか。
2000円

アサーティブネス

◎その実践に役立つ心理学
堀田美保 著
自己尊重の態度を学び、自己嫌悪に別れを告げるための心理学。
2000円

スクールカウンセリングにおける 投影描画アセスメント

加藤大樹・鈴木美樹江 著
思春期・青年期の心理的問題を現場でどう解釈するか。
3000円

乳幼児のための 保育内容 表現

佐野美奈・佐橋由美・田谷千江子 著
保育内容 表現の考え方や乳幼児の発達の理論と実践を集約。
2100円

子どもの発達と学校「第3版」II 特別支援教育への理解

宮川充司・大野久・谷口明子・大野木裕明編
新学習指導要領を受け、DSM-5とICD-11を比較衡量する。
1900円

教師のための 説明実践の心理学

山本博樹 編著
生徒・教師双方の説明活動を見直しその質の向上を図る。
2300円

自閉症スペクトラム児 の遊戯療法

◎「自閉症的不安を乗り越える」という視点から
古市眞智子 著
事例研究をもとに論じる。
5900円

コラーージュ療法

◎材料からの再考
今村友木子・二村彩・加藤大樹・今枝美幸著
材料シート集の開発を中心に、事例など幅広く解説する。
3200円

ナカニシヤ出版

TEL 075-723-0111 606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15
FAX 075-723-0095 <http://www.nakanishiya.co.jp/> (表示は税抜)

TEXT

心理学者による、 心理学者のための科学論文の 英文校閲・翻訳サービス

発達心理学研究の英文校閲も行っています

American Psychological Association Publication Manual, Fifth Editionに則った校閲をいたします。
当サービスは、日本自律訓練学会誌、日本ロールシャッハ学会、日本LD学会誌などの公式英文校閲
としても採用されています。

株式会社 **TEXT**

仕上がりまでの時間 / 料金

英文校閲1頁(英文200語)

14日 / ¥1800

7日 / ¥2300

翻訳1頁(日本語400文字)

21日 / ¥4000

7日 / ¥5000

公費によるお支払い受け付けます。

最新情報はインターネットで確認してください。

300-0848 土浦市西根西1-6-7

TEL&FAX : 029-886-7006

email: textediting@mac.com

<http://www.text-edit.com>

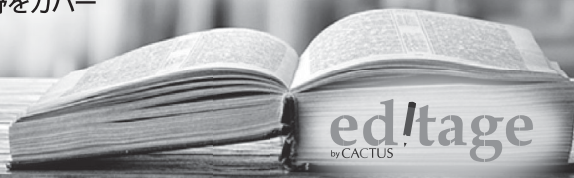
エディテージの英文校正・学術翻訳サービス

5領域20の専門チームが1,200以上の専門分野をカバー
創業17年100万稿以上の豊富な校正実績

10%割引クーポン

JSDP10

- ご注文フォームのクーポン記入欄にクーポンコードをご入力ください。
- 本クーポンは1回に限り有効。※他クーポンとの併用は不可。
- 有効期限は2021年3月31日(水)。



英文校正・論文校閲サービス

ジャーナル投稿前の英語論文を国際出版レベルの英語に仕上げるアカデミック英文校正・英文添削サービス。専門分野の博士号・修士号または国際認定BELS取得校正者が高品質、低価格且つ業界最高レベルの納品スピードで原稿を出版に達した状態に校正します。

トップジャーナル英文校正



査読者経験がある研究分野のエキスパートとジャーナルの好みを理解したプレミアム英文校正の校正者が、研究内容まで踏み込み、投稿前に論文を総合評価。

料金(税抜) 25円/単語

プレミアム英文校正



論理構造に踏み込む段落毎の校正に365日間無料再校正付き。+6円/単語で再投稿あんしんパック(365日無料の査読コメント対策+再フォーマット調整)を附帯できます。

料金(税抜) 11円/単語～

スタンダード英文校正



当日納品可。原稿の文法、英語構文、語彙選択など英語面を徹底的にチェックするサービス。初回ご注文時に+2円/単語で365日無料再校正(1回)が適用。

料金(税抜) 5円/単語～

学術翻訳(和英)サービス

日本語の研究論文を英訳し出版可能なレベルの英語論文に仕上げる学術論文翻訳サービス。専門分野に特化した5～10年以上の実務経験を持つ翻訳者や校正者がタッグを組んで、日本語論文を国際出版レベルに翻訳、校正いたします。

プレミアム学術翻訳

翻訳+プレミアム英文校正



お客様が翻訳内容をチェックし、変更や修正を何度でも指示できる翻訳にプレミアム英文校正が付いた最高峰の翻訳サービス。

料金(税抜) 15～28円/日本語文字

*最低価格は最大割引適用後の目安

スタンダード学術翻訳

翻訳+スタンダード英文校正



翻訳から校正までノンストップで行う標準サービス。締切とご予算によりノーマルスピードとハイスピードの納期プランから選べます。

料金(税抜) 10～25円/日本語文字

*最低価格は最大割引適用後の目安

ベーシック学術翻訳

翻訳のみ



翻訳後の英文校正が必要ない方のためのリーズナブルな翻訳サービスです。内部資料やドラフト原稿など出版を目的としない翻訳が必要なお選びください。

料金(税抜) 8～18円/日本語文字

*最低価格は最大割引適用後の目安

書籍校正・翻訳サービス

書籍のための英文校正、翻訳、組版等、各種出版サポートサービスも行っております。英語ネイティブでない著者が執筆した英語原稿の出版前校正、日本語書籍の英語化のための翻訳・校正の両方に対応しています。経験豊富なプロジェクトマネージャーが、書籍出版までの全てのプロセスで綿密にサポートいたします。

書籍英文校正サービス

英語原稿の英文校正



英語ネイティブではない著者が執筆した英語の書籍原稿を英文校正し、国際出版レベルの英語にブラッシュアップ。著者の方のニーズを把握した上で、元原稿の魅力を維持しながら一貫した文章に校正。

書籍出版に便利なオプションサービス

書籍英文校正サービスと書籍翻訳・校正サービス英にはオプションサービスが追加できます。

- 組版 ●索引作成 ●書籍カバーデザイン ●書籍印刷 ●書籍スキャン(PDF化)

書籍翻訳・校正サービス

翻訳+スタンダード英文校正



日本語で執筆された書籍の英語化を行う翻訳・校正サービス。日本語のオリジナルの意味と文体を汲み取って、読者に魅力的な英語原稿に翻訳。専門分野を理解した校正者が更に英語に磨きをかけます。

ベーシック書籍翻訳サービス

翻訳のみ



翻訳後の英文校正が必要ない方のためのリーズナブルな翻訳サービスです。内部資料やドラフト原稿など出版を目的としない翻訳が必要なお選びください。

エディテージ

ed/tage
by CACTUS



www.editage.jp

エディテージはカクタス・コミュニケーションズのサービスブランドです。

カクタス・コミュニケーションズ株式会社
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-4-1 TUG-1 ビル 4F

お問合せ: 03-6868-3348 | submissions@editage.com

2020年度 国際ワークショップ・公開講演会のご案内

テーマ：心理統計の諸問題と分析方法（予定）

日 程：国際ワークショップ：2020年8月21日（金）～23日（日）

公開講演会：上記国際ワークショップ期間中（日時詳細未定）

講 師：Takuya Yanagida, Ph.D. Senior Scientist（ウィーン大学心理学部）

会 場：大阪大学豊中キャンパス

受入担当者：家島明彦 先生（大阪大学）

※ワークショップは有料です（5,000円～20,000円 金額は身分・資格申請の有無によります）。

講演会およびワークショップそれぞれで、臨床心理士のポイント付与予定です。臨床発達心理士・学校心理士の資格ポイントについては申請予定です。

詳細は決定次第 本会ウェブサイトに掲載いたします。

協賛団体御芳名

株式会社 風間書房	株式会社 新曜社
株式会社 北大路書房	株式会社 日本文化科学社
株式会社 実務教育出版	株式会社 ブックマン京都
株式会社 ニホン・ミック	株式会社 創元社
株式会社 金子書房	株式会社 有斐閣
株式会社 学苑社	株式会社 ヤマト
トビー・テクノロジー 株式会社	教育情報出版
福村出版 株式会社	株式会社 サン・エデュケーショナル
公益財団法人 発達科学研究教育センター	株式会社 ナカニシヤ出版
株式会社 金芳堂	カクタス・コミュニケーションズ 株式会社
株式会社 クマノミ出版	株式会社 スペクトラム出版社
株式会社 DKH	株式会社 テキスト
株式会社 ミネルヴァ書房	(順不同)

大会を開催するにあたり、上記の団体より多大なご支援をいただきました。
ここに御芳名を記して感謝申し上げます。

一般社団法人日本発達心理学会
代表理事 氏家達夫
第31回大会委員長 南 徹弘

一般社団法人日本発達心理学会第31回大会

主催：一般社団法人日本発達心理学会

第31回大会委員会・関西地区懇話会

大会委員長	南 徹弘	(大阪大学・関西地区懇話会会長)
大会副委員長	内山 伊知郎	(同志社大学)
大会事務局長	成田 健一	(関西学院大学)
大会委員 (abc 順)	天ヶ瀬 正博	(奈良女子大学)
	安藤 明人	(武庫川女子大学)
	伴 碧	(大阪大学)
	堀 麻佑子	(関西学院大学)
	板倉 昭二	(同志社大学)
	木村 年晶	(京都橘大学)
	小松 孝至	(大阪教育大学)
	子安 増生	(甲南大学)
	箕浦 有希久	(同志社大学)
	清水 真由子	(大阪成蹊大学)
	莊巖 舜哉	(保育・子育てアドバイザー協会関西)
	太子 のぞみ	(同志社大学・日本学術振興会)
	高井 直美	(京都ノートルダム女子大学)
	竹下 秀子	(追手門学院大学)
	植田 瑞穂	(関西学院大学)

一般社団法人日本発達心理学会第31回大会プログラム

発行日 2020年2月7日
発行者 一般社団法人日本発達心理学会
第31回大会委員会・関西地区懇話会
大会委員長・会長 南 徹弘

印刷・協力 三美印刷株式会社
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-9-8

日本発達心理学会第31回大会会場へのアクセス



- H ホテル
- B 銀行
- JR東西線
- 阪神本線
- 京阪線
- 地下鉄
- 御堂筋線 (M)
- 谷町線 (T)
- 四つ橋線 (Y)
- 中央線 (C)
- 千日前線 (S)

電車

- ・京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ
- ・JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約15分
- ・JR東西線「新福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
- ・阪神本線「福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
- ・大阪メトロ「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約15分

バス

- ・JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪シティバス(53系統 船津橋行)または(55系統 鶴町四丁目行)で約15分、「堂島大橋」バス停下車すぐ
- ※右記QRコードよりOsaka MetroのWEBページがご覧頂けます。
QRコードが読み込めない場合は、下記のURLからアクセスください。
<https://bus.osakametro.co.jp/>
- ・シャトルバスが、「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」桜橋口の間で運行されており、ご利用いただけます(定員28名)
- ※右記QRコードよりシャトルバスのご案内WEBページがご覧頂けます。
QRコードが読み込めない場合は、下記のURLからアクセスください。
https://www.rihga.co.jp/osaka/access/free_bus/

